大正六年九月十四日　第三種郵便物認可・昭和八年九月二十五日　印刷納本・昭和八年十月一日發行　（毎月一回一日發行）

建築と社會

學校建築

第十六輯
第十號

日本建築協會

昭和八年
十月一日

登録 OHNO SHUTTER PATENTE 商標

日米特許一二個・實用新案登錄四六個併用

大野式防火捲上ケ戸

〔特許大野式シヤッター〕

主要製品

大野式シヤッター
大野式ルーブルシヤッター
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉

日英米佛特許三一個・實用新案五九個併用

特許不ニサッシ

受托營業

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)三七三七番 三七三八番

取付出張員詰所・大阪市此花區上福島中二・電話福島(45)五八八

會　告

四會聯合建築大會及滿洲見學旅行

昭和8年8月10日午前9時13分　大阪驛發神戶港より乘船一行7名

11日　朝門司下關上陸一見の上正午出航

13日　午前9時大連埠頭着先着の鮮臺建築會員及び滿洲建築協會員と共に埠頭事務所の屋上より大連港の說明を聽取し、三泰油房、滿鐵大連醫院、南山莊を見て滿洲土木建築協會の午餐宴に招かる午後更に中央公園、老虎灘等を經て博覽會を見物し、電氣遊園にて滿洲建築協會の晩餐招宴あり。遼東ホテルに一宿す。

14日　午前9時發自動車にて旅順街道を牧城驛にゆき漢代の古墳を一見す（關東廳博物館島田主事態々來りて說明あり）、進みて水師營會見所を經白玉山に登臨、予一行に旅順の戰蹟事歷を概說し、下つて爾靈山に登り（此間予先行して關東廳を訪問し內務局長代理と會見す）下山の後黃金臺ヤマトホテルにて關東廳內務局長の招宴に列す。更に龍王塘貯水池を見て滿水關東廳土木課長の說明を受け午後4時半大連に歸着す。」

5時　聯合大會開催

イ、村田（滿洲）　白東（臺灣）　中村（朝鮮）　松室（日）　片岡（日）の講演（各15分）

ロ、協議（座長松室）（1）宣言　（2）聯合會規約　（3）滿洲國建築調査　法規制定の件　等を（鮮）附議決定し。

上の（2）は滿建に於て成案作成の上各會回付審議の上確定すべく、又（3）は發案者鮮建に於て案文作成の上、實現方法を執る事となれり。

7時　宴會、本宴には日、鮮、臺等參列者は全部滿建の招待を受けたり。參會者は片岡會長外日建7名、鮮11名、臺5名、滿建約100名活動の映寫等ありて10時散會す、遼東ホテル再宿。

15日　午前9時大連發13時50分鞍山着、直ちに昭和製鋼所を見學す、（驟雨一過）

三等車にて奉天に入り瀋陽館に一宿す。

16日　奉天の見學　忠靈塔、南滿醫學堂、滿眞寺、同善堂、東北大學、北塔等を見北陵見學の上晝食午後北大營、宮城、市內、等を見夜分會其他の有志の招宴あり、（支那料理）11時半發北行す。

17日　朝8時新京着。停車場にて改裝し（前夜降雨あり道路惡し）

國務院を訪問鄭總理と會見し、14日大連大會の決議事項を通じ會談30分各所見學の上寬城子俱樂部に晝食し（露西亞料理）午後建都の工事等を見學す、列車「ホテル」に一宿す。

18日　午前9時發午後3時過ぎ哈爾賓着。出迎の人々と共に直ちに行を起し烈士紀念碑（沖橫川）孔子廟、極樂寺、北滿鐵道廳日本人小學校、公園其他一見日滿俱樂部に有志の招宴に列す、名古屋「ホテル」に一宿。

19日　午前9時發松花江を下り拉哈線終點の鐵橋工事を一見其說明を聽取し、更に溯航の上「ヨットクラブ」に晝食招宴午後3時より自由行動市中の見學をなす、再宿。

20日　朝9時過發南下。新京にて乘替へ午後10時奉天入り大丸旅館一宿。

21日　微雨午前8時10分發撫順往き、炭坑「オイルセル」工場等を一見し山陽樓に有志の招宴を受く、夜11時30分發安奉線によりて南下す。此間15日の北行より新京歸着迄は岡滿建會長、石田同書記長同行せられ懇切の接伴を受け更に20日の午後より21日夜の奉天出發迄石田書記長同行せられたり。

22日　朝鴨綠江を渡りて朝鮮に入る途中下車して平壤を一見し6時半發午後11時半京城着備前屋に一宿す。

23日　午前8時より京城見學朝鮮神宮博文寺、博物館（王宮）、祕花等を一巡し總督府にて晝食。午後總督府博物館其他を見學、5時朝鮮「ホテル」に片岡會長の講演懇話會あり、7時より明日館に朝鮮建築會の招宴を受く、11時半出發す。

24日　午前8時釜山着市中一見、午後6時半下關歸着8時半出發（富士）。

25日　朝歸着す、此行鮮臺の人々と共にして約18名（途中分れたる者もありしによる）

昭和8年10月

社團法人　日本建築協會

會　　告

1. 瑞光住宅博覽會開催

當協會創立滿十五年記念事業第二期計畫の一として下の通目下開催中であります。

名　稱　瑞光住宅博覽會

會　期　自9月15日　至10月31日

會　場　ヲ阪電車上新庄驛下車東方約6丁瑞光住宅地

出品住宅　二十餘戸

詳細は會場にてパンフレットを差上げます

開期中協會員各位は勿論公衆一般の御觀覽を希望致します。

2. 役員辭任並に新任

今回常務（編輯）堀田猷次郎氏辭任に付8月29日開會の評議員會に於て補缺選擧の結果下の通當選決定致しました

常　務　（編輯）新名種夫氏

3. 建築法規に關する質疑應答欄設置

本誌第十六輯第十號より『建築法規』に關する質疑應答欄を設け讀者各位よりの質疑に應答することに致しました。どうぞ御遠慮なく上記に關し別記要項で御質問あらん事を希望致します。

1. 質問はハガキその他文書によること
1. 紙上匿名は隨意なれども、質問には住所氏名を記載せられたし
1. 回答は本協會の法制委員會委員の合議にて執筆せるものを更に大阪府・京都府・兵庫縣その他の府縣の主管課の承認を得たるものを以つてする。但し大阪府以外の府縣の承認につきては一々その旨希望せられたるものに限るものとす。
1. 毎月中旬迄受付のものは翌月1日付發行の本誌に回答する豫定であります。

昭和8年10月

社團法人　日本建築協會

會　　告

本誌殘本分讓

今回本誌「建築と社會」の第7輯第1號（大正13年）より第15輯第12號（昭和七年）までの內で殘本あるものを整理することになりました、就ては會員並に讀者諸君にして御入用の方には普通號特價1冊10錢送料2錢特別號は特價1冊20錢送料3錢で御頒ち致しますから本年11月末日までに御申出を願ひます

普通號　特價　1冊　10錢　送料　2錢

第7輯第1號～第15輯第12號（特別號を除く）

特別號　特價　1冊　20錢　送料　3錢

最近建築研究　Ⅰ（第15輯2號）
同　Ⅱ（第15輯7號）
同　Ⅲ（第15輯11號）

殘本なきもの（絕版）

第7輯	10號	（大正13年）
第8輯	1號及2號	（大正14年）
第9輯	1號～8號	（大正15年）
第12輯	1號～3號及5號	（昭和4年）
第13輯	8號	（昭和5年）
第15輯	4號及6號	（昭和7年）

昭和8年10月

社團法人 **日本建築協會**

建築と社會

第16輯第10號　昭和8年10月發行

學校建築

目　次

最近に於ける學校建築の傾向並にその特徴‥ ‥ ‥ 柴垣鼎太郎（ 1 ）

東京帝國大學醫學部… … … … (3•21)
東京帝國大學本部附屬屋及工學部實驗室… … … … (3•23)
東京帝國大學理學部臨海實驗所… … … … (24)
京都帝國大學法學部經濟學部 … (4•25)
大阪市立商科大學 … … … … … (5•26)
東京商科大學豫科 … … … … (6•29)
神戸商業大學本館 … … … … (7•30)
慶應義塾大學豫科 … … … … … (31)
大阪齒科醫學專門學校… … … … (32)
京都藥學專門學校 … … … … … (8)
甲陽中學校 … … … … … … … (9•33)
神戸市立第三神港商業學校…… (10•35)
大阪府立今宮中學校… … … … … (36)
第一東京市立中學校… … … … (11•38)
神戸女學院 … … … … … … … (1•40)
信愛高等女學校… … … … … … … (47)
大阪府・聖母女學院 … … … (14•48)
兵庫縣立聾啞學校 … … … … … … (49)
兵庫縣立盲學校… … … … … … … (50)
東京市立忍ヶ岡尋常小學校… … (15•51)
東京市立中之町尋常赤阪高等小學校… … … (15•2)
大阪市立濟美第六小學校 … … (15•55)
兵庫縣魚崎尋常高等小學校… … (16•56)
神戸市立笠松方面小學校 … … (16•57)
名古屋市立幅下尋常小學校… … (17•59)
名古屋市立中之町尋常小學校… (17•60)
神戸市立福住尋常小學校 … … (18•61)
大阪市立北田邊小學校… … … (19•62)
横濱市立芦穗崎小學校… … … (19•63)
神戸市須榮幼稚園 … … … … (20•64)

會員のこゑ‥ ‥ ‥

最近に於ける
學校建築の傾向並にその特徴

文部省建築課長　柴垣鼎太郎

片岡會長から、最近に於ける學校建築の傾向並に其の特徴、と云ふ題で、執筆をと云ふ事でしたが、これはなかなかの難問題で、一寸の事にはゆかぬことである。

甚だ怠慢申譯無い次第ではあるが、思ひ出づるがまゝに、二三述べさせていたゞきます題とは一寸緣の遠いものになるかも知れません。豫めお斷りいたして置きます。

大震火災後の、帝都復興と云ふ、大波に乘つて、學校建築も、他の建築同樣、空前の、進步發達をとげた。それに、たづさわる吾々建築家は、何たる仕合せ者で、あるかを喜ぶ次第で、此の如き機會、なかなかにあるべき、筈のもので無い。

明治大正と、西洋の文化を輸入し、之を消化し盡して完全に、吾ものとなし、西洋のそれに優るとも、劣る事無き迄に、進步發達したる、大正の末12年9月の1日に於て、突如として起りし、關東の大震火災、其の結果として、莫大なる材料が、吾々建築家に、提供されたのである。或は破壞し、或は燒失されたる、諸建物の內、其の復興を、一日も忽に出來ぬものは、學校の建築である。當局の各位は、眞劍に、其の復興に苦心努力を容まなかつたのである。而して圓熟せる、科學の結晶を、實地に應用することが、出來たのである。

大震火災の苦き經驗によつて、木造や、煉瓦造の校舍が、或は鐵筋コンクリート造に、或は鐵骨構造と變つた。此等使用材料の變化、構造法の進步等に依つて、明治以來不文の內に、嚴存せる學校建築樣式の統一は、やゝ亂れんとして來たのである。使用材料の變化構造法の進步によつて來る、建物樣式の變化は、何れの建物にも共通の事で、學校建築の新傾向とも、特徵とも、云ひ得ない。かく考へると、問題はなかなかに、面倒になる。

眞の學校建築の、傾向特徵は、學校敎育の內容から、來るものでなければならぬ。

建築の設計は、其の建てんとする、建築物の、目的に從ふべきものであることは申すまでも無い。故に吾々が設計に、着手するに當り、學校らしい建物を、强いて建てやうと望む必要は無い、其の建物の建設目的を充分に滿足する樣、最善の努力を盡せば、自然とそこに學校らしい建物が、出來上つて來るのである。新材料、新構造法を以て、進步して止

まぬ學校制度を、滿足せしむる樣計畫建築せるものが、其の時代に於ける傾向、特徵を、あらはすものである。即ち學校建築の傾向特徵を知らんとせば、學校教育の內容を、研究する事が必要である。

衣服が單に、寒暑を防ぐだけの目的ならば、色合ひ、形等を、考ふる必要は無いのであるが、所謂衣服としての、品位を保つ必要上、之等を度外視する事は出來ぬと同樣、學校が、學術の研究所たるとともに、人格教養の道場たる以上、相當の品位を、保たしむる必要がある、即ち相當の品位を、保つべき裝飾を、必要とするのである。然しそこに、限度ある事を忘れてはならぬ。即ち學校建築は、質實剛健の顯れで無ければならぬ、輕佻浮華は斷然之を排擊せねばならぬ。然るに近來、明治以來、立派な統一のあつた、學校建築樣式に、一種の亂れを、生じ來りしと共に、必要以上の裝飾を施し、華美に流るるものがある。即ち設計者が設計中、學校建築を、設計して居るのであると云ふ事を、いつのまにか忘れてしまつたのでは無いか、とすら思はれるものがあるなど、甚だ遺憾に堪えぬ次第である。

先生より、教へを受ける事の多かつた、學校教育が、生徒自ら、實驗實習をなし、體驗によつて會得する事に、重きを置くやうになつた。小學校に於てすら、手工室を設けたり農園を持つたりするものなど、ある有樣である。上級の學校、特に理工科醫科の方面の學校にあつては、非常に完備せる、實驗室、工場、研究室等を、有することは周知の事實である。從つて學校に於ける、普通教室の、數並に構造等が、依然として昔のまゝなるに反し、特種教室、即ち實驗室研究室は、次第に其數を增し、構造設備等は、所謂日進月歩と云ふ有樣である。

講義室並に、講堂等に於て、其の收容すべき定員の增加或は一般公衆への解放と云ふ點から、室の換氣を、自然に任せ置く事出來ず、機械的の換氣法を、施し居るもの、尙又講堂を、語學練習の爲、劇等を催す必要から舞臺照明を設備せるもの、或は活動寫眞の、映寫設備を有するもの等、一般劇場公會堂と、何等異る所無き講堂を、有する學校すら、實現するに至つた。

之を要するに、學校建築は、學校が其の卒業生を、社會に送り出す以前に於て、今後活社會に於て、遭遇すべき實務の要領を、體得せしめんとする、關係上、實驗室、研究室、實驗工場等の、學校の建物內に、社會各方面の縮圖が、展開され居るとも考へられる迄に至つたのである。即ち學校建築は社會進步發達の、反映であり、逆に又其の源泉でもあるのである。故に學校建築の、傾向並に特徵を知らんとせば、社會の進步發達の有樣を、考究する必要もあるのである。

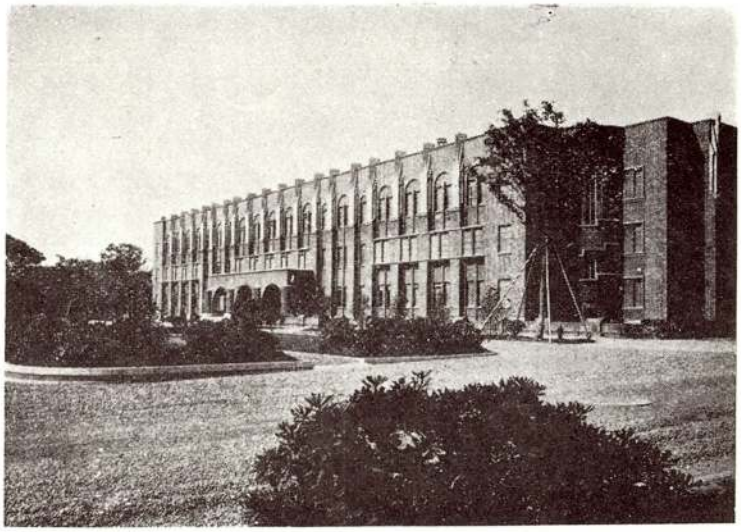
あまりくたぐたと貴重なる紙面を、塞ぐも如何かと考へ、此の邊にて、擱筆する事にする。

東京帝國大學

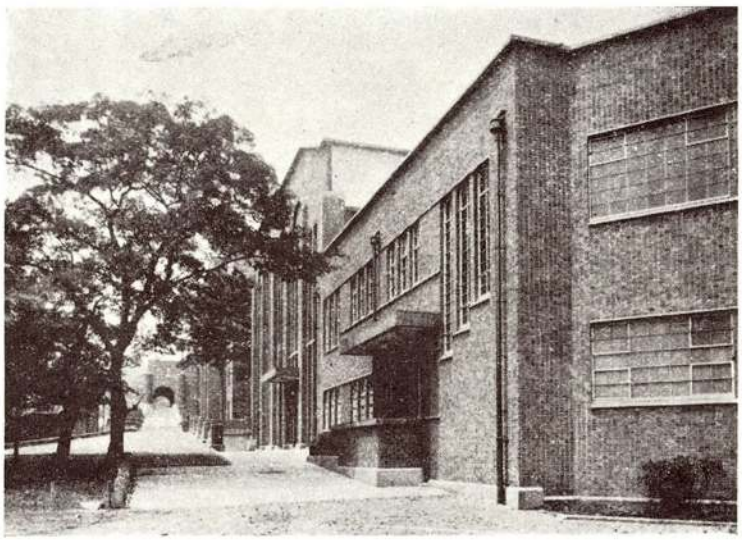
設計　東京帝國大學營繕課

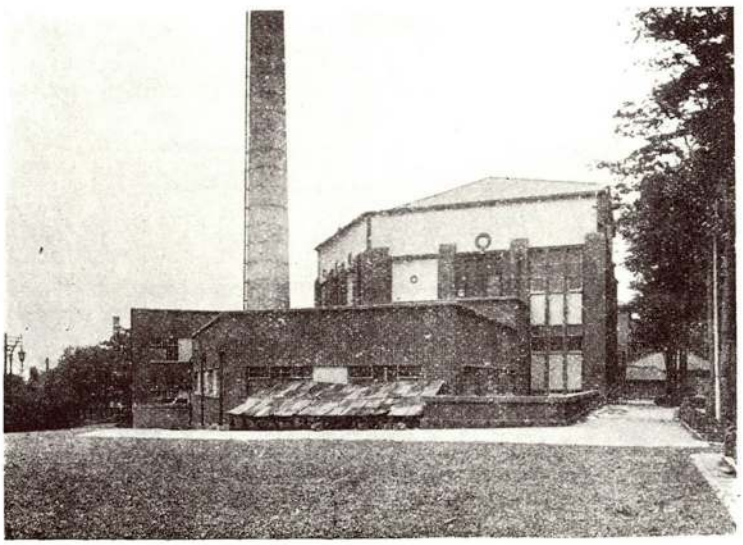
施工　大戸倉土木株式會社組

醫學部第一號館



本部附屬屋及工學部實驗室



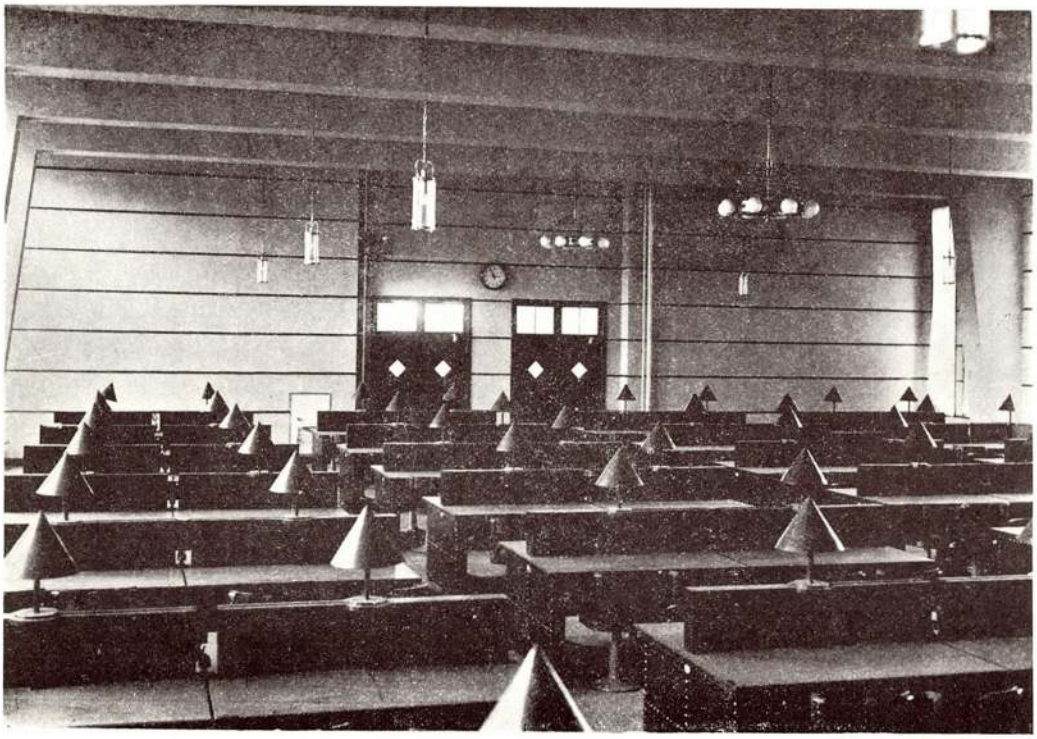


本部附屬屋及工學部實驗室

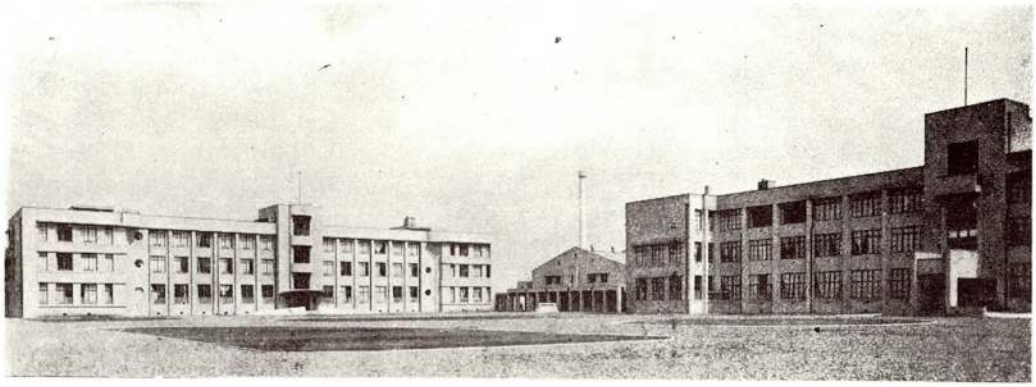


京都帝國大學法學部經濟學部　外觀

設計　京都帝國大學營繕課
施工　大倉土木株式會社



2 階學生圖書閱覽室



豫科體育館講堂及高商部全景

大阪市立商科大學

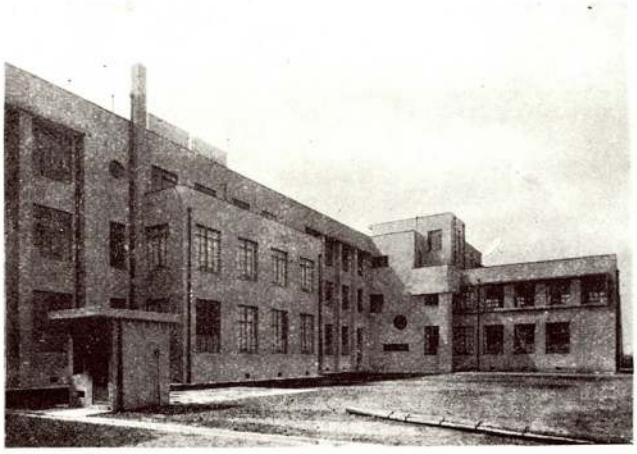
設計　大阪市建築課
施工　鹿　島　組



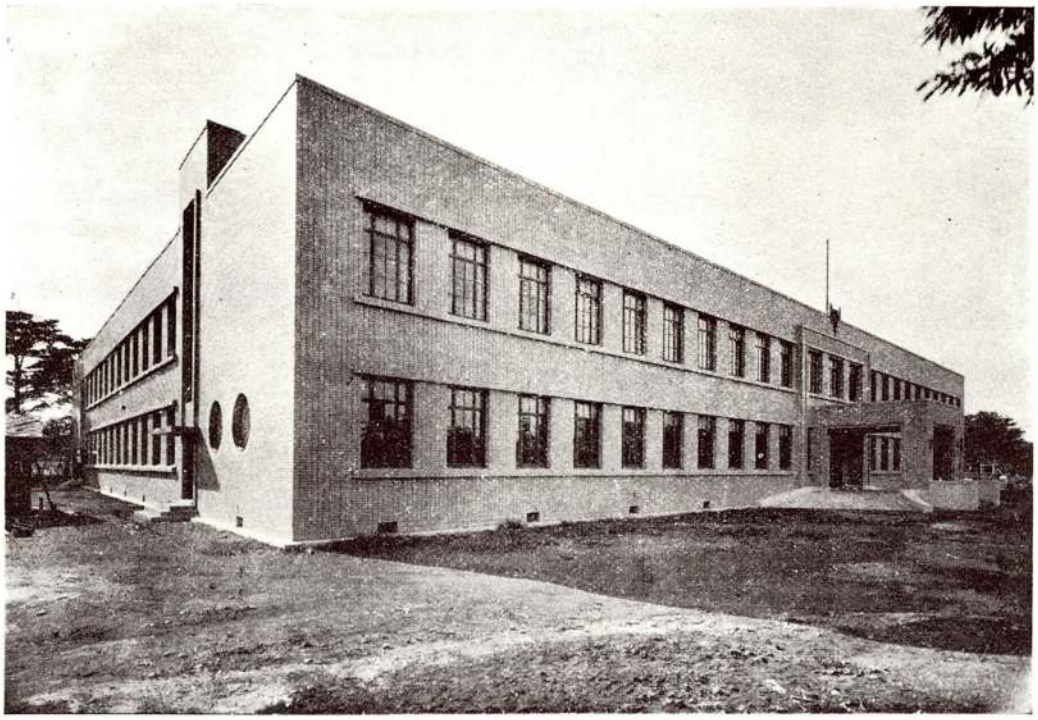
豫科體育館講堂高商部背面全景



大學部豫科正面



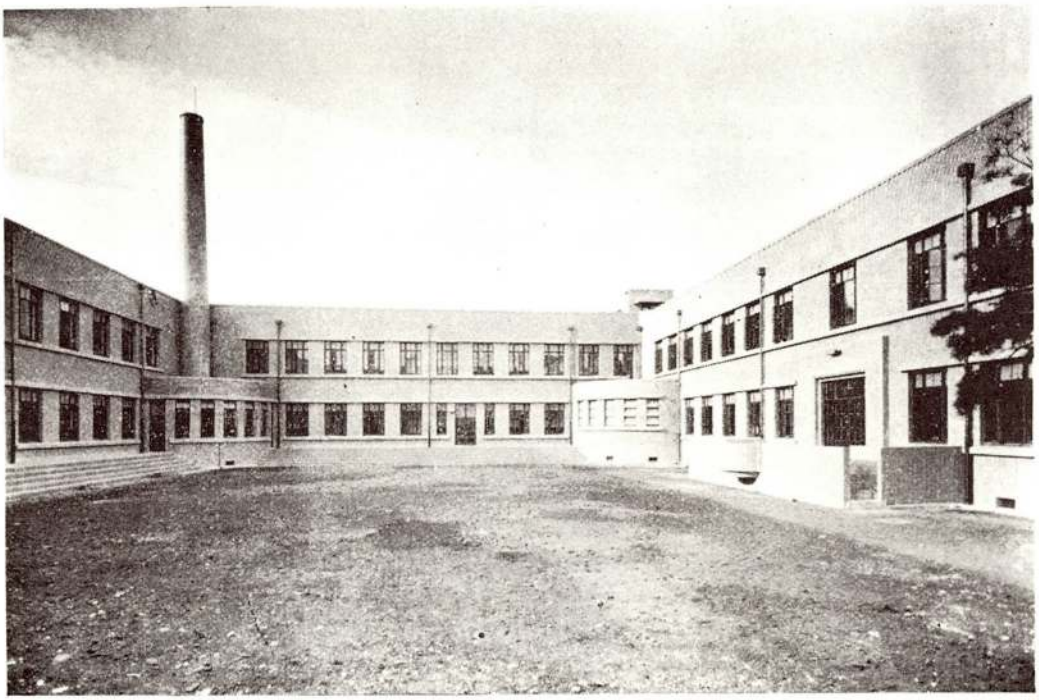
高商部校舍背面



外觀の一部

東京商科大學豫科

設計　文部省建築課
施工　中央土木株式會社

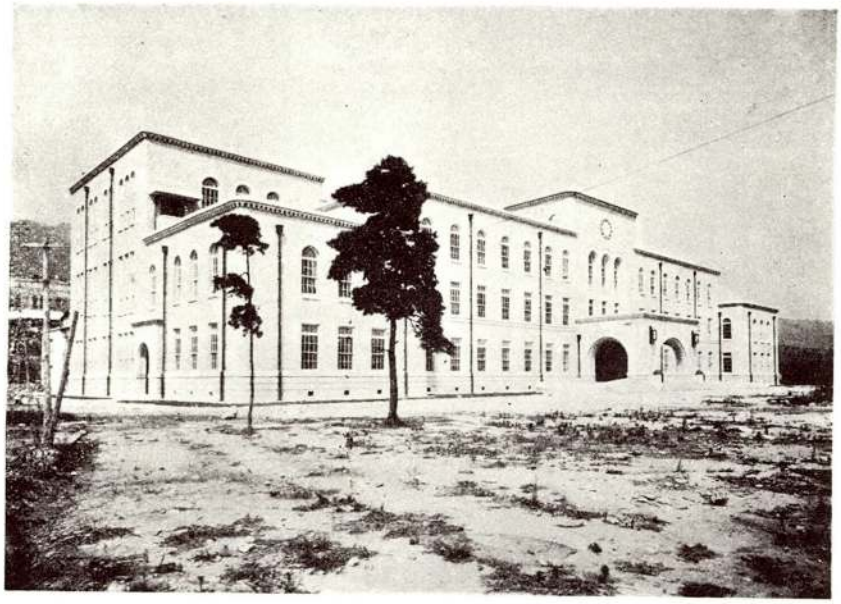


中　　庭

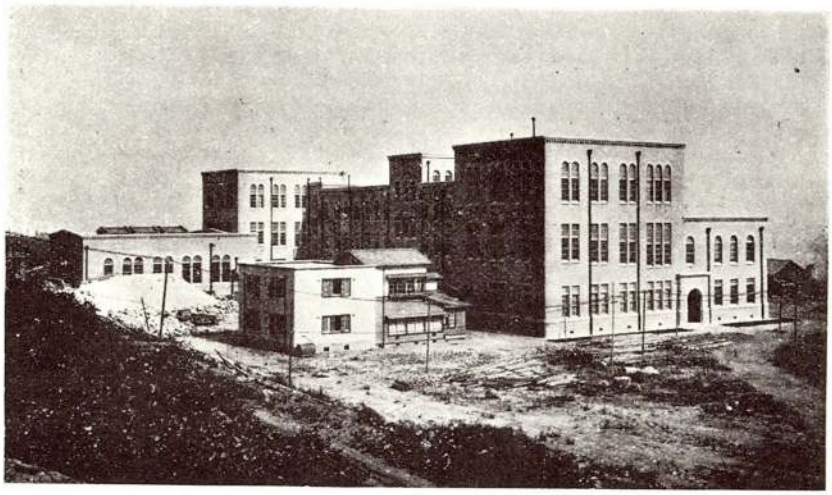
神戸商業大學本館

設計　文部省建築課

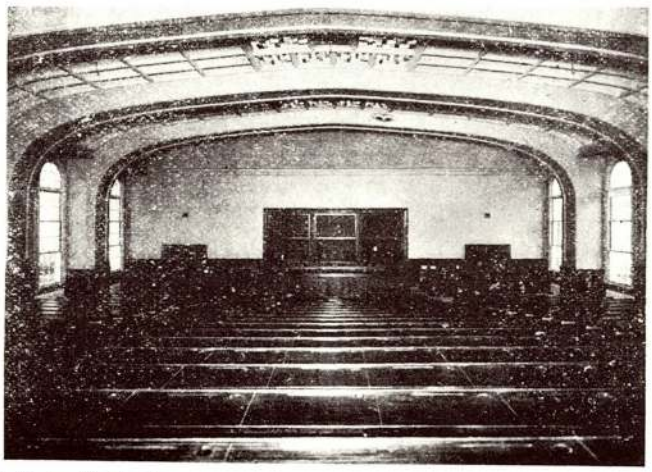
施工　大　林　組



正面及西側面



背面及西側面



1階合併教室

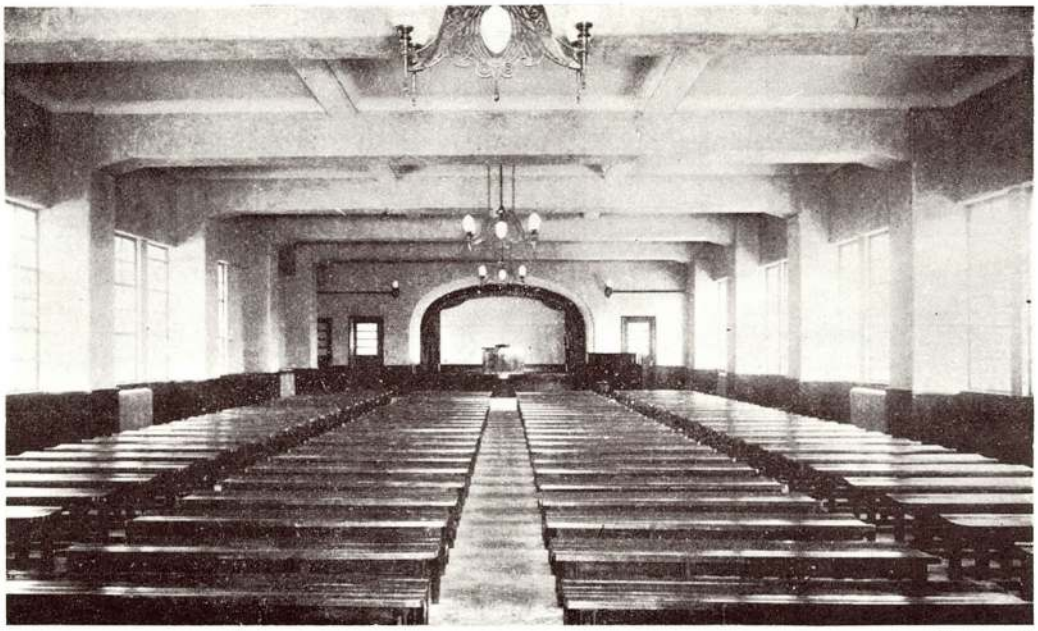


外　　觀

京都藥學專門學校

設計　武田五一氏

施工　大　林　組



講　　堂



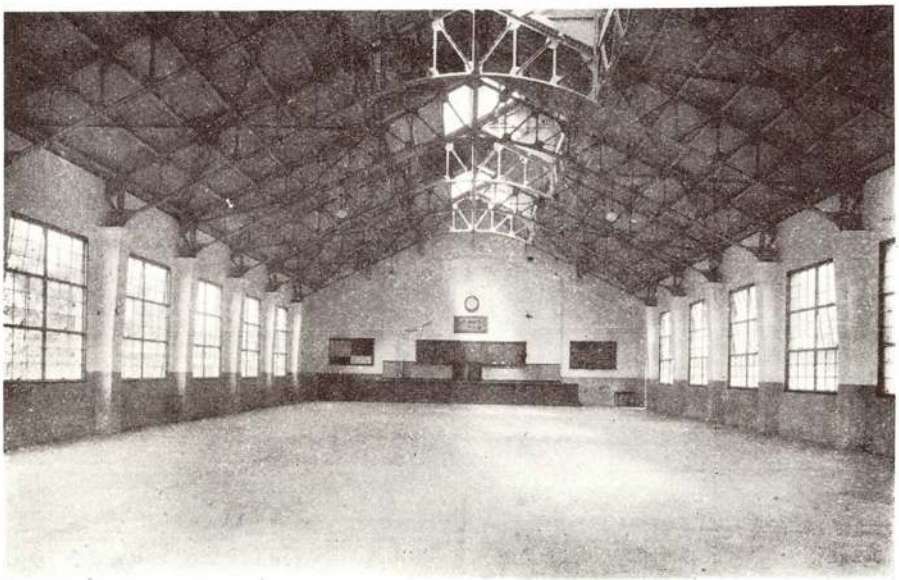
校舍全景

兵庫縣甲陽中學校

設計施工 竹中工務店



講堂



屋內體操場

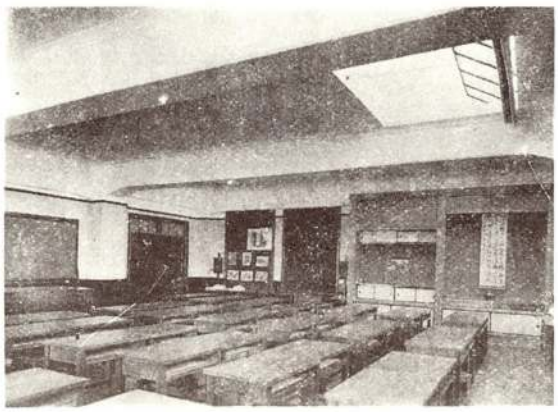


外　　觀

神戸市立第三神港商業學校

設計　神戸市營繕課

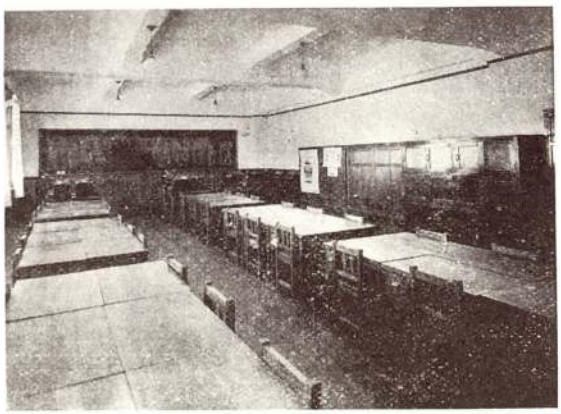
施工　金田工務店



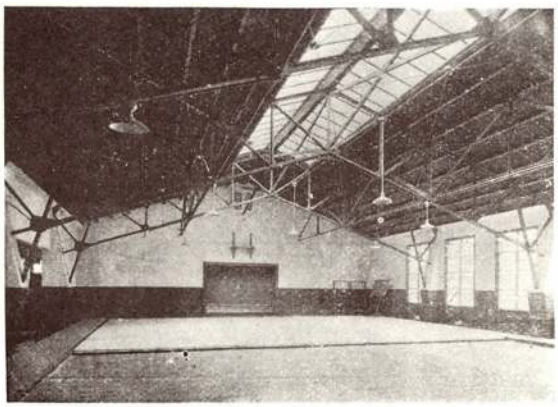
圖畫習字特別教室



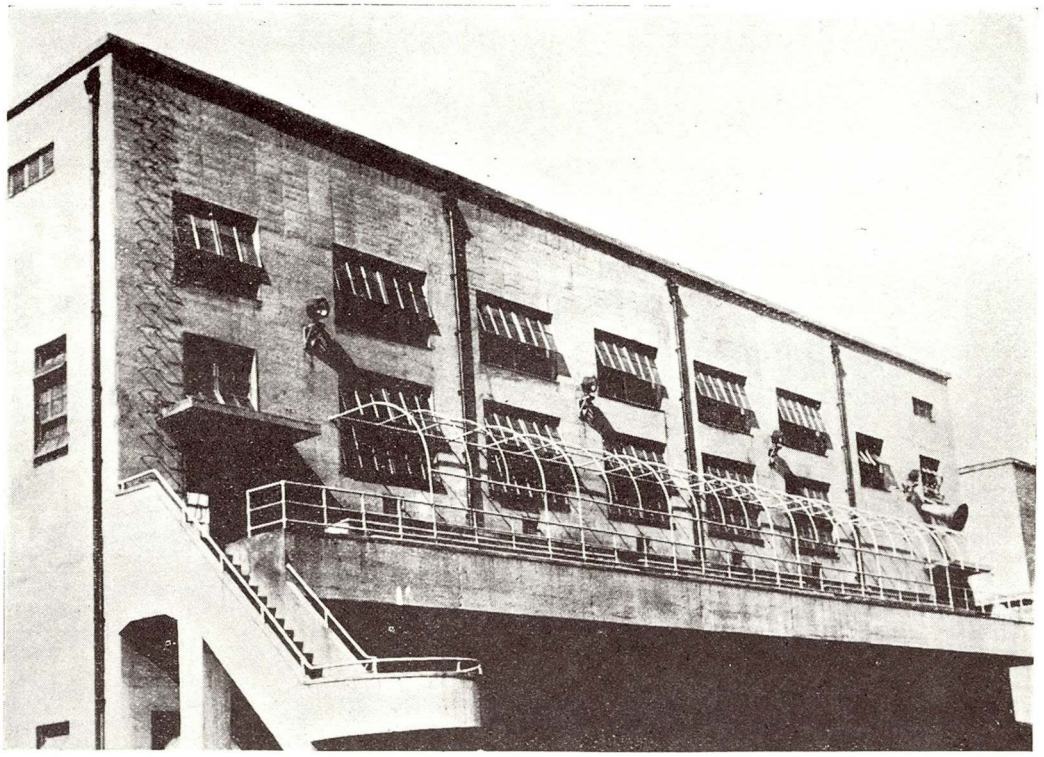
講　　堂



タイプライター特別教室



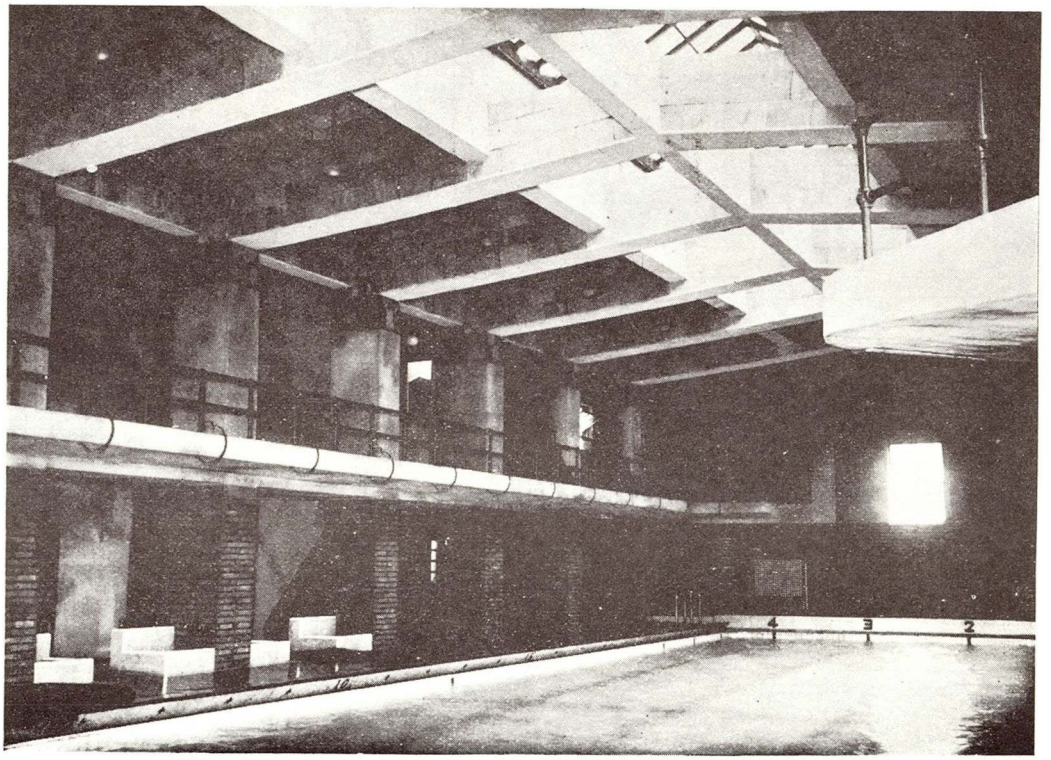
武　道　場



體　育　館（施工　松村組）

第一東京市立中學校體育館及プール

設計　東京市建築課



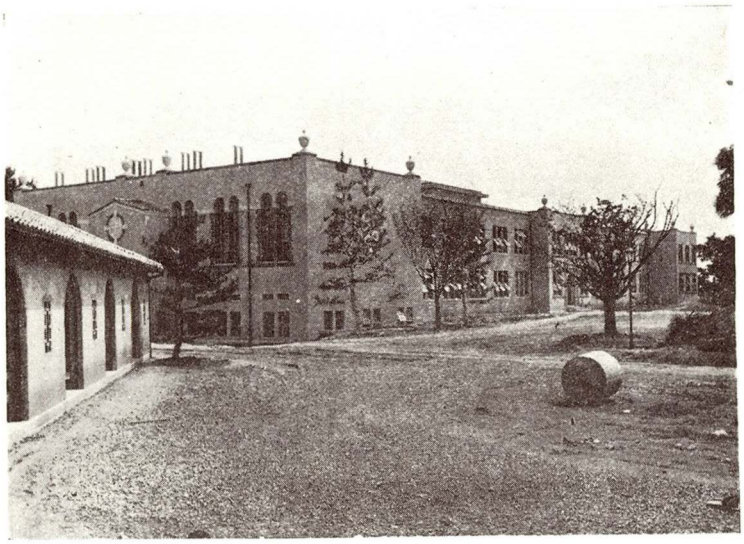
プール内部（施工　石田組）

神戸女學院

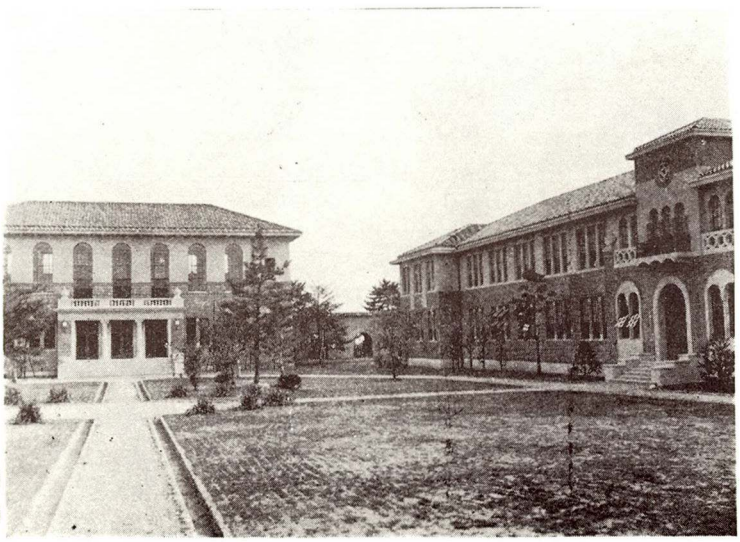
設計　ヴオーリス建築事務所
施工　竹中工務店



音樂館



高等女學部外觀



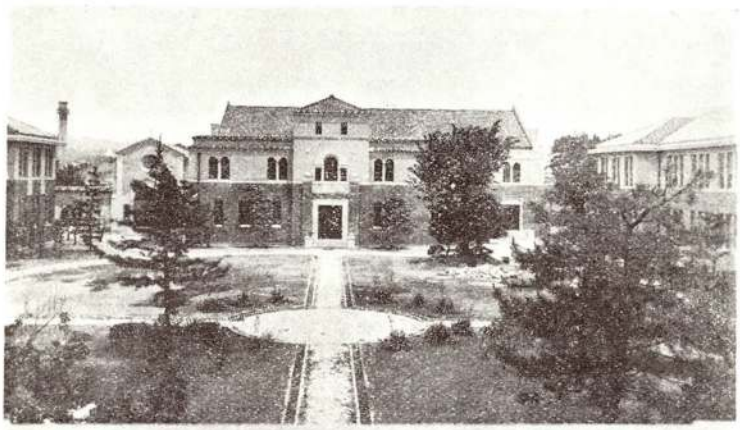
圖書館（左）
理科學館（右）



ソールチヤペル



講堂玄關



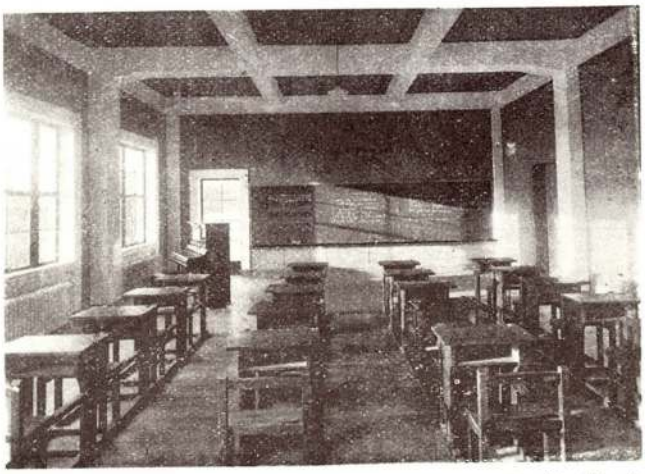
寄宿舍本部



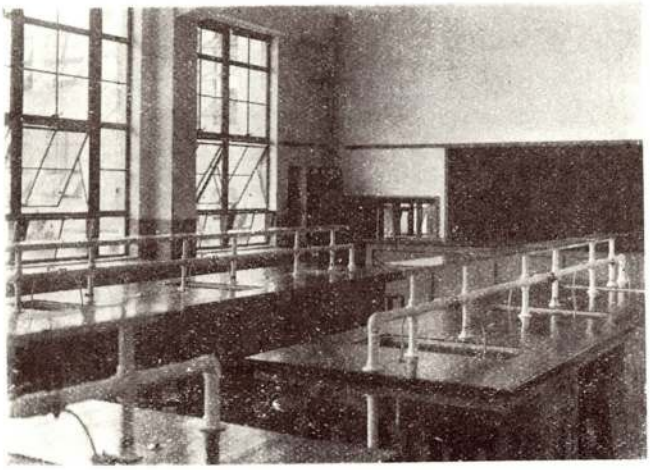
外　　觀

大阪府・聖母女學院

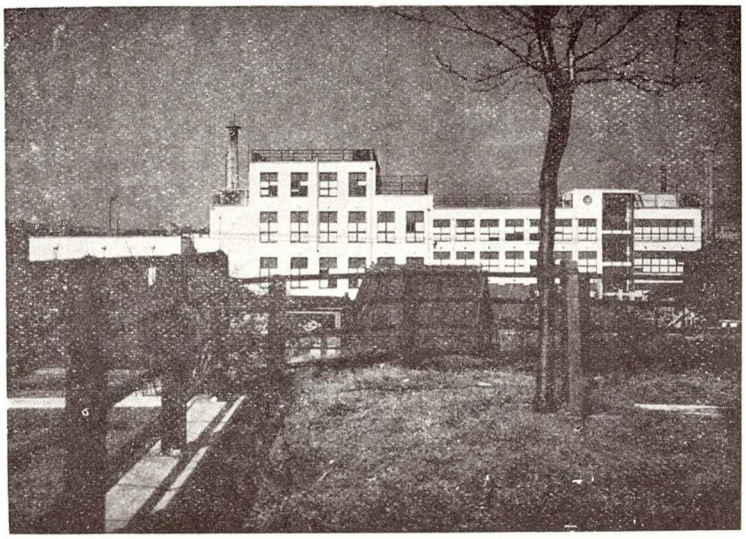
設計　レーモンド建築設計事務所
施工　竹　中　工　務　店



音　樂　教　室



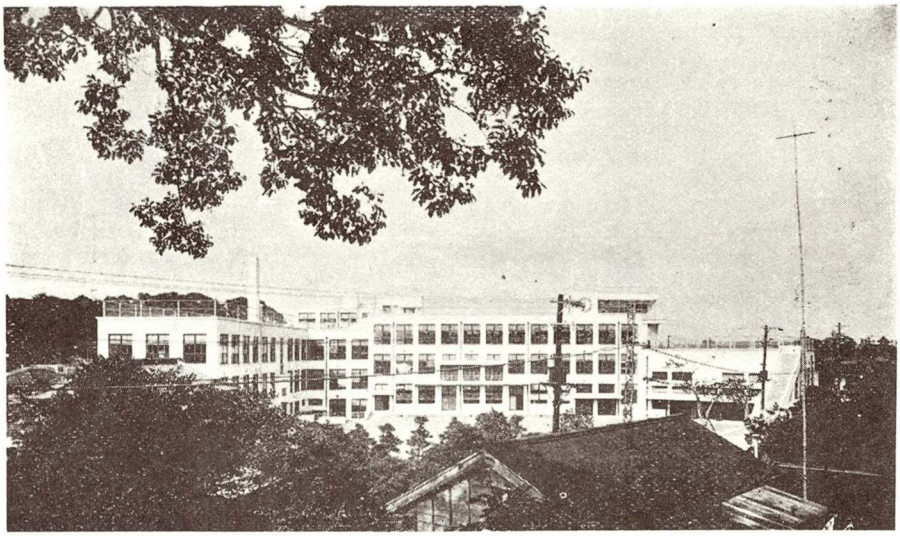
割　烹　教　室

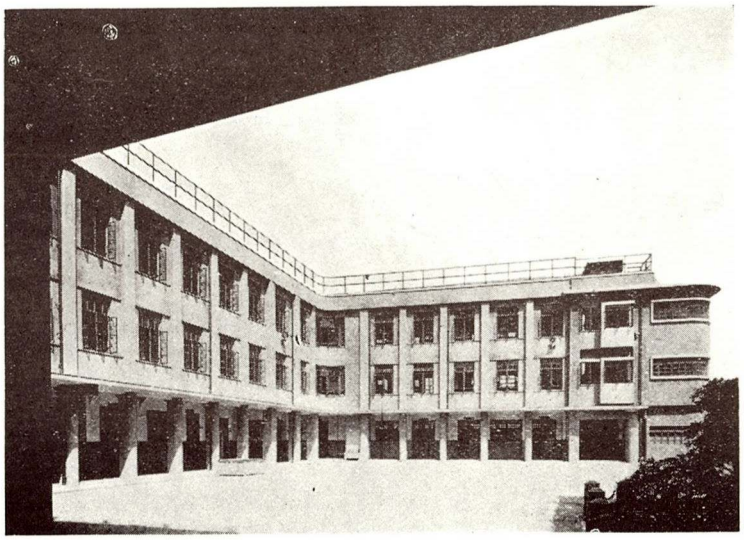


東京市立忍ケ岡尋常小學校

設計　東京市建築課

施工　清　水　組





東京市立中之町尋常赤阪高等小學校

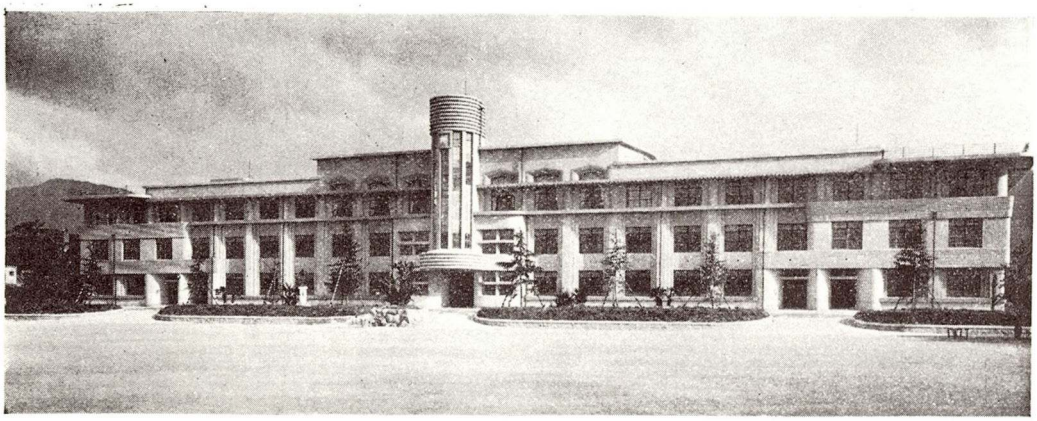
設計　東京市建築課

施工　竹　田　組

大阪市立濟美第六小學校

設計　大阪市建築課

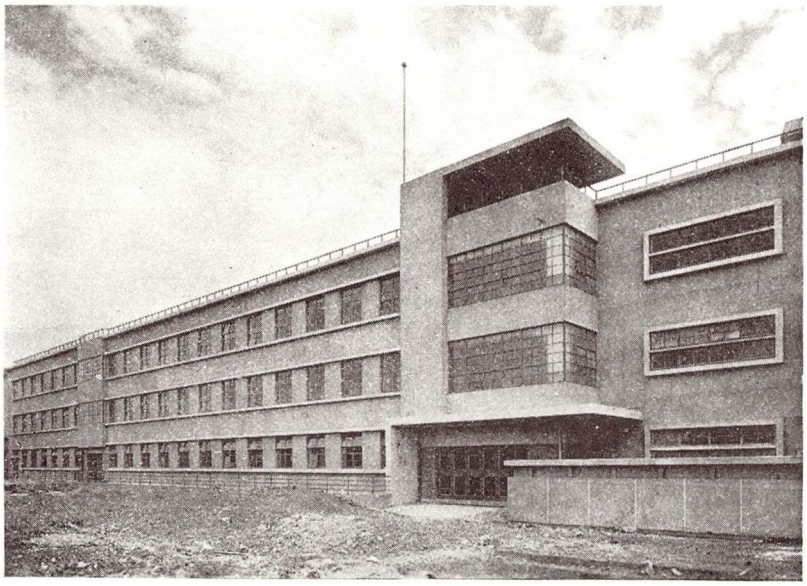
施工　有　山　組



兵庫縣・魚崎尋常高等小學校

正　面　外　觀

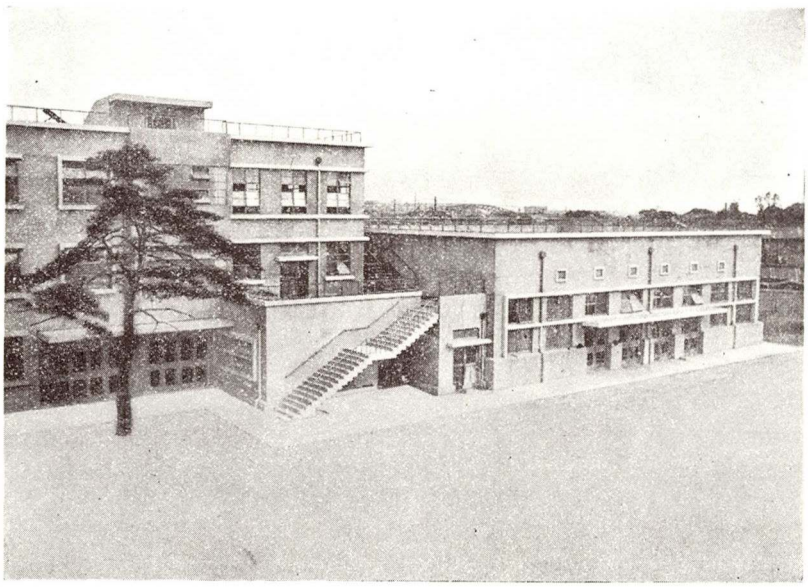
設計　清水建築事務所
施工　寺田早太郎工務店



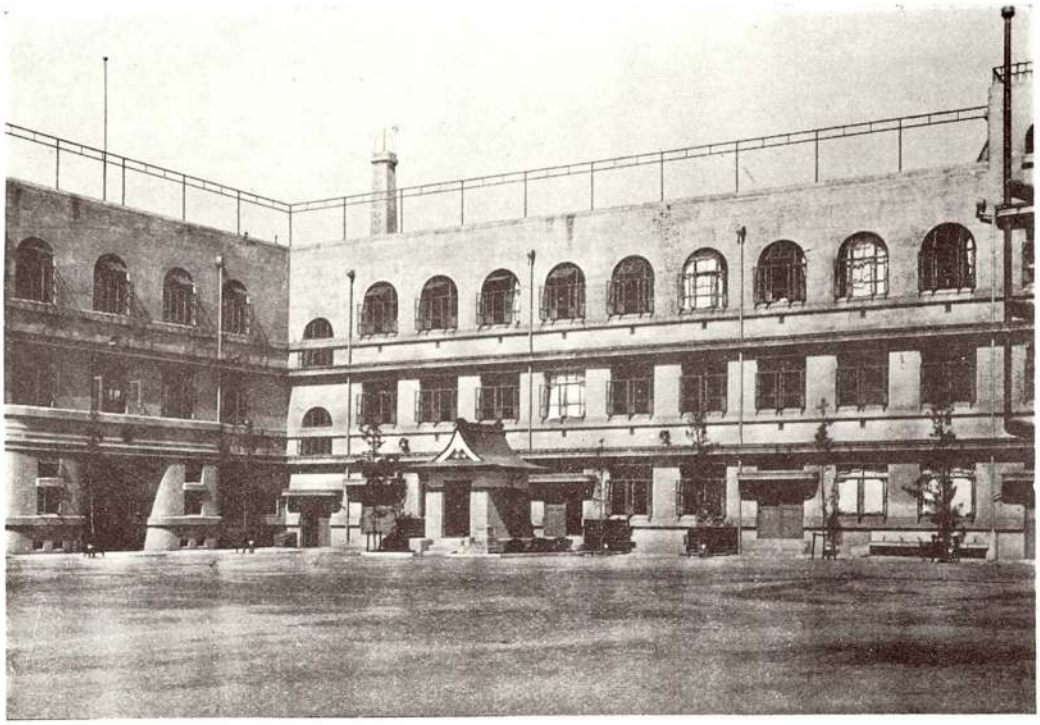
神戸市立笠松方面小學校(校名未定)

設計　神戸市營繕課
施工　鴻　池　組

北方よりの外觀



講　堂　外　觀



名古屋市立幅下尋常小學校

設計　名古屋市建築課
施工　清　水　組



名古屋市立中之町尋常高等小學校

設計　名古屋市建築課
施工　安　藤　組

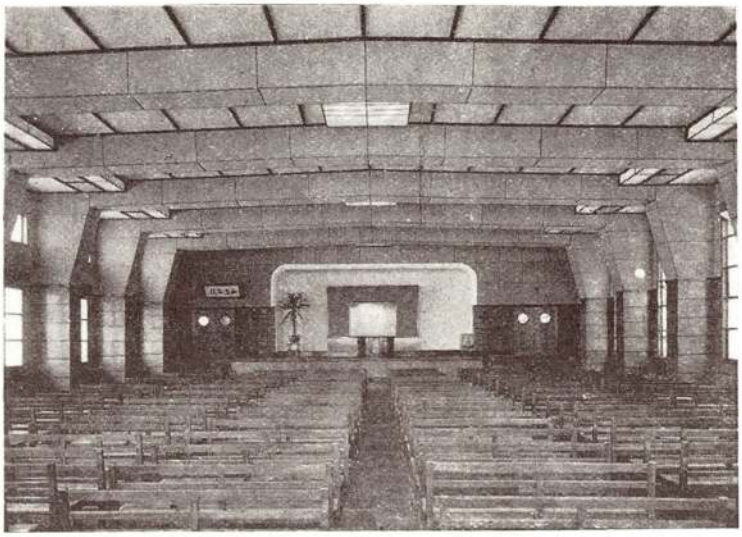


内庭よりの外観

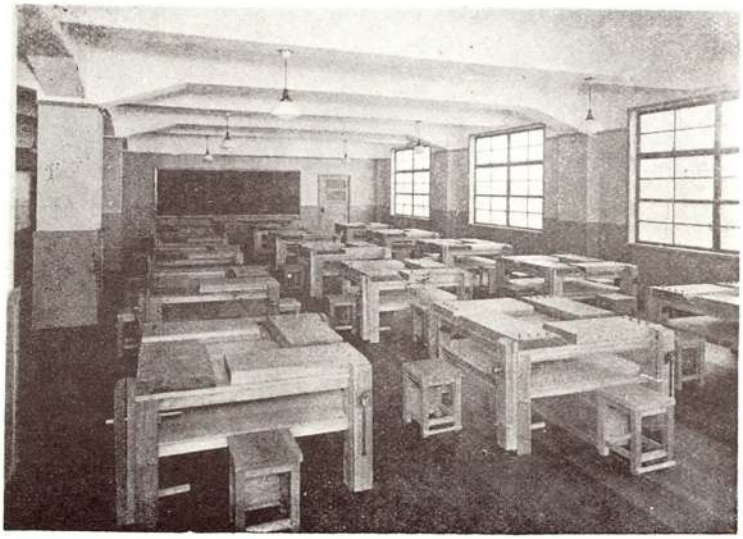
神戸市立福住尋常小學校

設計　神戸市營繕課

施工　進　木　組



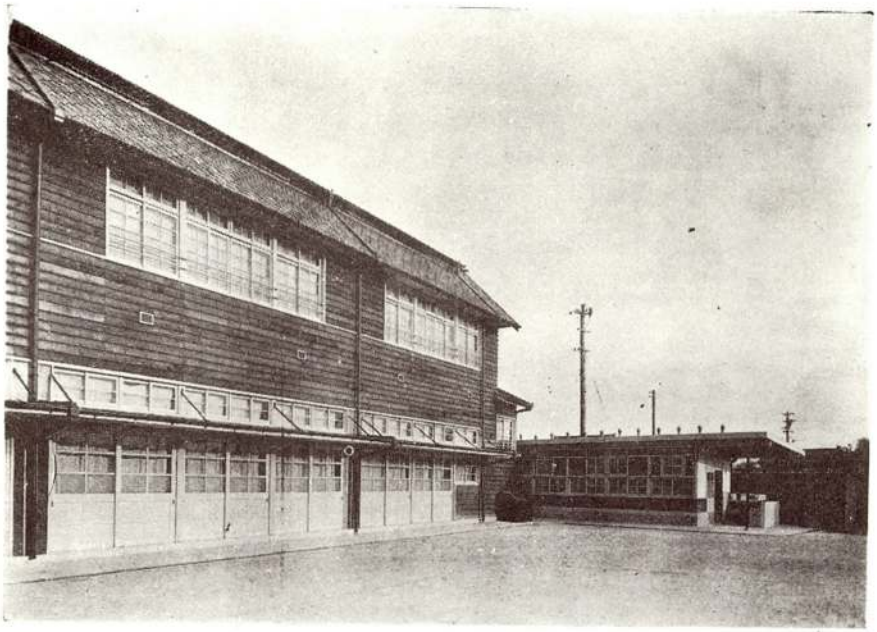
講　堂



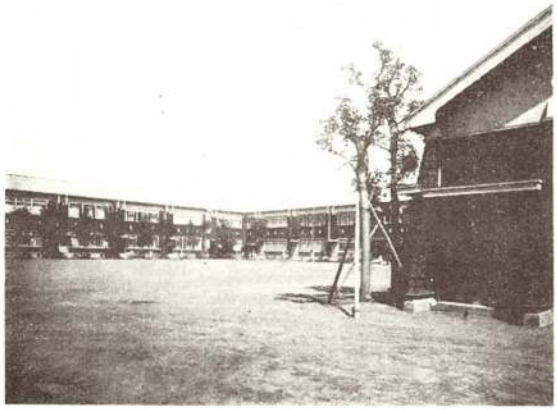
手工特別教室

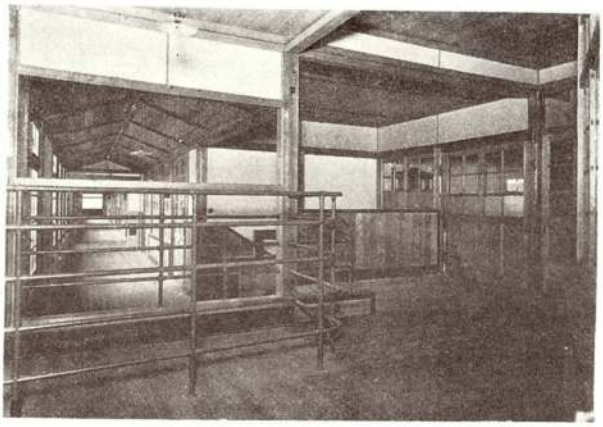
大阪市立北田邊小學校

設計　大阪市建築課
施工　森田友造工務店



運動場より見たる校舍（芦穗畸）





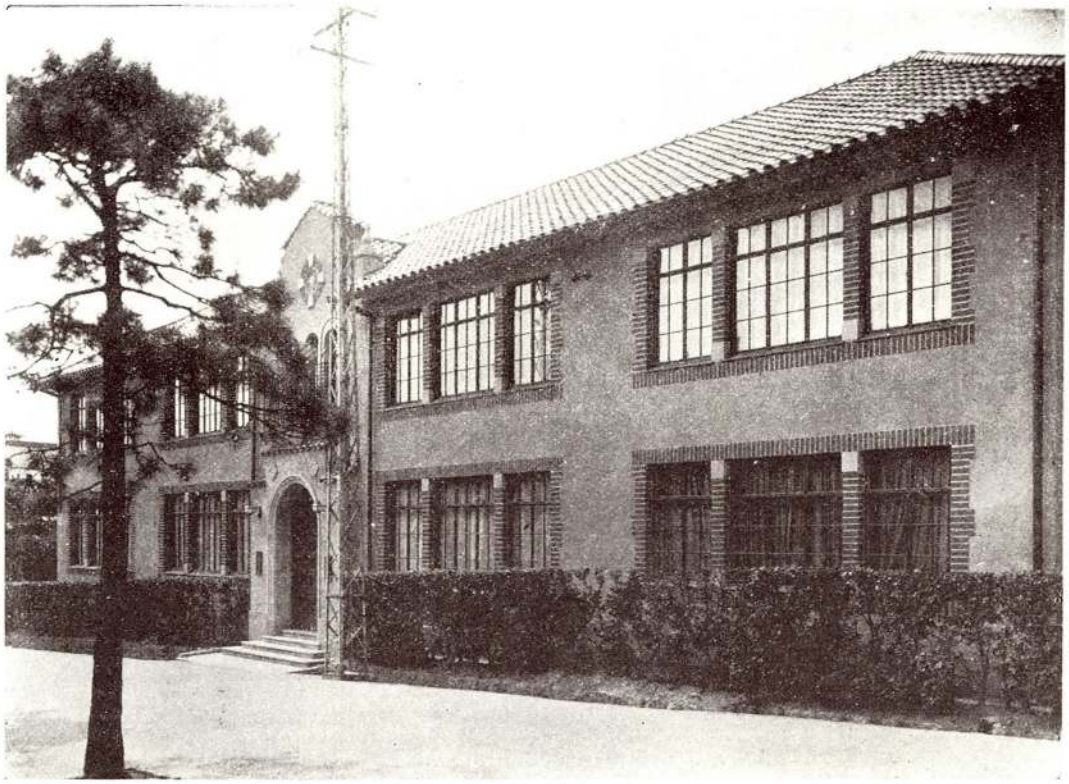
（北　田　邊）

屋内體操場外觀



横濱市立芦穗崎小學校

設計　横濱市建築課
施工　工藤組・日本土木株式會社

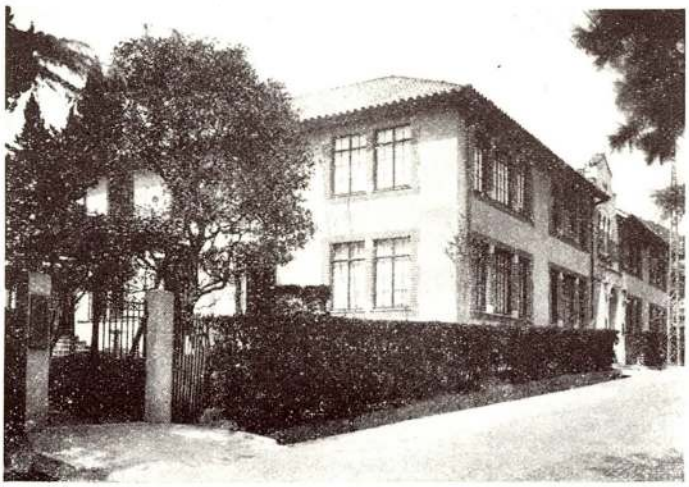


東方よりの外觀

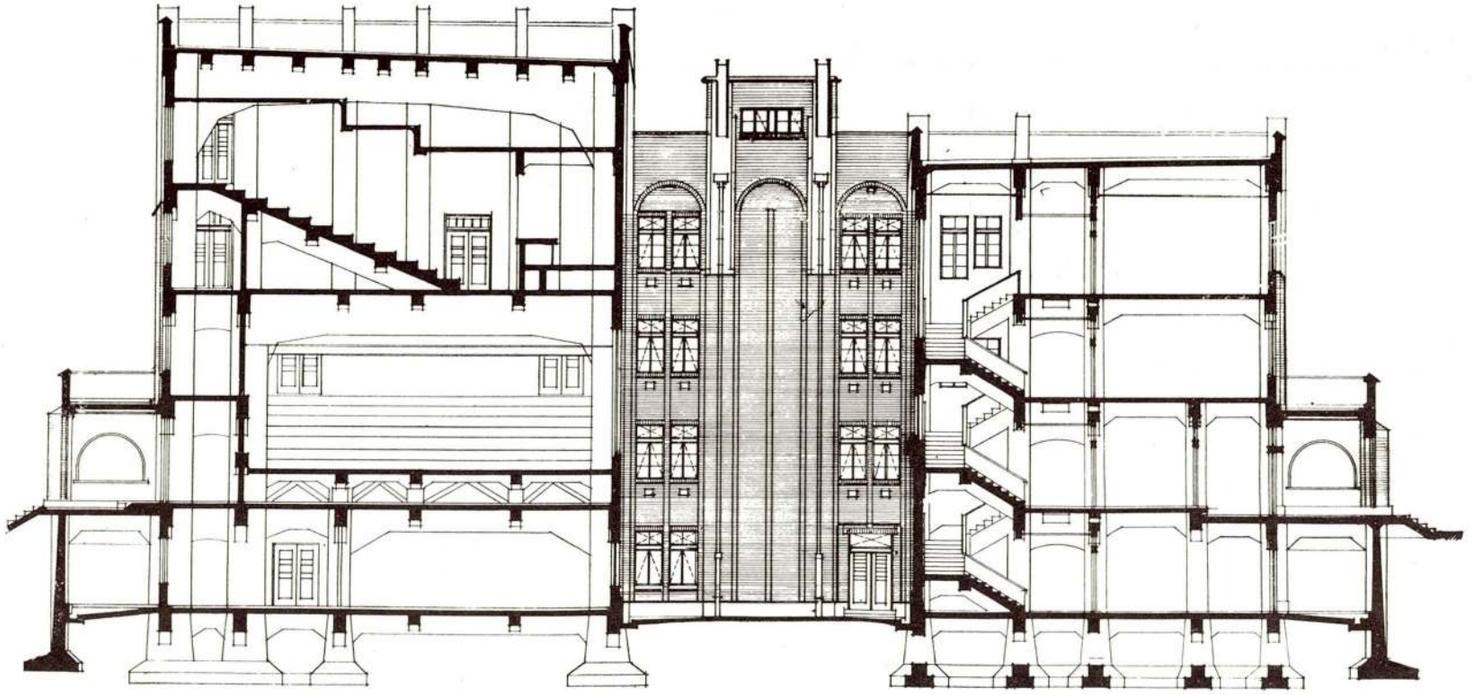
神戸市・頌榮幼稚園

設計　ヴオーリス建築事務所

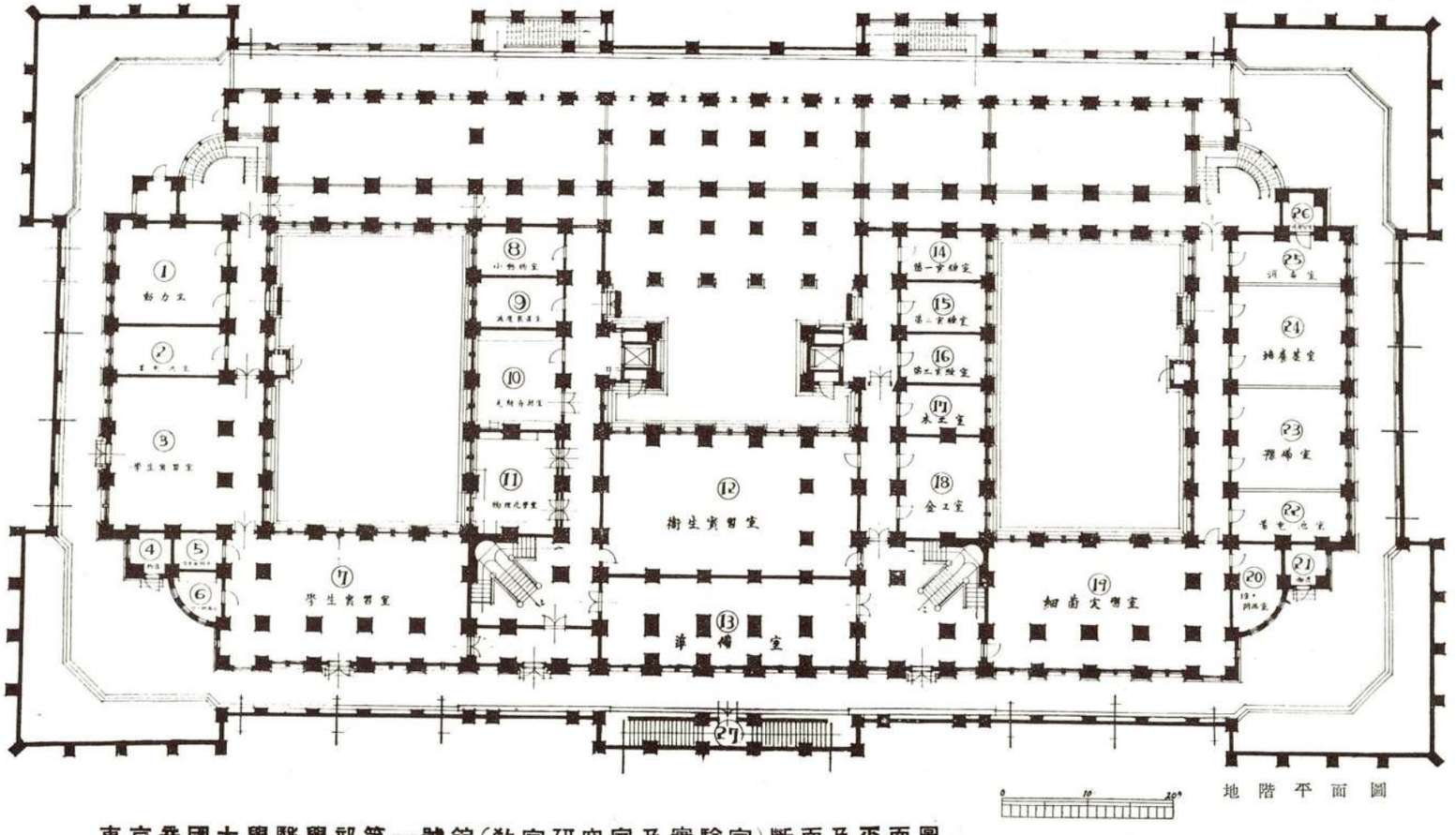
施工　竹中工務店



同　　上



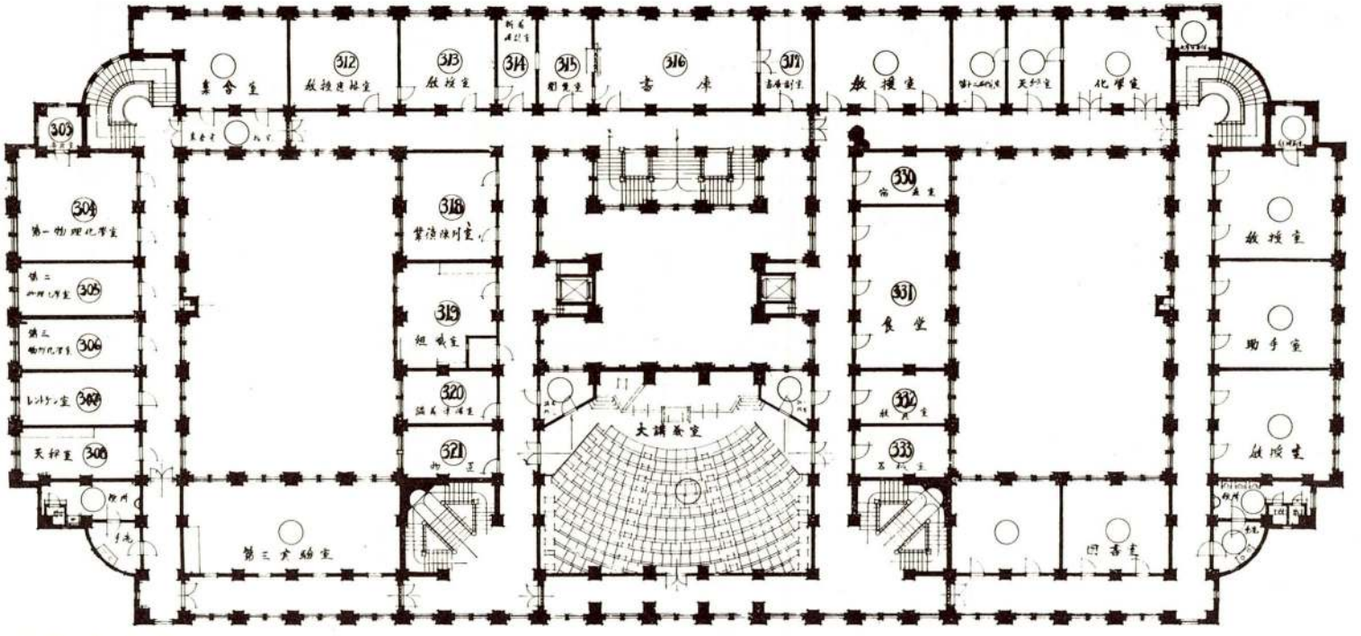
斷面圖



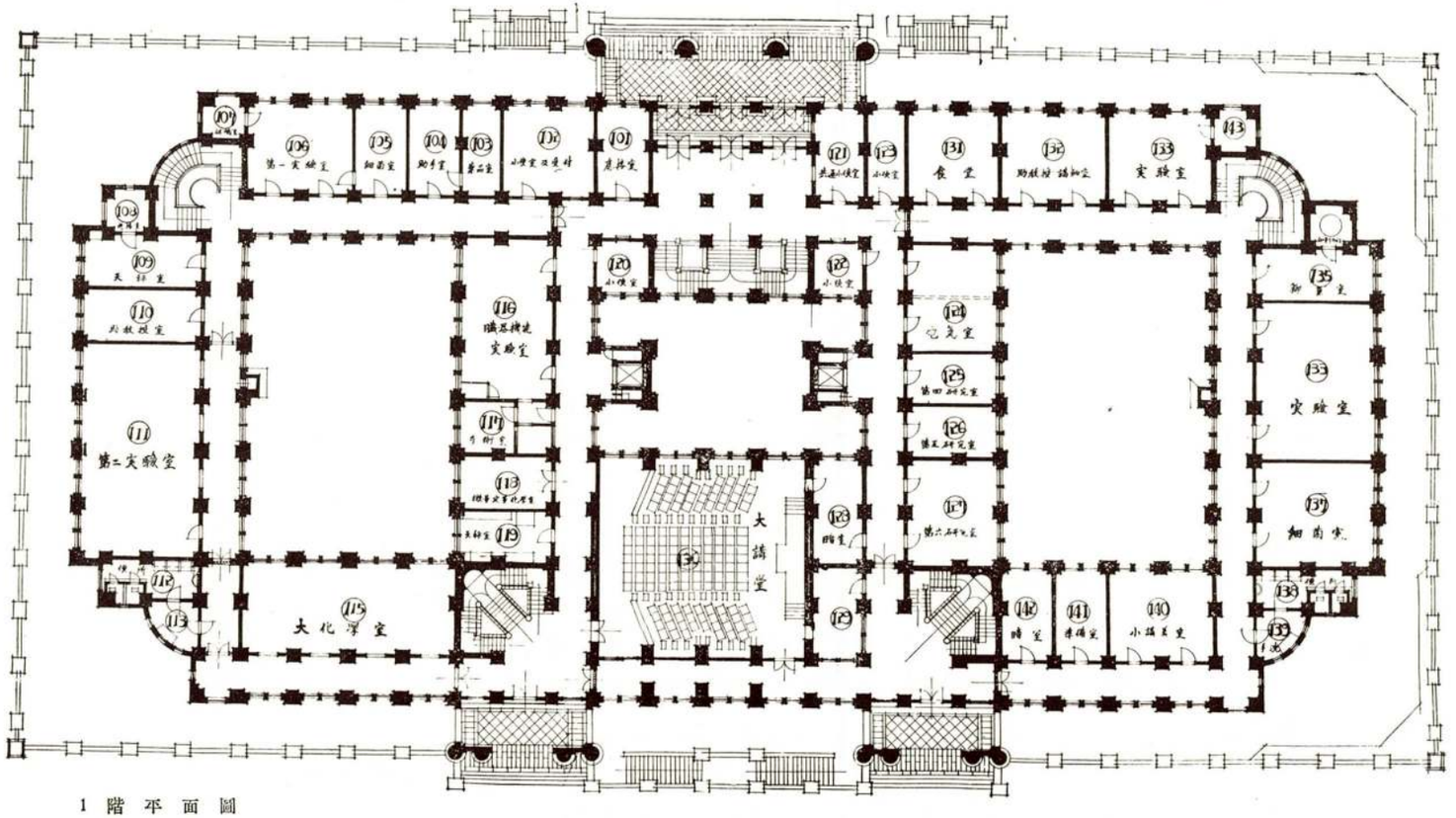
地階平面圖

所在地　東京帝國大學構内
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造
　　地階付4階建
建築面積
　地　階　517.61坪
　一　階　732.33
　二　階　666.42
　三　階　724.57
　四　階　87.23
　延　坪　2,723.16
設　計　東京帝國大學營繕課
施　工　大倉土木株式會社
　　(軸部工事)
　　戸田組(仕上工事)

東京帝國大學醫學部第一號舘(教室研究室及實驗室)斷面及平面圖

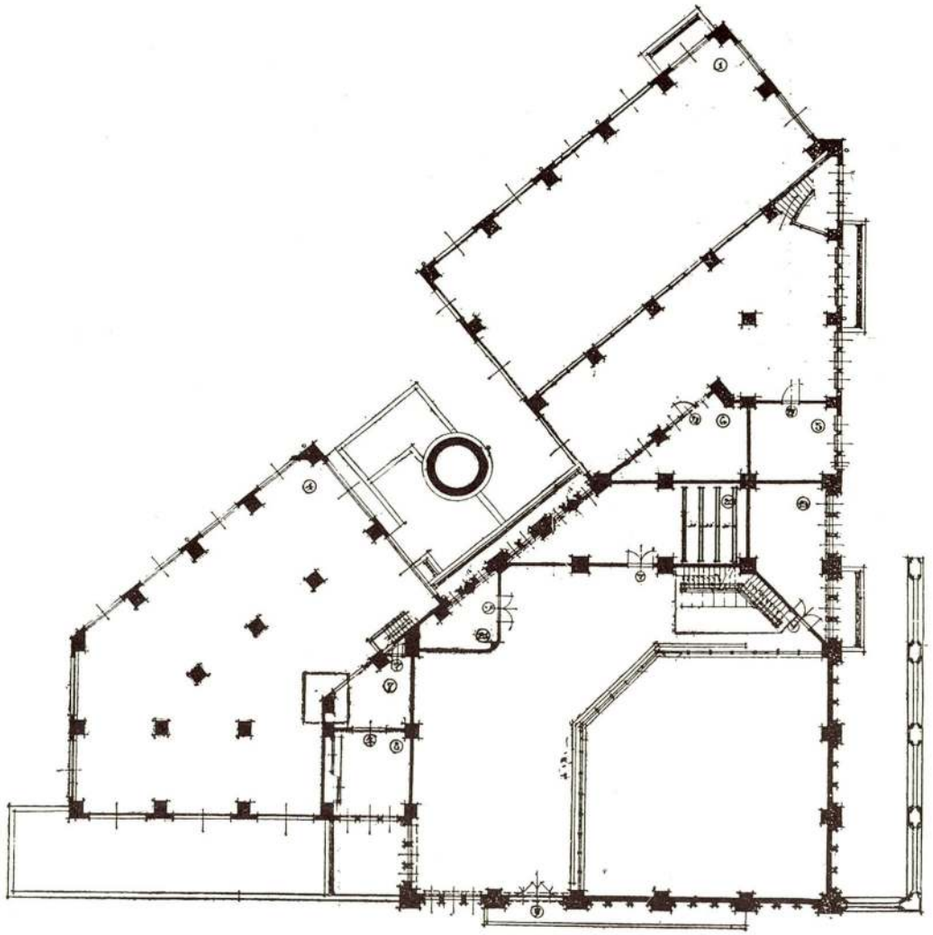


3 階 平 面 圖

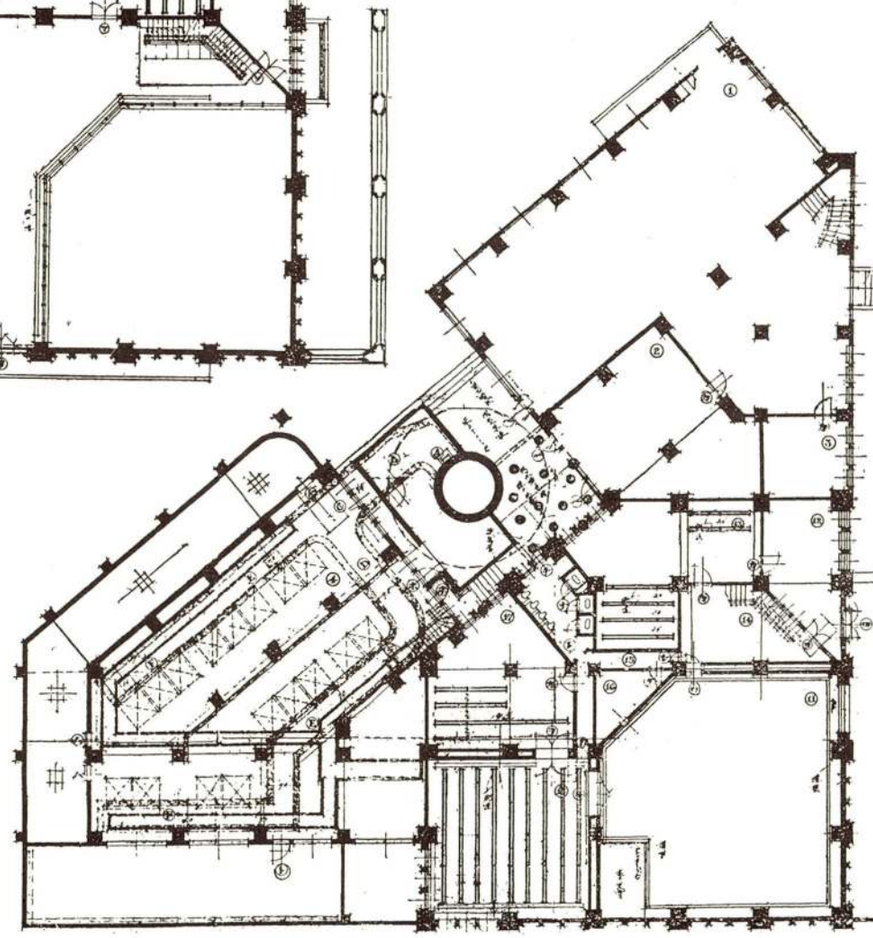


1 階 平 面 圖

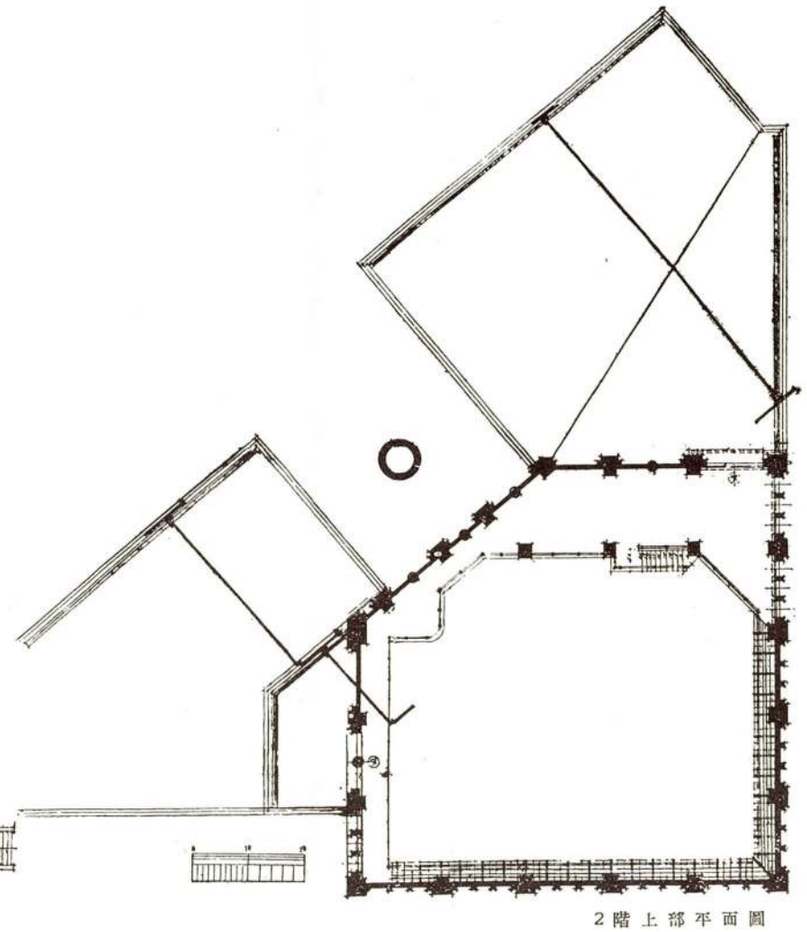
東京帝國大學醫學部第一號舘(教室・研究室及實驗室)1・2階平面圖



2 階 平 面 圖



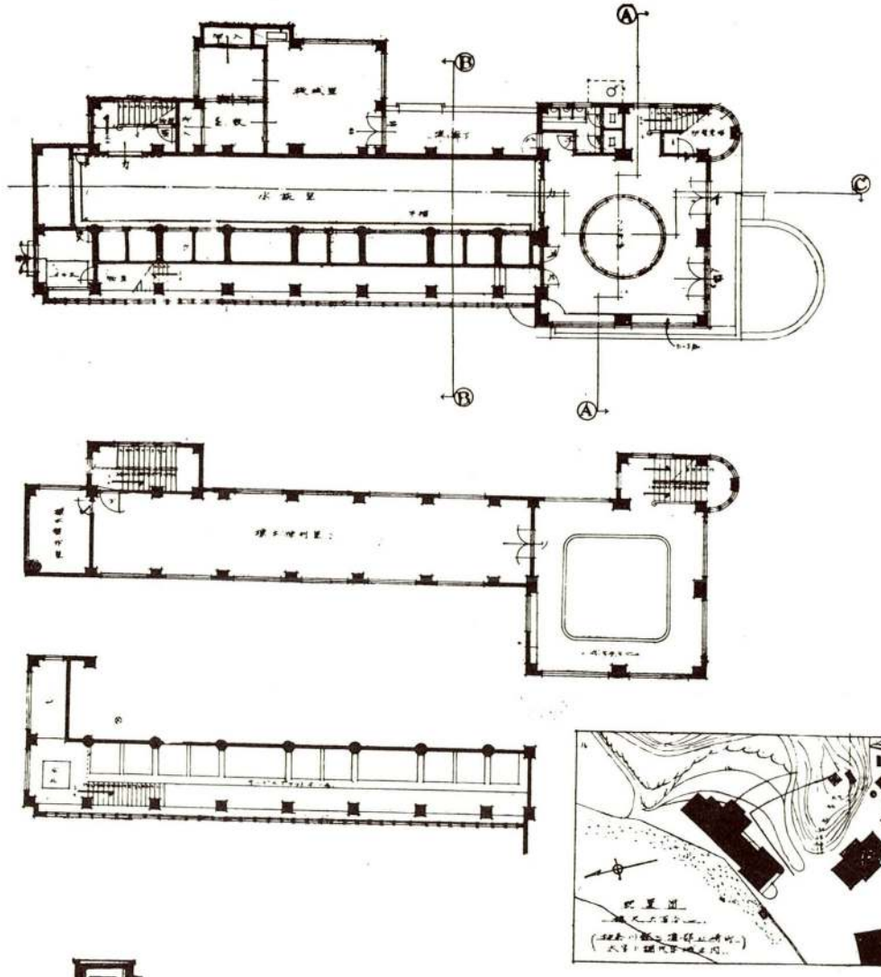
1 階 平 面 圖



2 階 上 部 平 面 圖

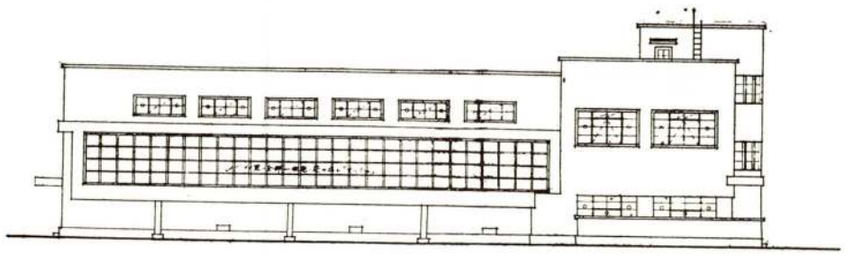
所 在 地　東京帝國大學構內
構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造 2 階建
建築面積　第 1 階　335.86 坪
　　第 2 階　52.84
　　延　坪　388.70
設　　計　東京帝國大學營繕課

東京帝國大學本部附屬屋及工學部實驗室各階平面圖

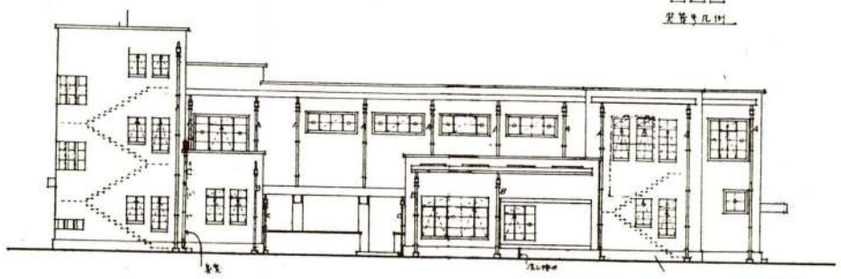




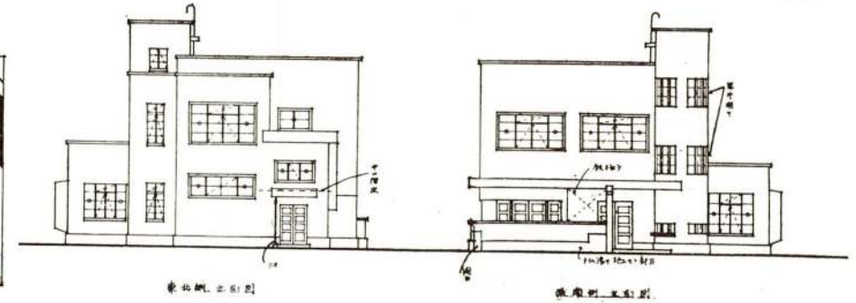
斷　面　圖

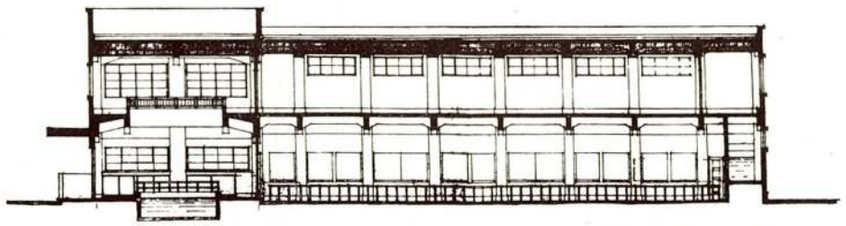


西北側立面圖



東南側立面圖

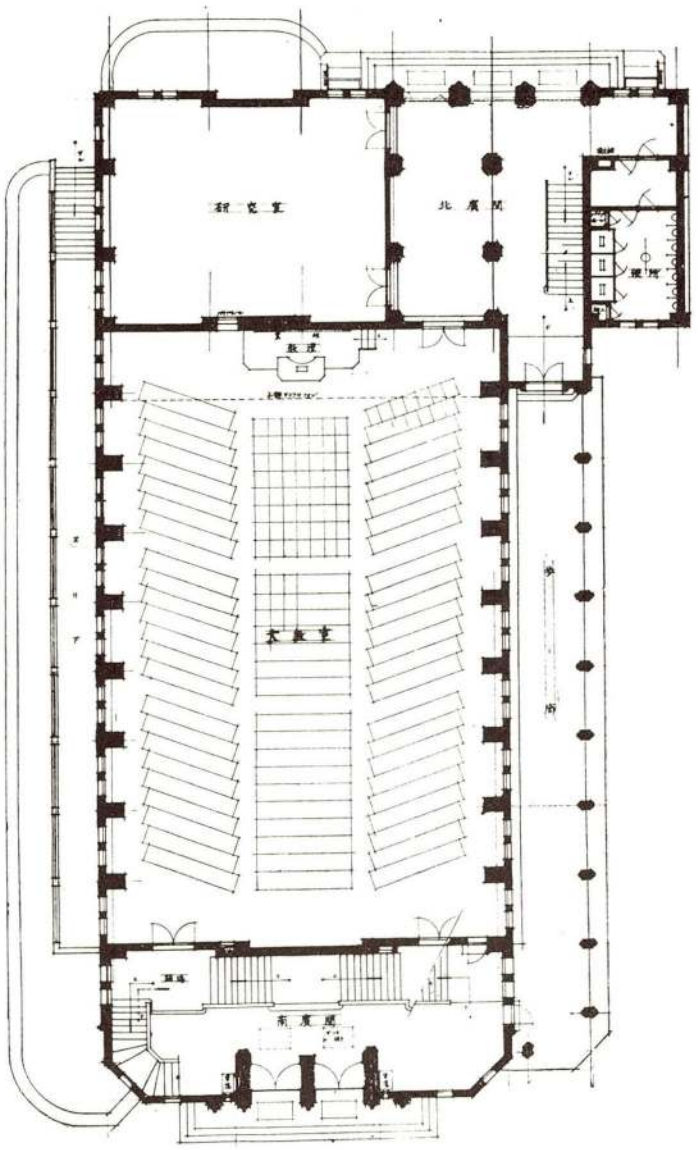




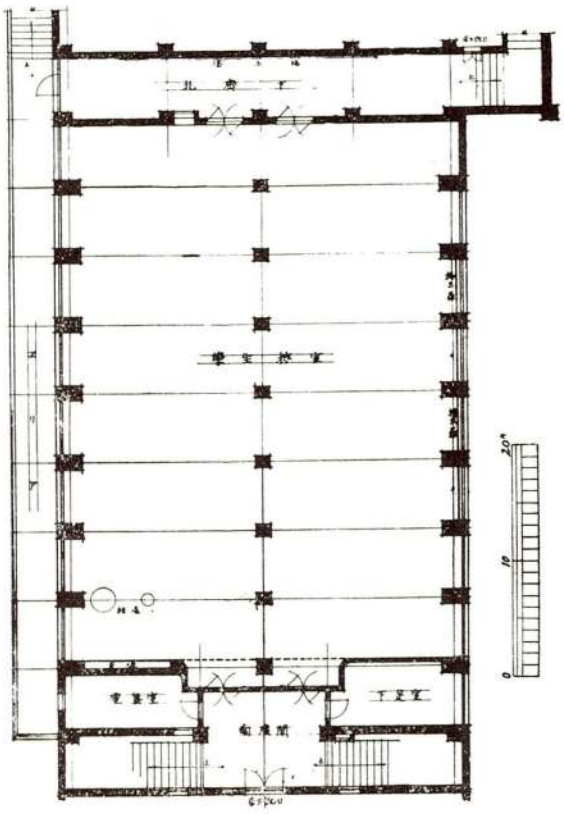
斷　面　圖

所在地　神奈川縣三崎町油壺
構　造　鐵筋混凝土造 2 階建
建築面積　建坪　80.875 坪
　　延坪　112. 坪
設　計　東京帝國大學營繕課

東京帝國大學理學部臨海實驗所(水族室標本室)配置・斷面・立面及平面圖

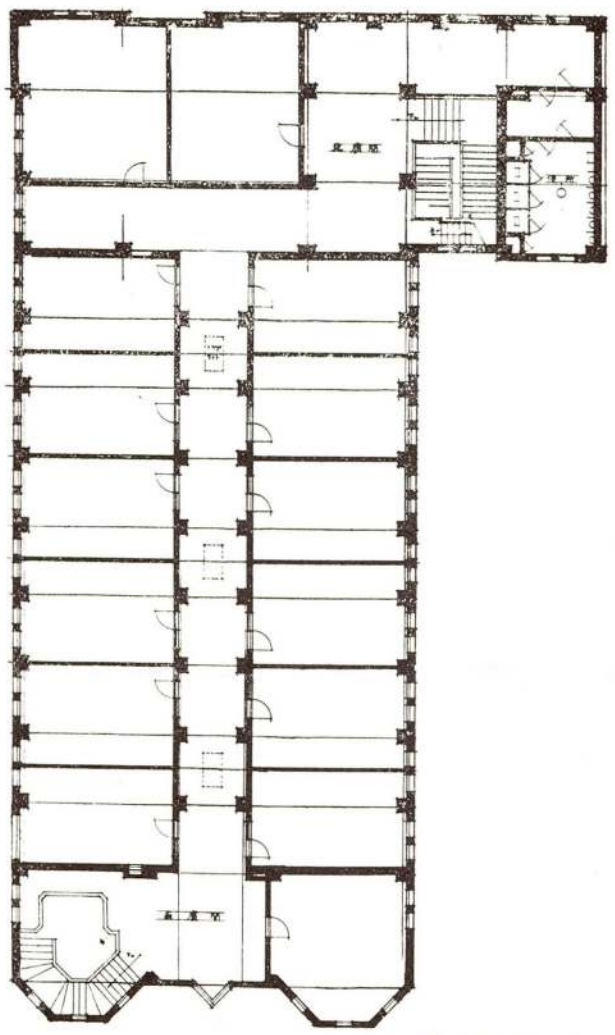


1 階 平 面 圖

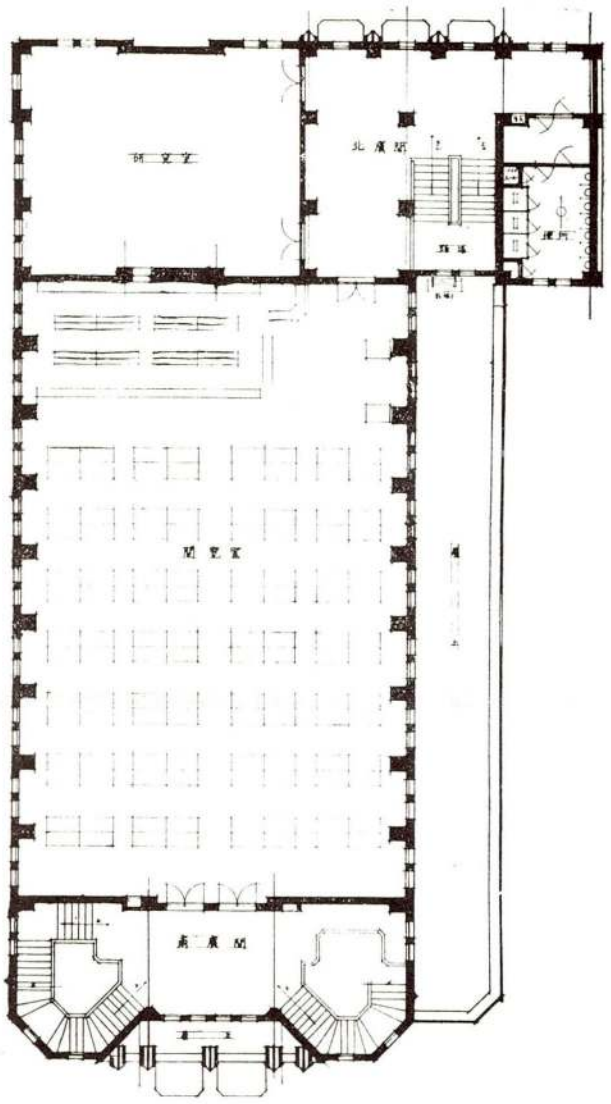


地 階 平 面 圖

所 在 地　京都帝國大學構內
構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造
　　地階付3階建
建築面積　地階　550.60 平方米
　　1 階　915.52
　　2 階　780,84
　　3 階　781.65
　　塔屋　12.75
　　延　3,041.36 平方米
設　　計　京都帝國大學營繕課
施　　工　大倉土木株式會社

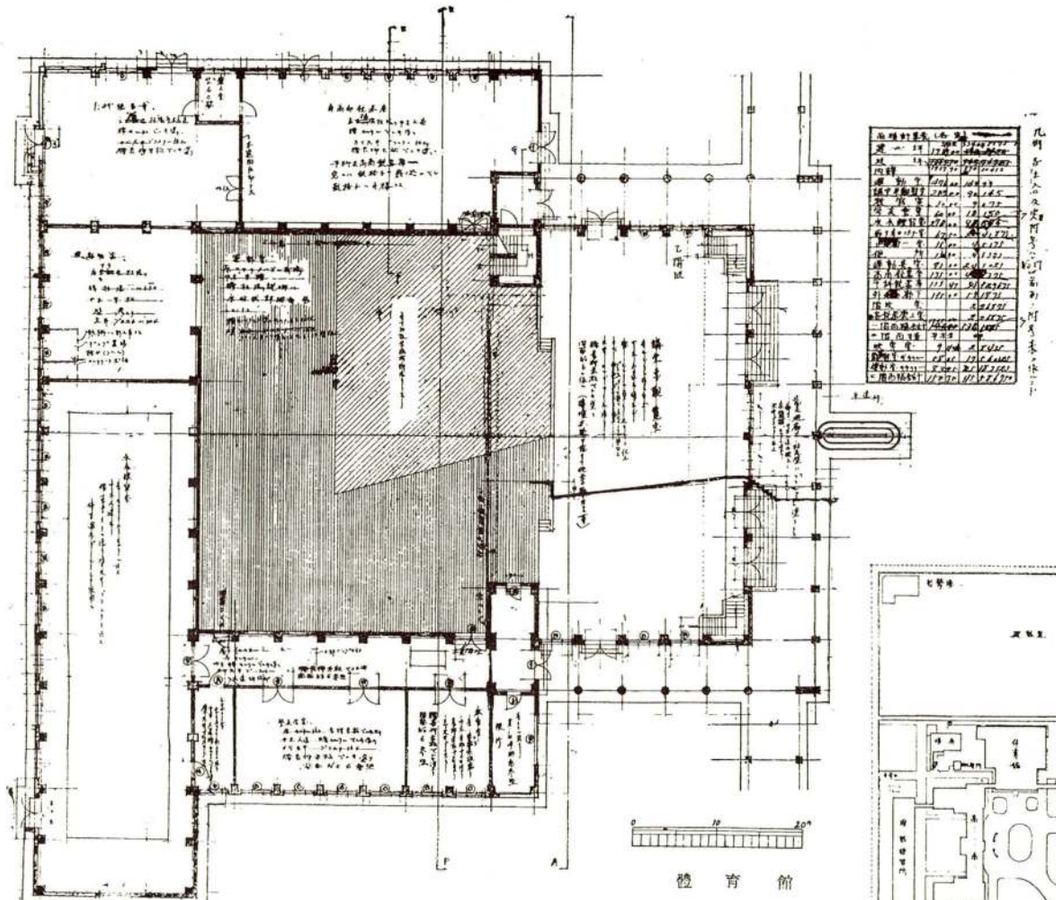


3 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖

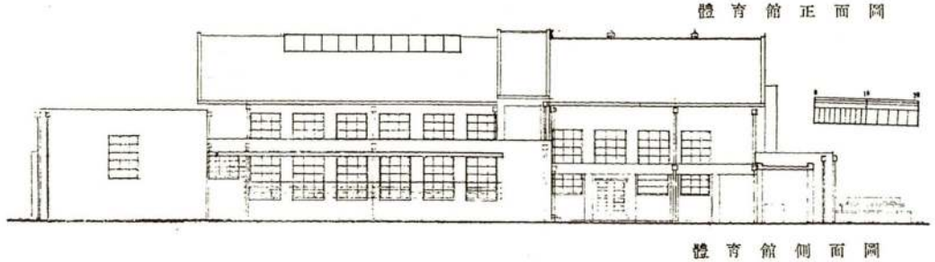
京都帝國大學法學部經濟學部各階平面圖



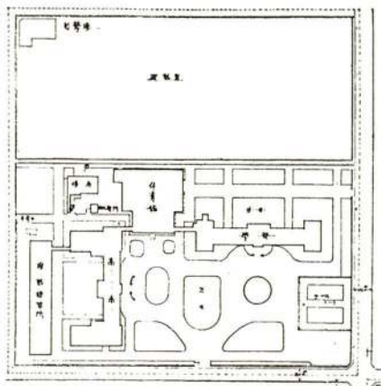
體　育　館



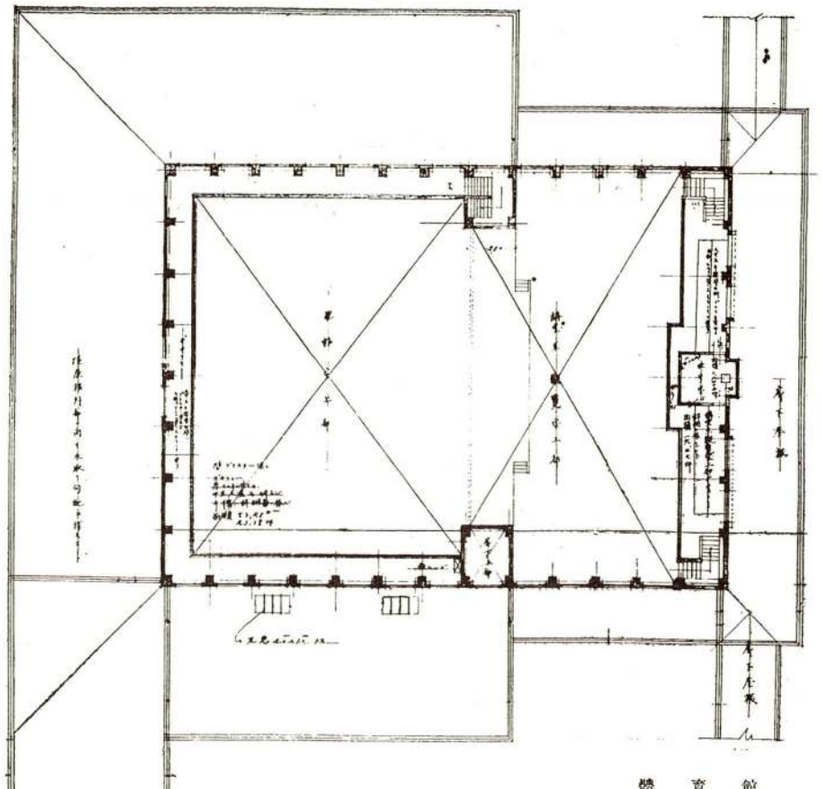
體　育　館　正　面　圖



體　育　館　側　面　圖



豫科高商學部建築配置圖



體　育　館

所在地　大阪市住吉區杉本町

大學部本館
構造　鐵筋混凝土造3階建
建築面積
建坪 1,861.91平方米
延坪 5,785.38

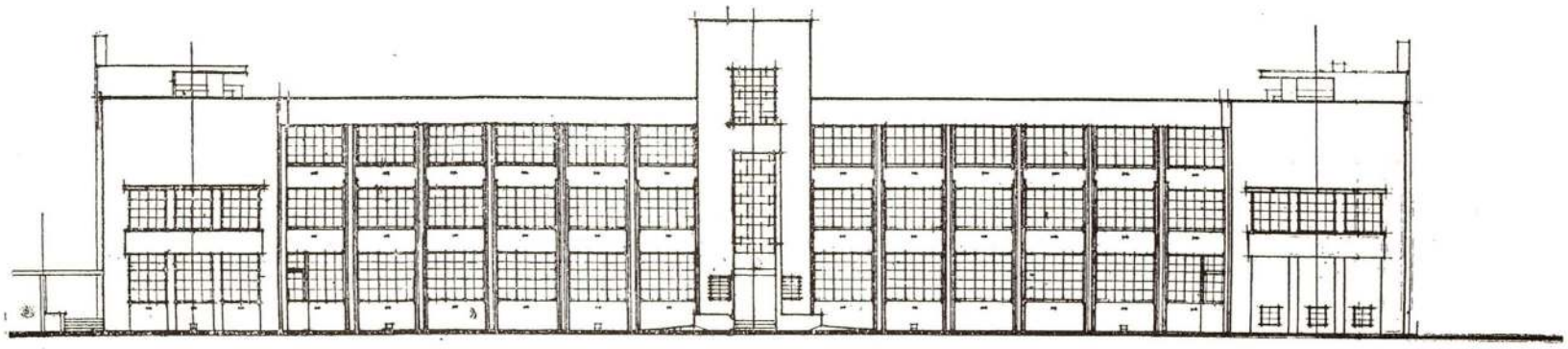
圖書館
構造　鐵筋混凝土造2階建
建築面積
建坪 1,740.17平方米
延坪 2,837.57

豫科校舍
構造　鐵筋混凝土造3階建
建築面積
建坪 1,249.00平方米
延坪 3,660.00

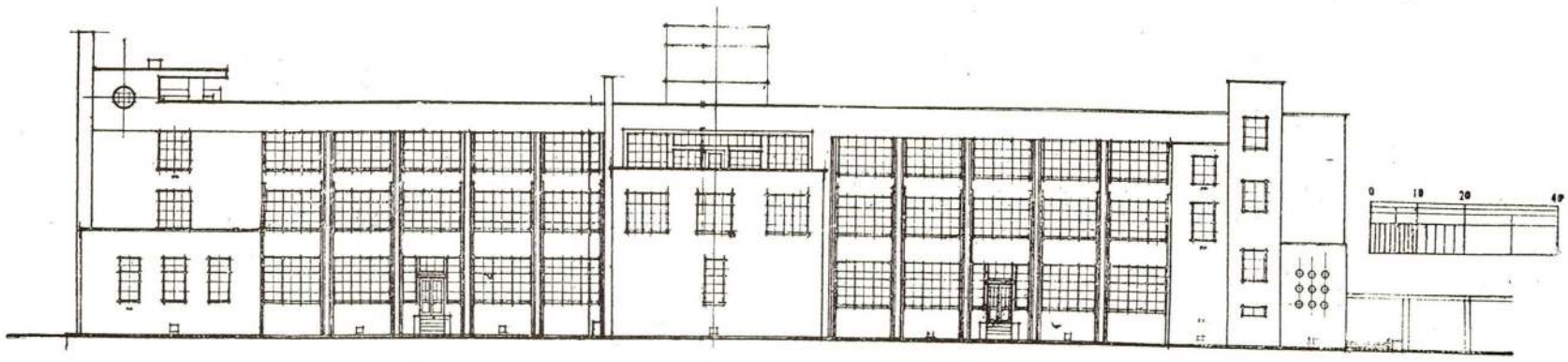
高等商業部校舍
構造　鐵筋混凝土造3階建
建築面積
建坪 1,575.78平方米
延坪 4,447.02

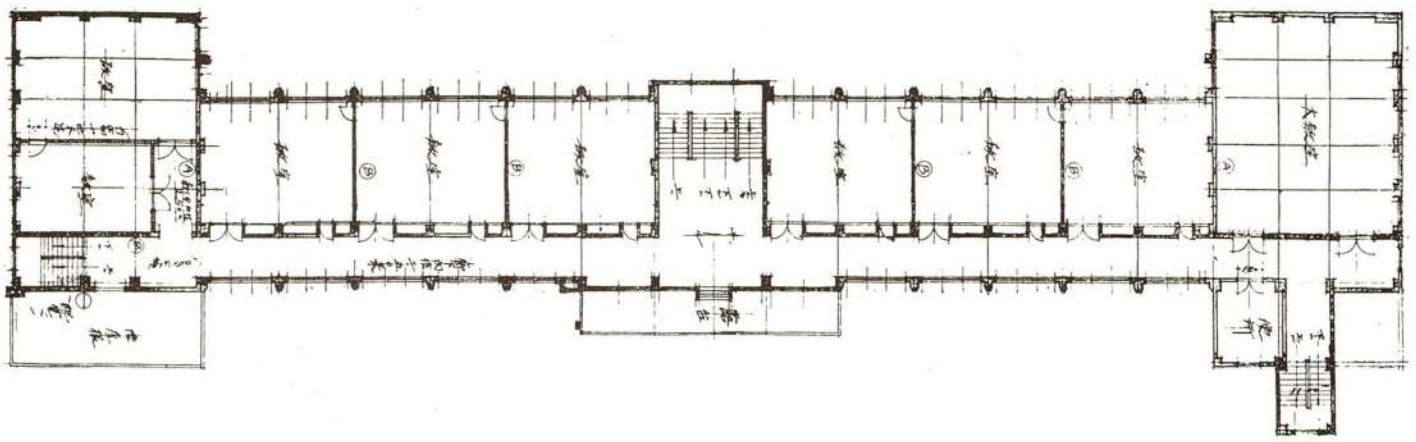
設計　大阪市建築課

大阪市立商科大學豫科高等商業部建築配置圖・體育館立面圖及平面圖

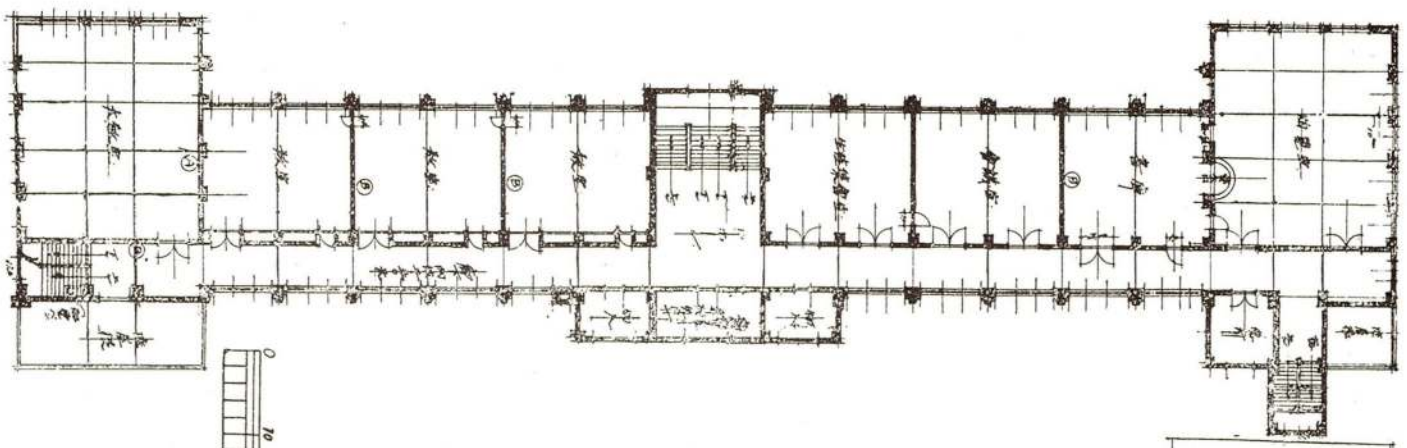


豫科校舍立姿圖

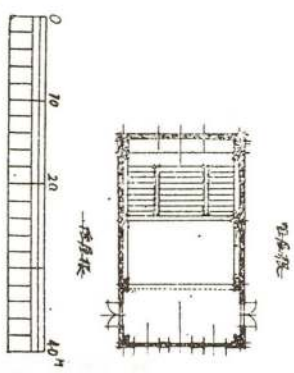




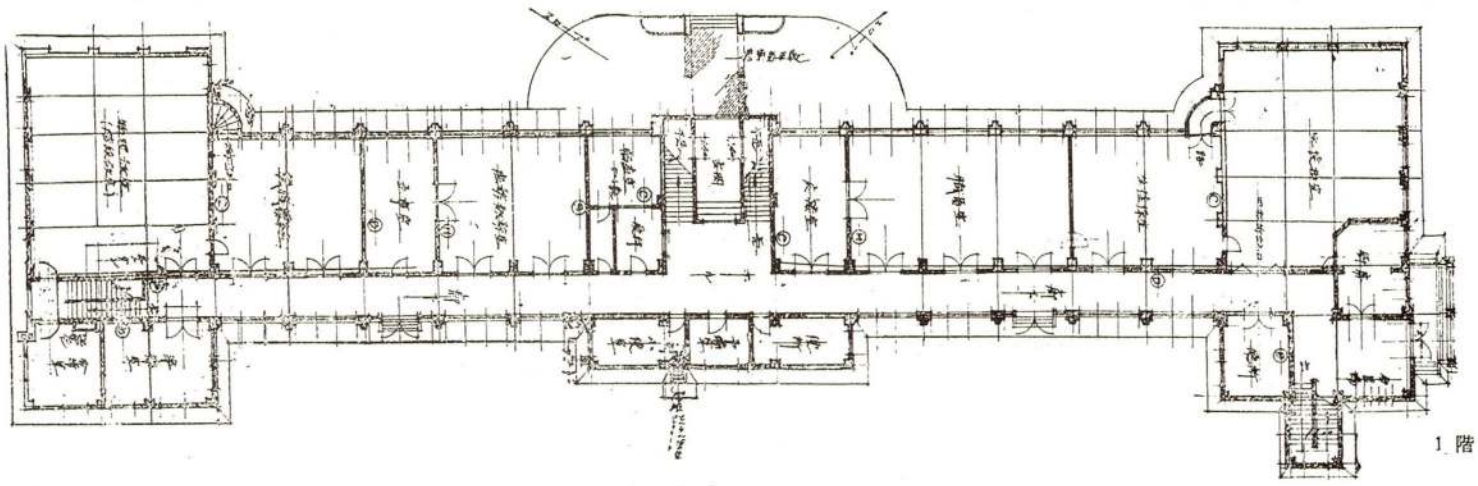
3階平面圖



2階平面圖

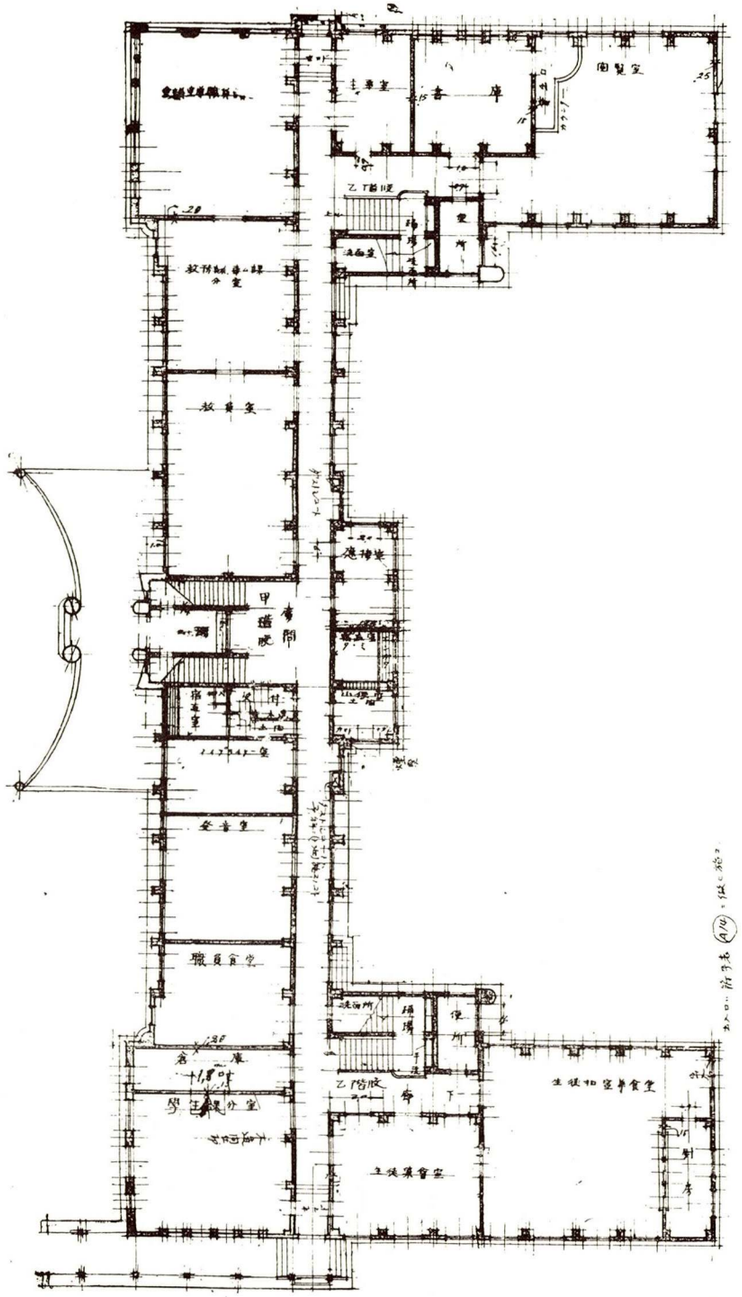


塔屋平面圖

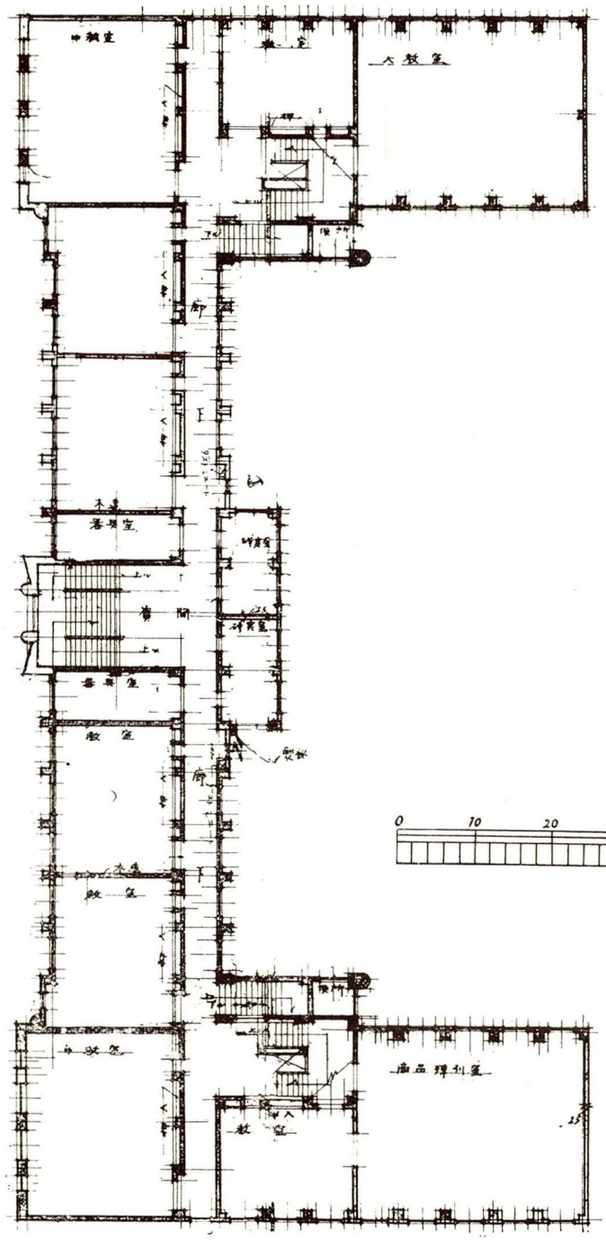


1階平面圖

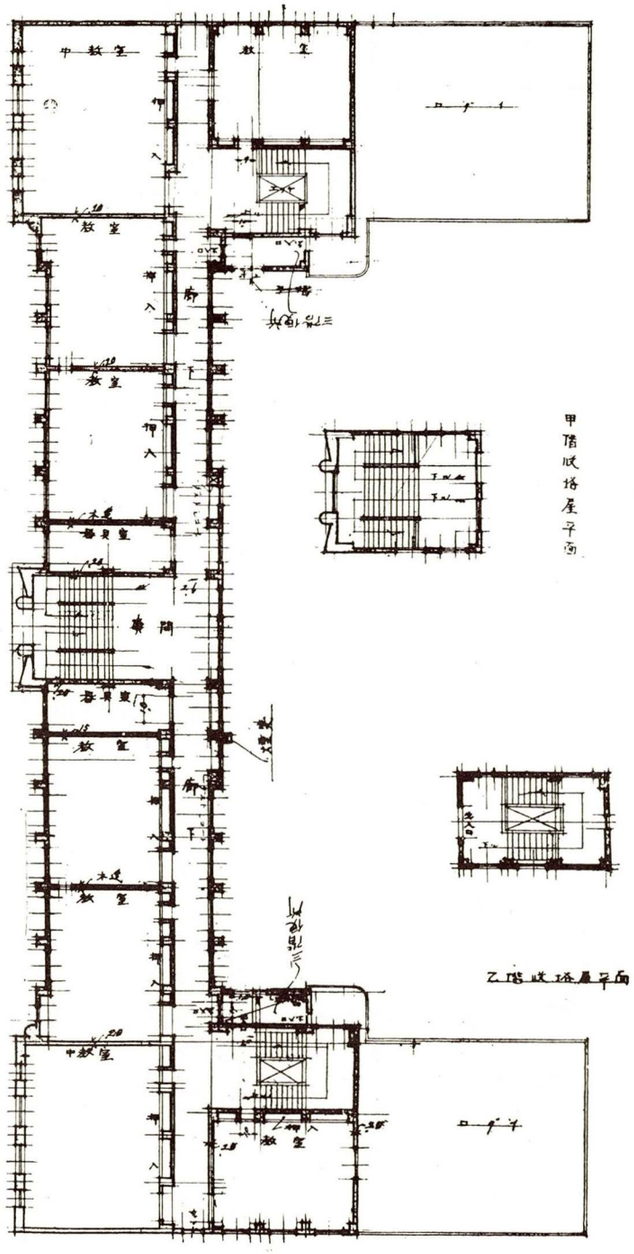
大阪商科大學豫科立姿及各階平面圖



1 階 平 面 圖

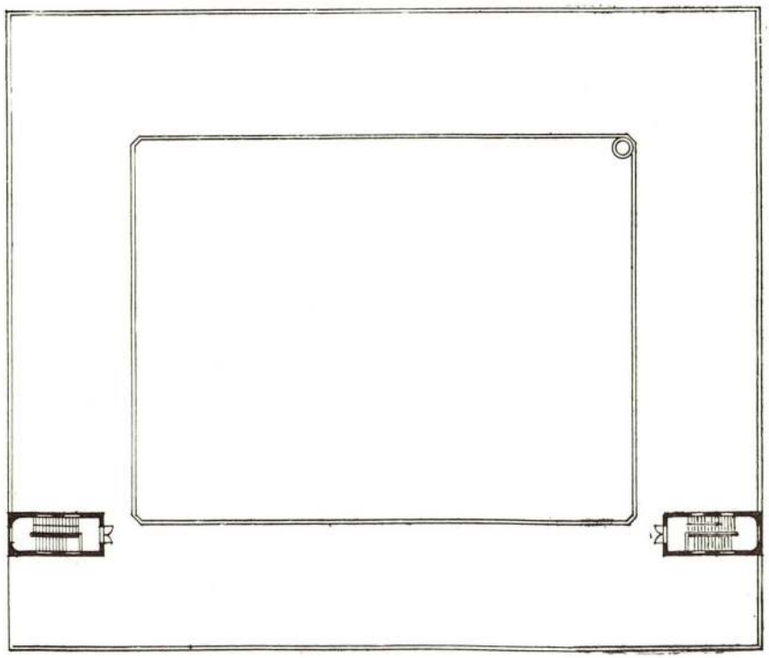


2 階 平 面 圖

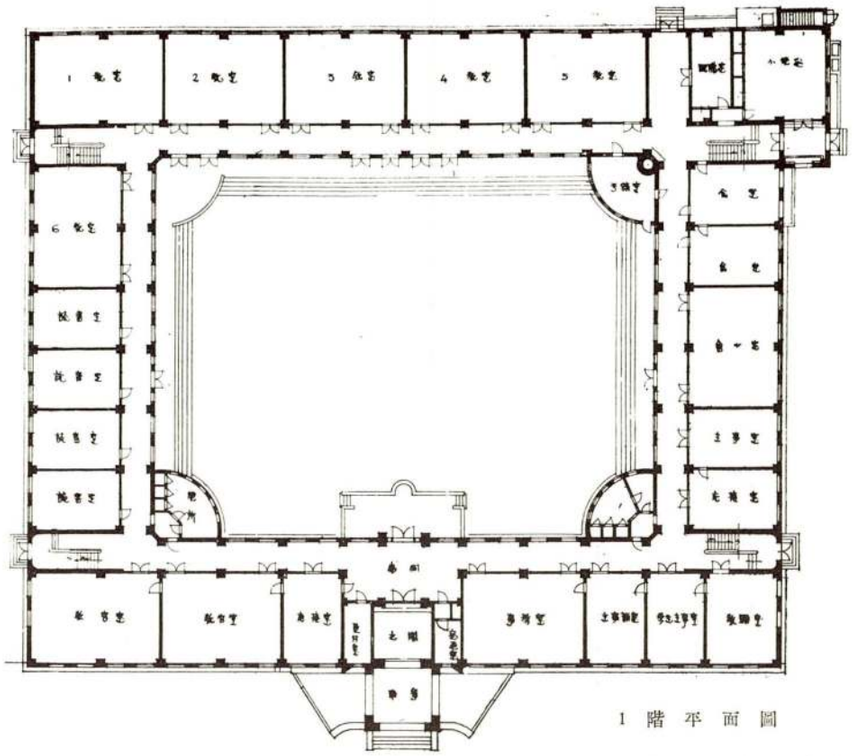


3 階 平 面 圖

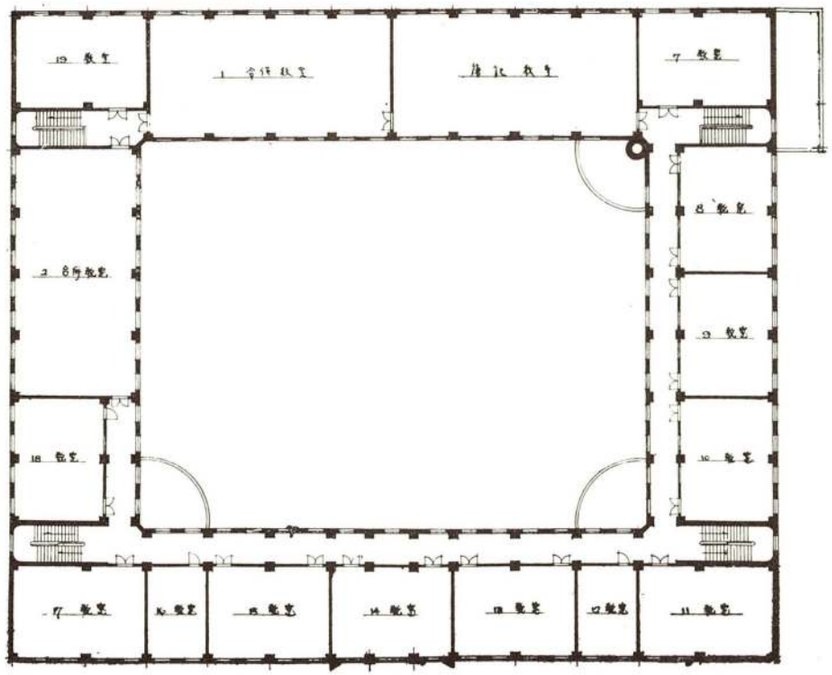
大阪市立商科大學高等商業部各階平面圖



屋階平面圖

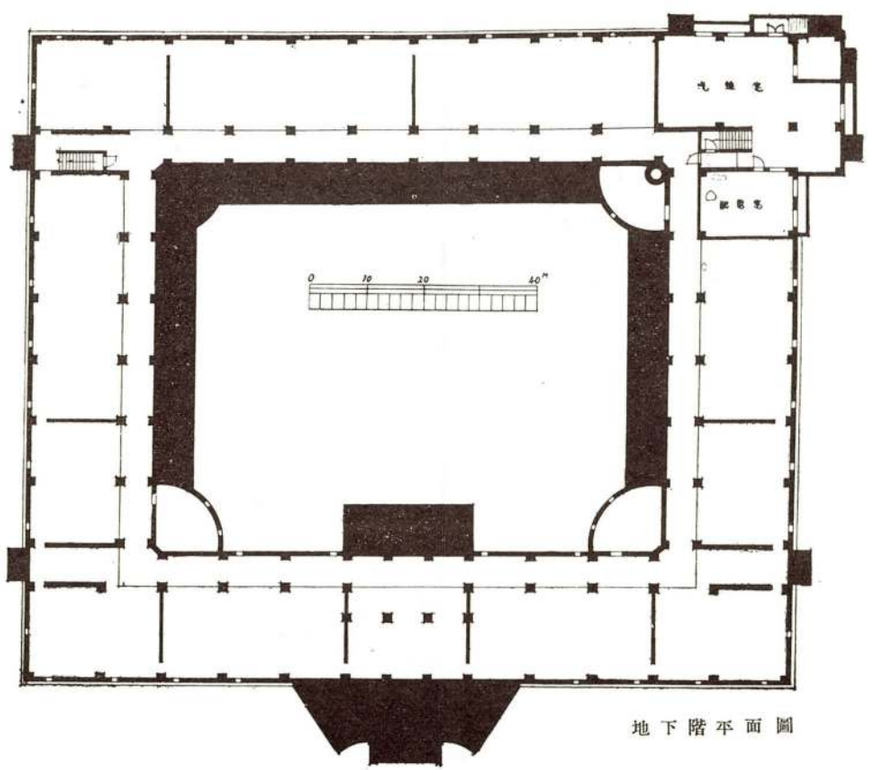


1階平面圖

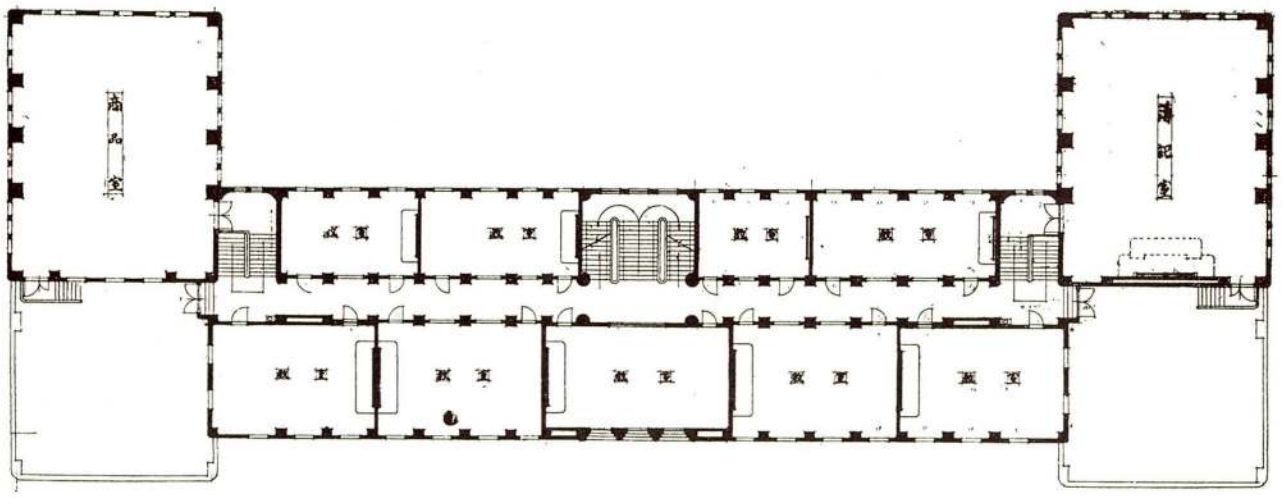


2階平面圖

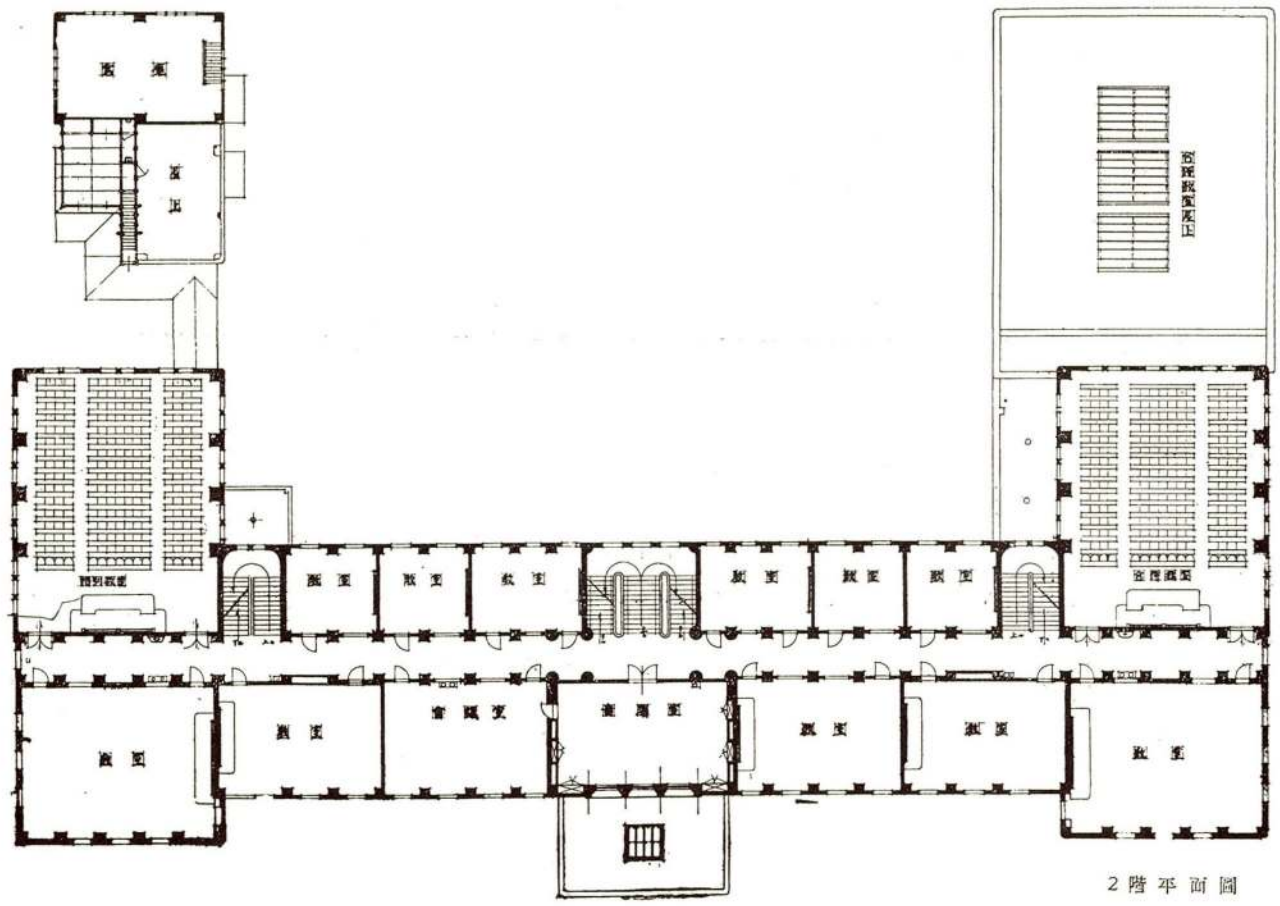
所在地　東京府北多摩郡小平村
構　造　鐵筋混凝土造地階付2階建
建築面積　地階　65.5坪
　　1階　705.8
　　2階　650.7
　　延坪 1,422.0
設　計　文部省建築課
施　工　中央土木株式會社



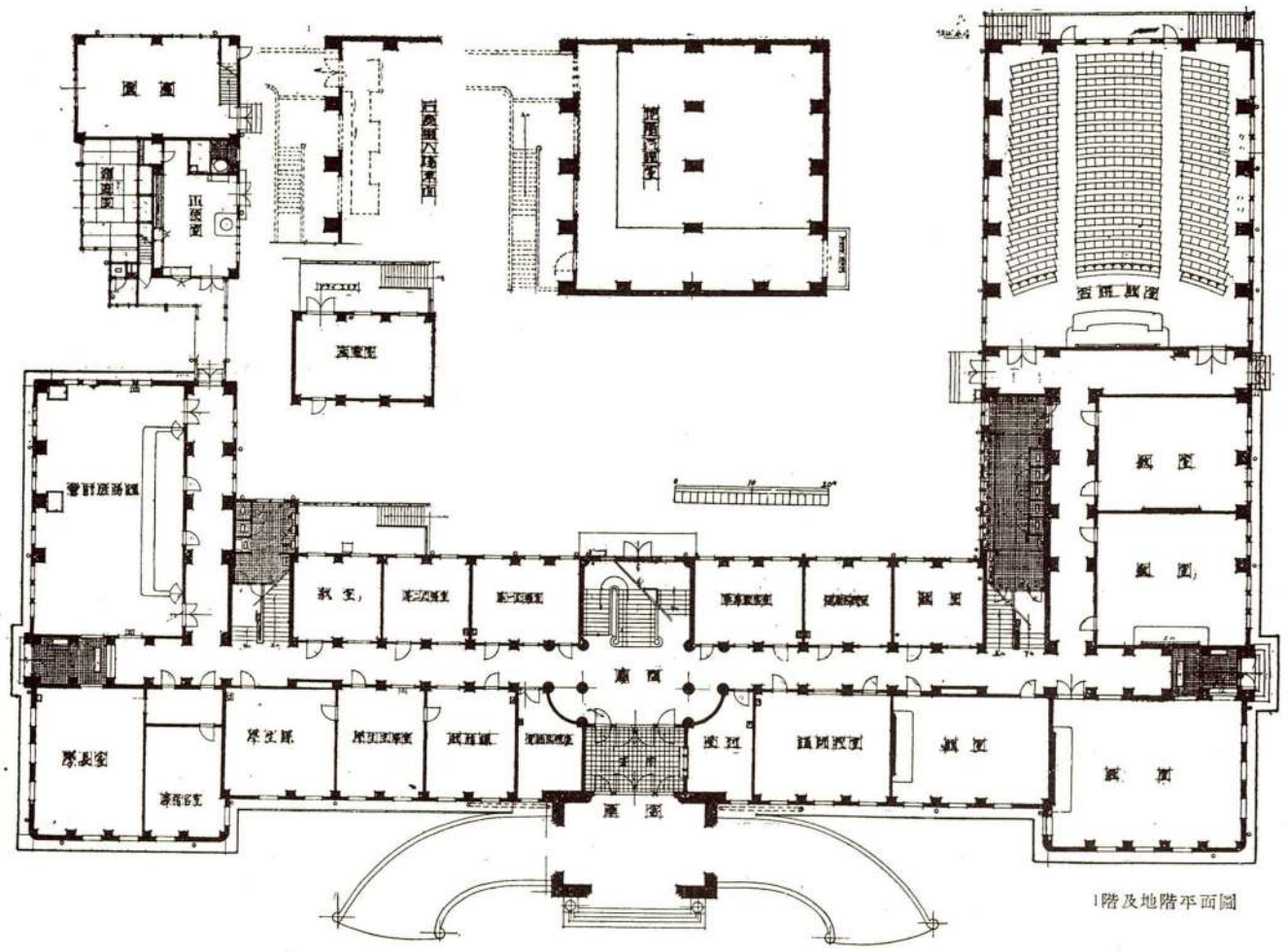
地下階平面圖



3 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



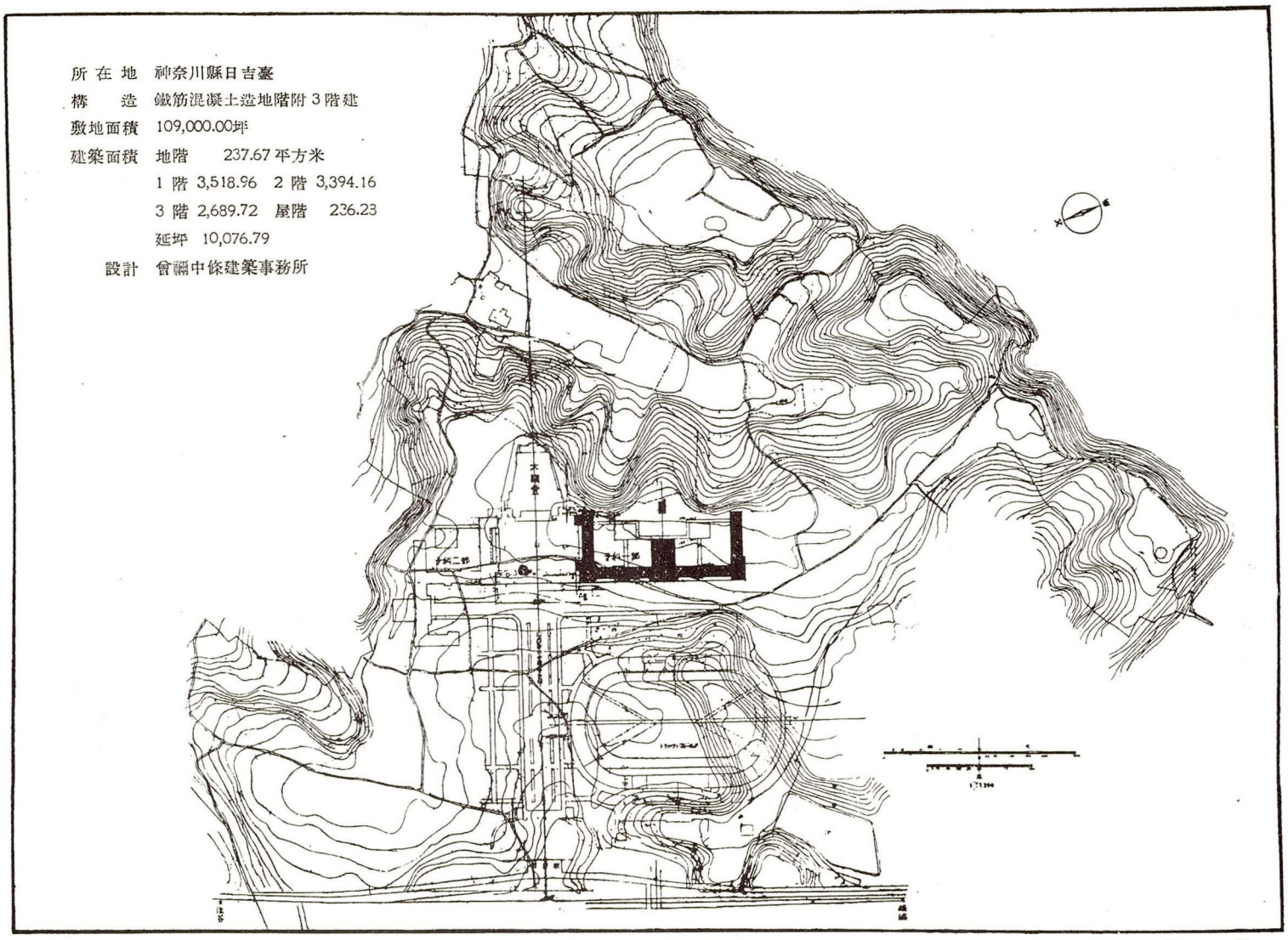
1階及地階平面圖

所在地　神戸市灘區高羽
（六甲赤松城址）
構　造　鐵筋混凝土造地階
付３階建
建築面積
建坪　2,060.244平方米
延坪　5,439.613
內譯
教室及事務室　5,177.295平方米
倉　庫　130.000
小使室　44.000
宿直室　69.422
渡廊下　18.896
設　計　文部省建築課
施　工　大　林　組

神 戸 商 業 大 學 本 館 各 階 平 面 圖

× 30

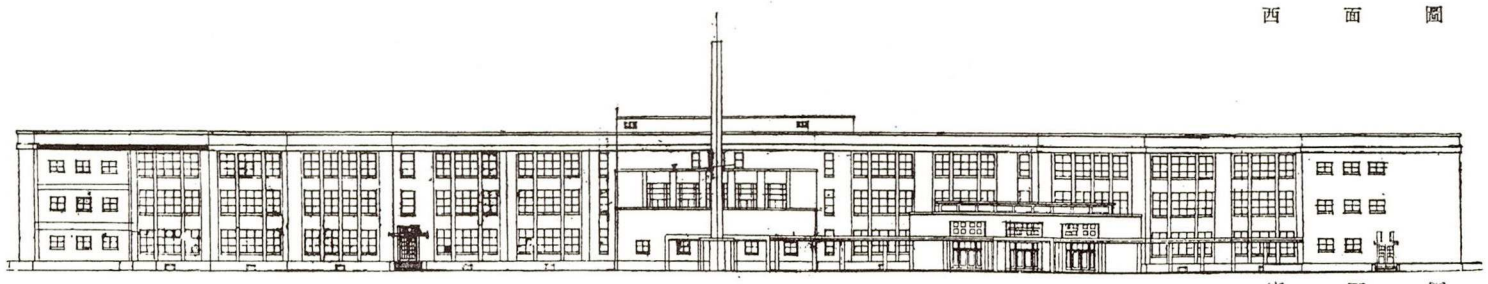
所在地　神奈川縣日吉臺
構　造　鐵筋混凝土造地階附3階建
敷地面積　109,000.00坪
建築面積　地階　237.67平方米
1階 3,518.96　2階 3,394.16
3階 2,689.72　屋階 236.23
延坪 10,076.79
設計　曾禰中條建築事務所



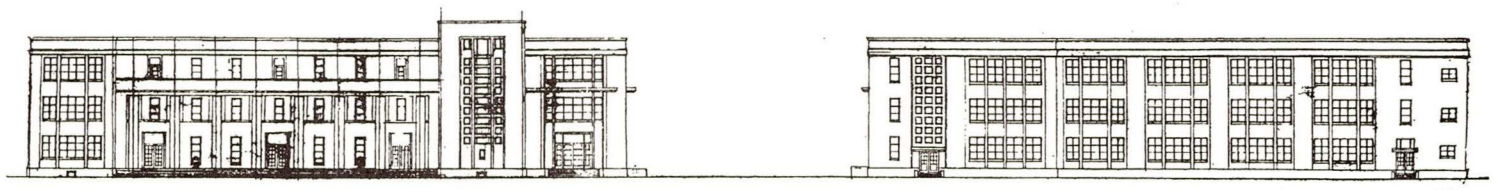
配置圖



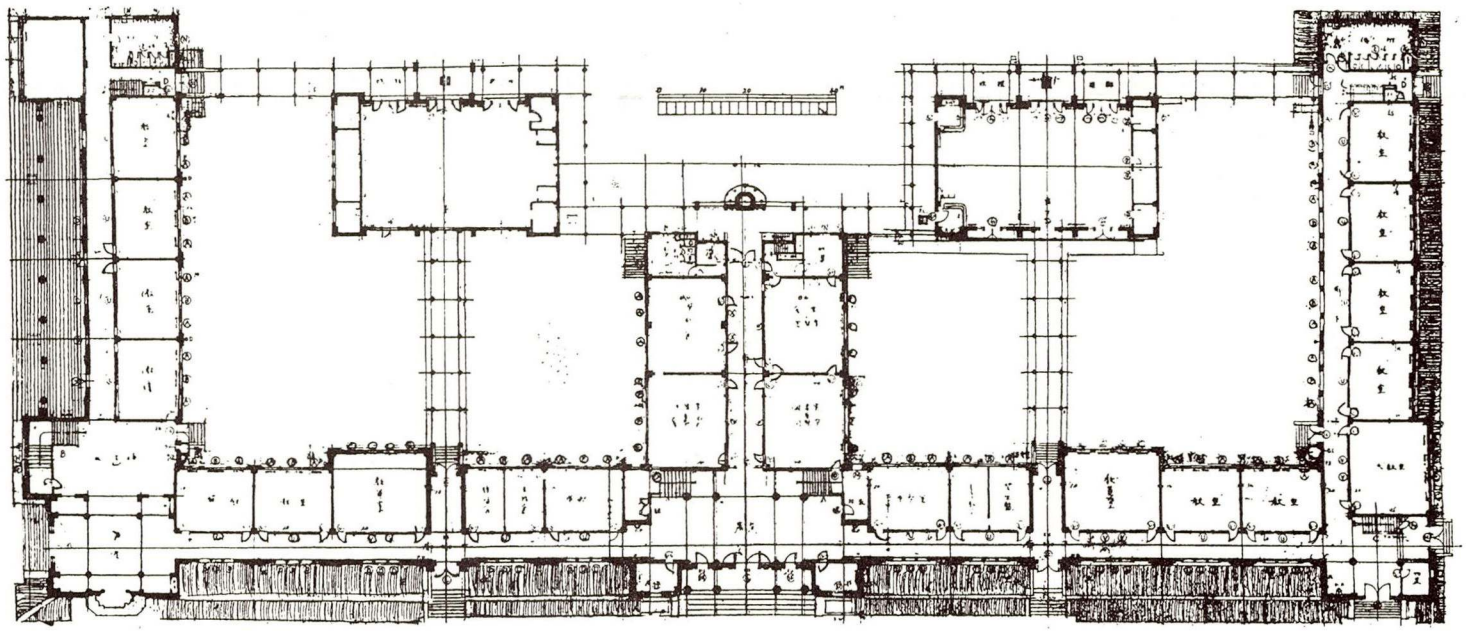
西面圖



東面圖



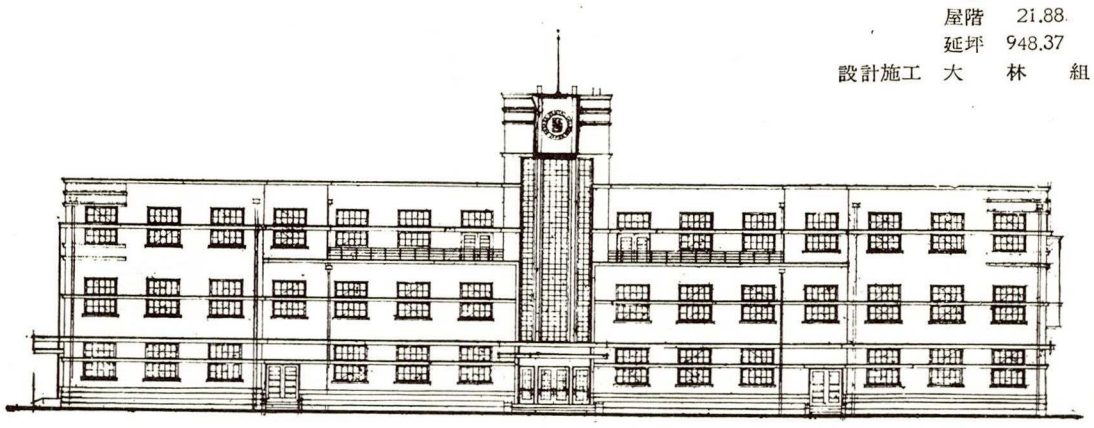
南面圖



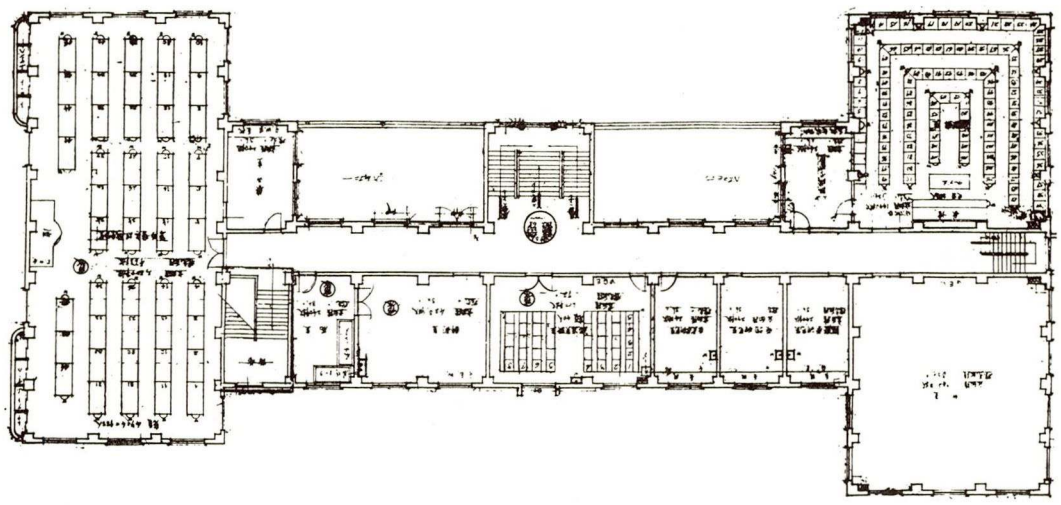
慶應義塾大學豫科配置圖立面及1階平面圖

1階平面圖

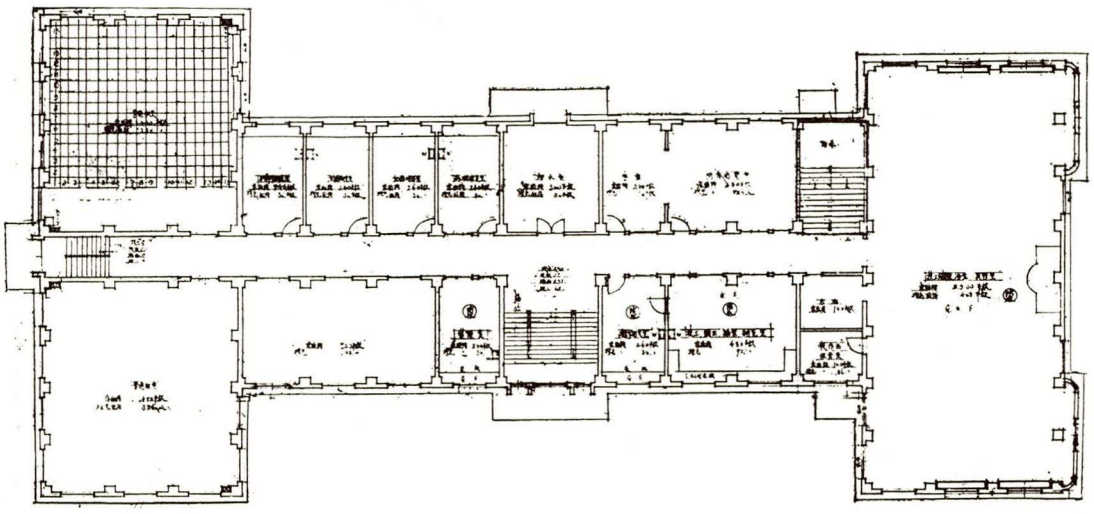
所在地　大阪市天王寺區
　　烏ヶ辻町
構　造　鐵筋混凝土造屋
　　階附3階建
建面築積　1階　318.00坪
　　2階　322.62
　　3階　235.87
　　屋階　21.88
　　延坪　948.37
設計施工　大　林　組



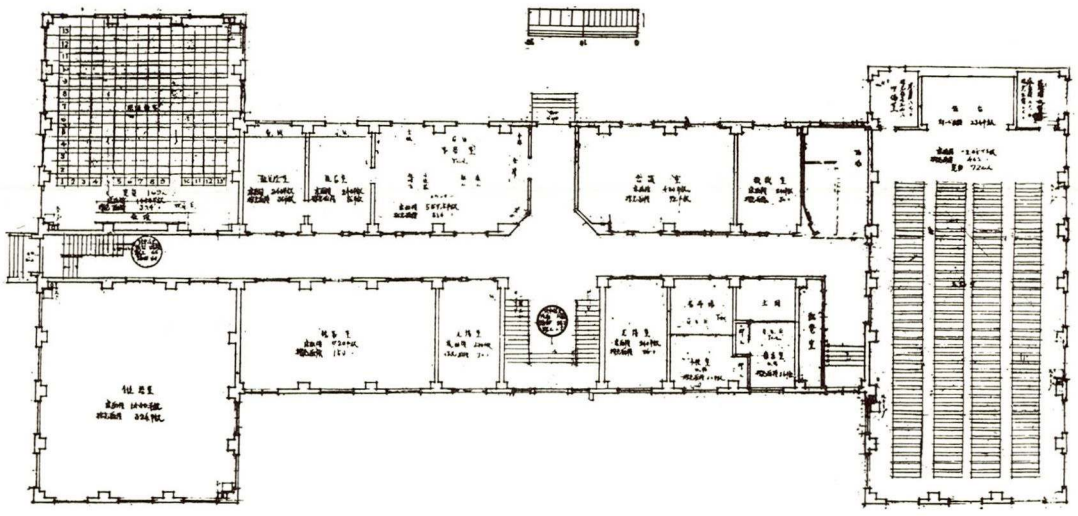
正面委圖



3階平面圖



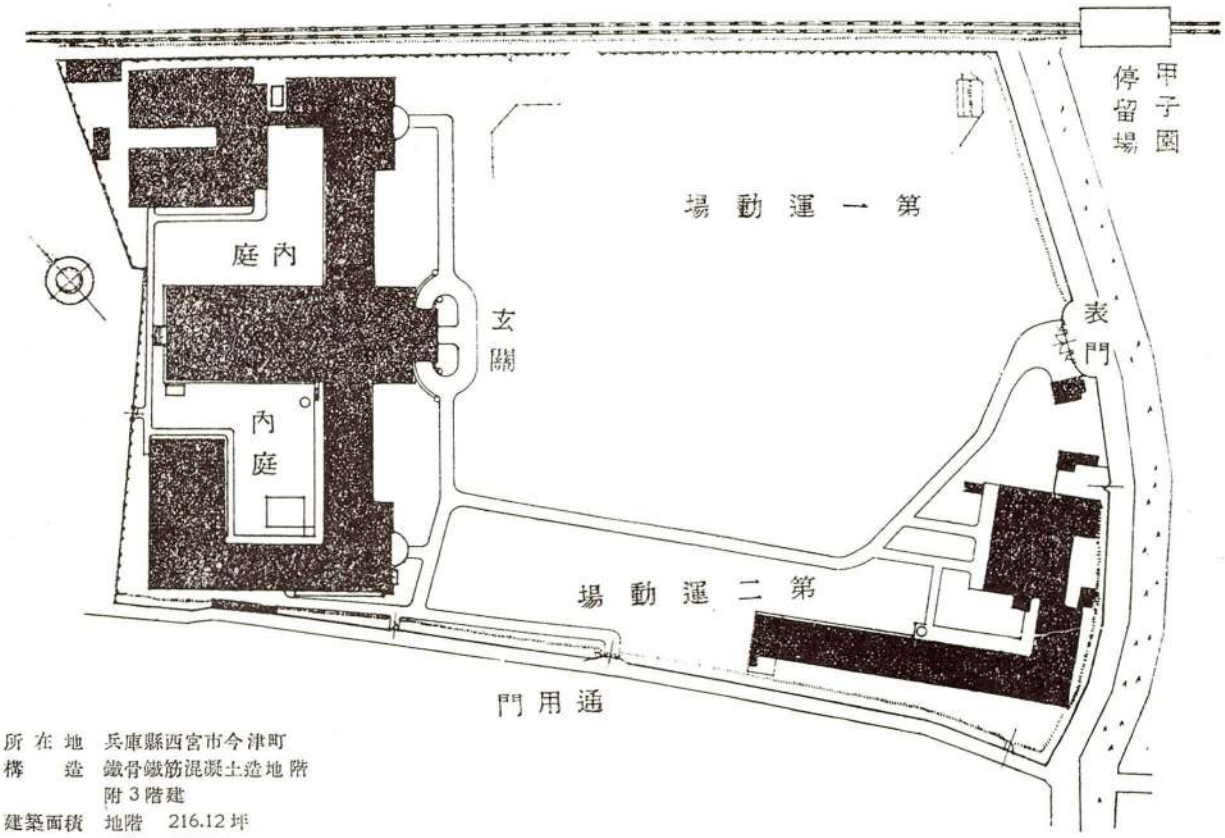
2階平面圖



1階平面圖

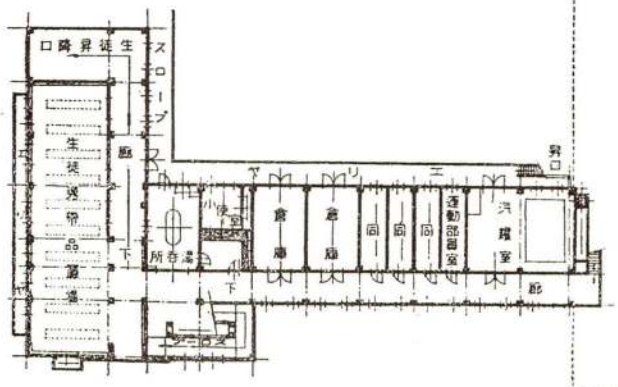
大阪齒科醫學專門學校正面及各階平面圖

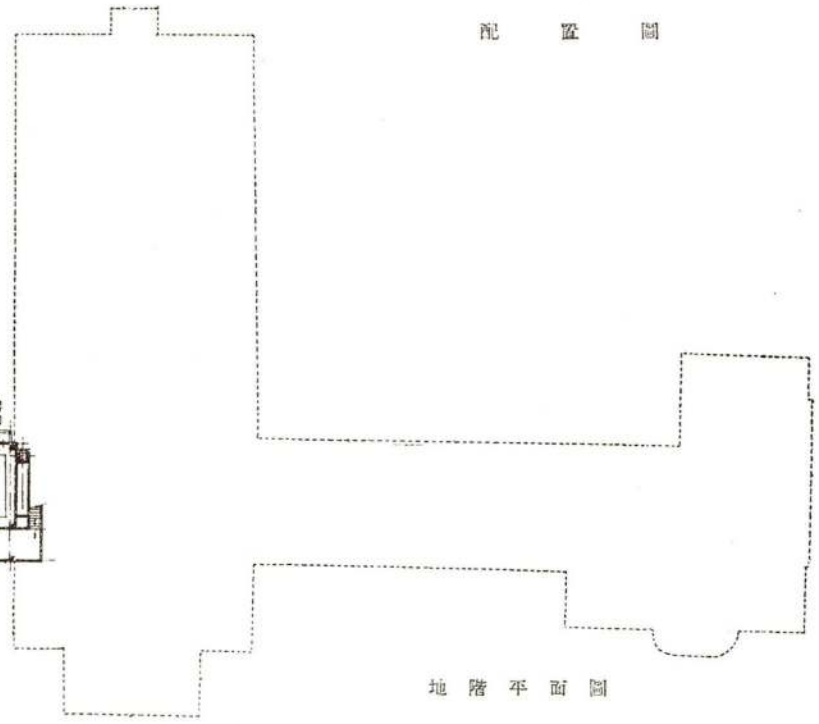
x 32



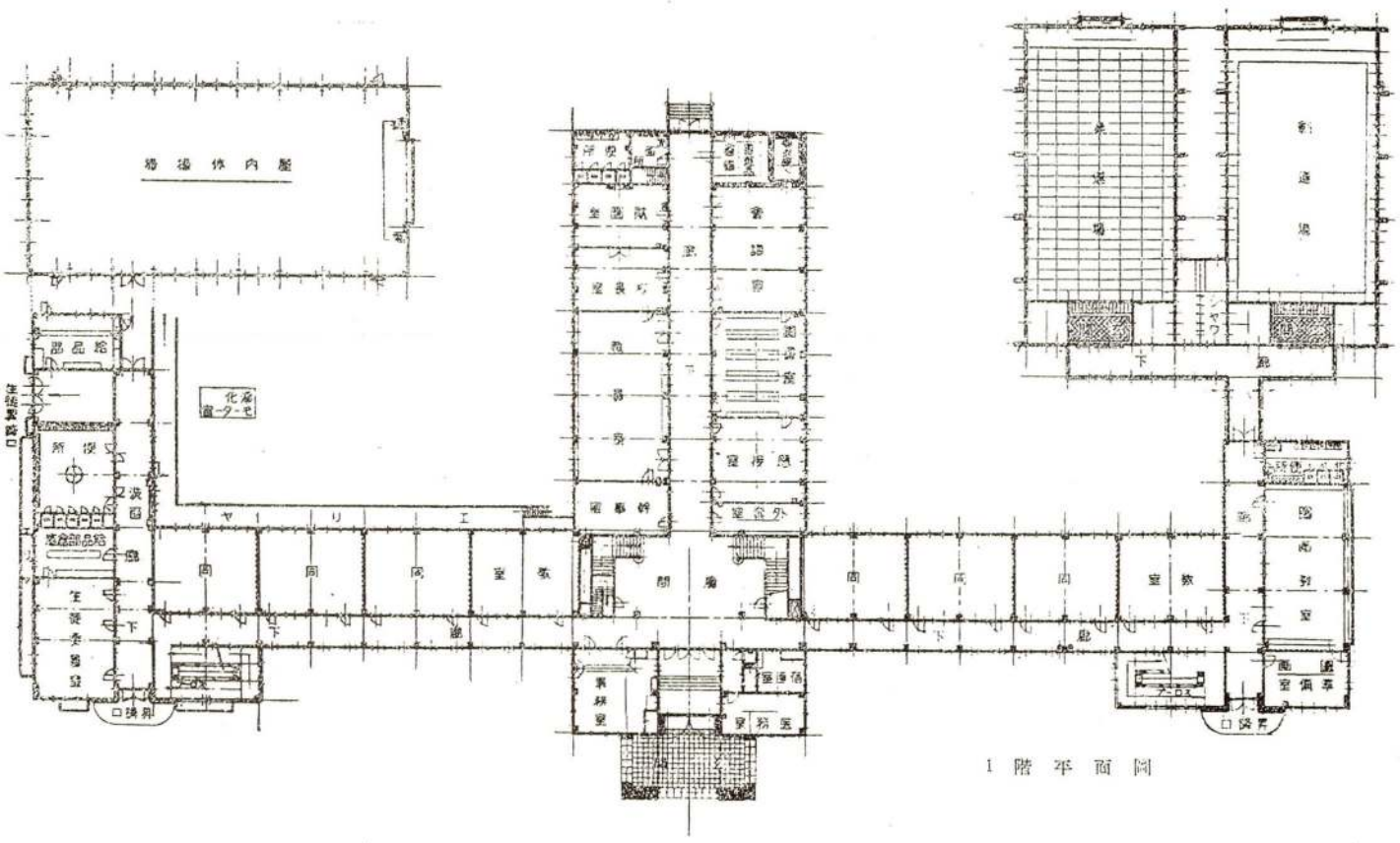
配置圖

所在地　兵庫縣西宮市今津町
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造地階
　　附3階建
建築面積　地階　216.12坪
　　1階　759.84
　　2階　659.93
　　3階　652.73
　　塔屋　33.33
　　延坪　2,321.95
設計施工　竹中工務店



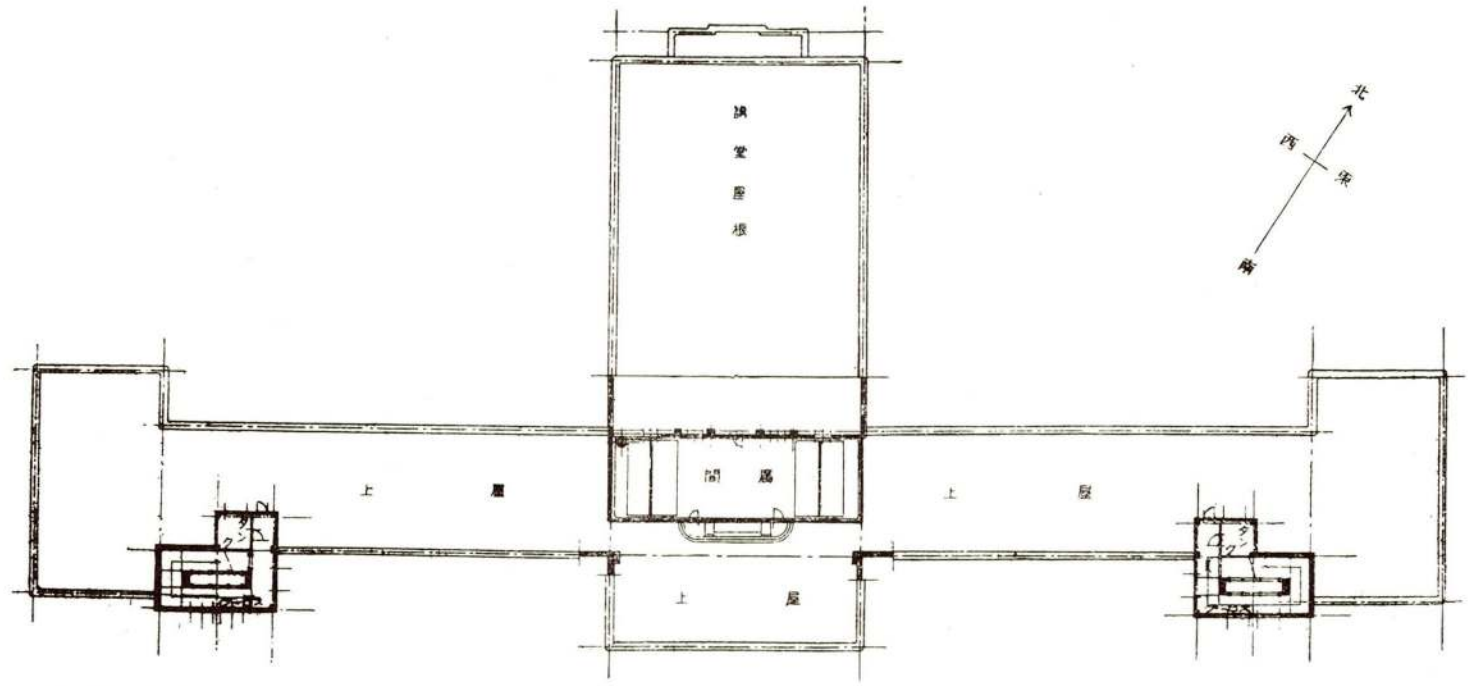


地階平面圖

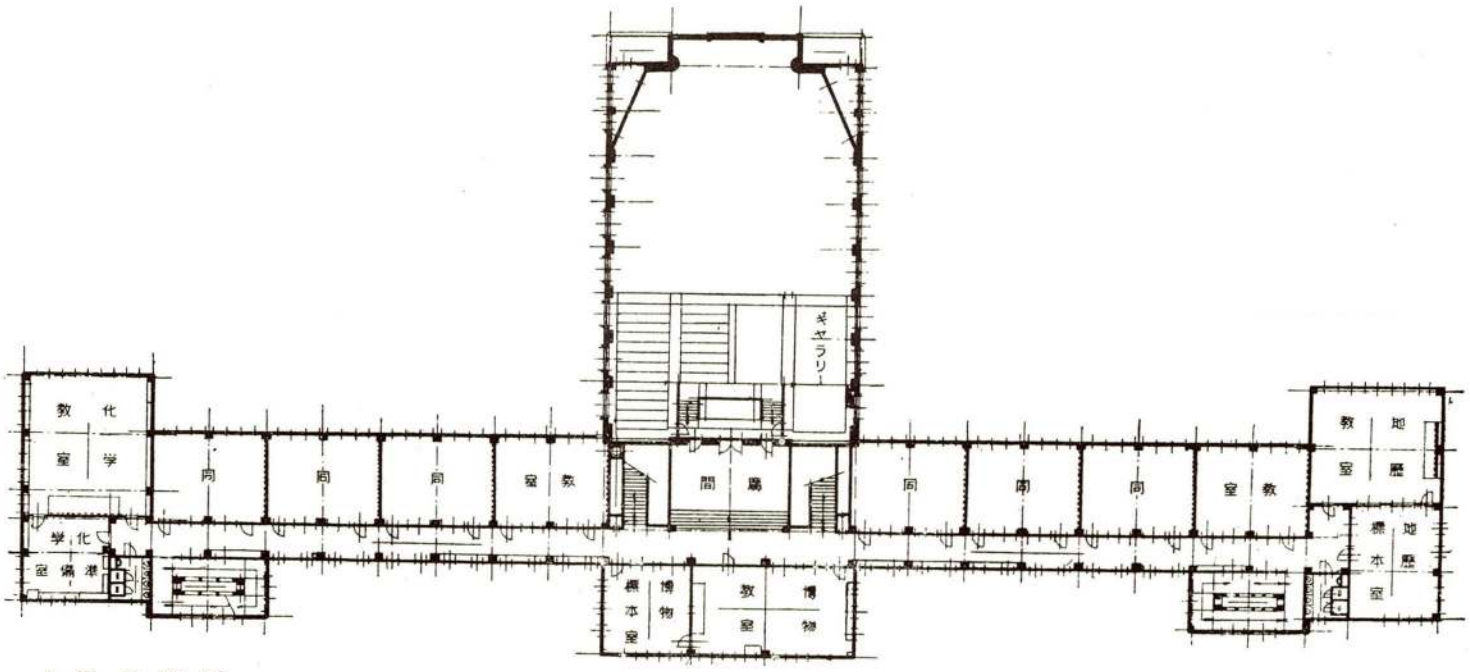


1階平面圖

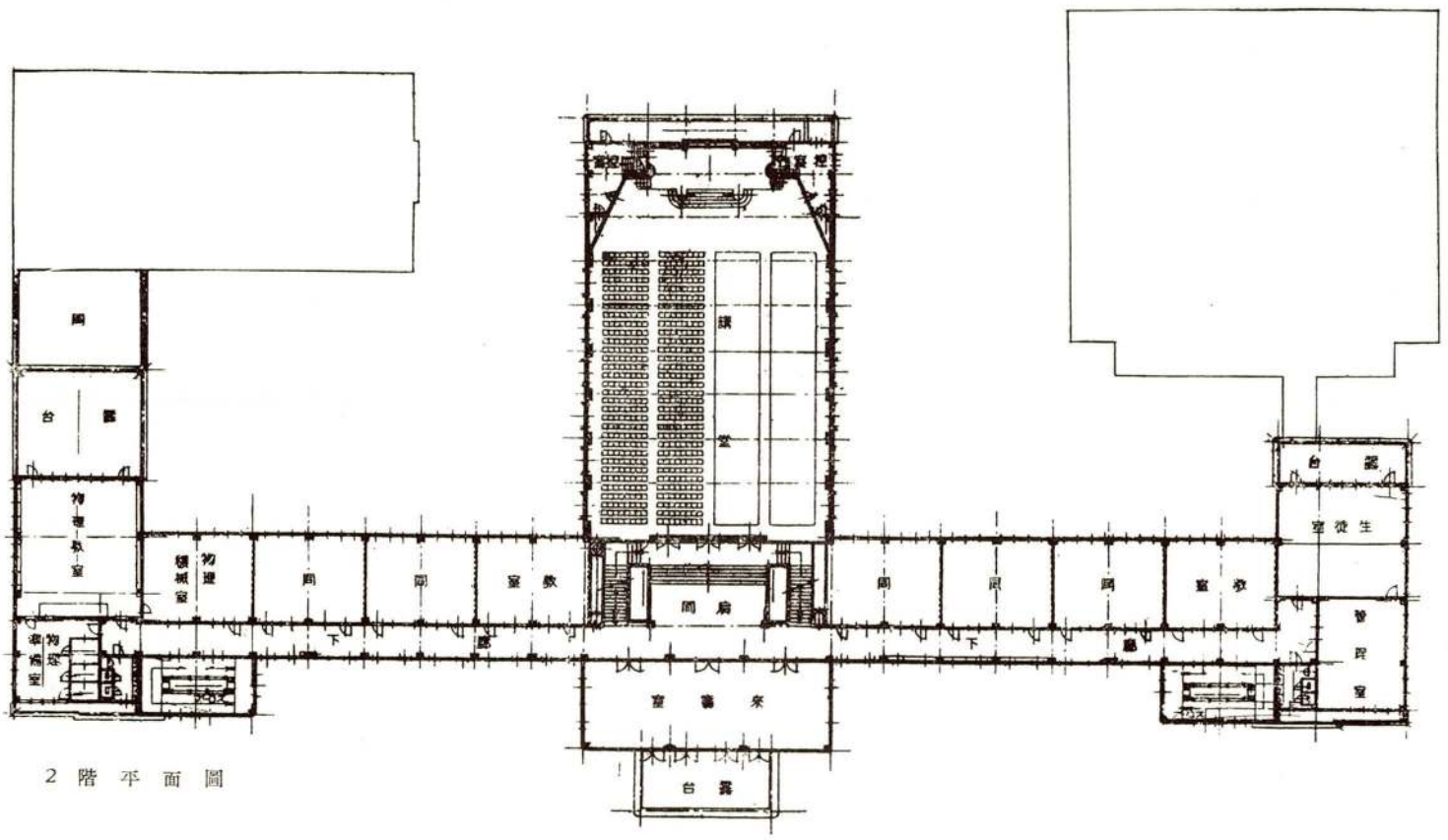
兵庫縣・甲陽中學校配置圖地階及1階平面圖



屋階平面圖



3階平面圖

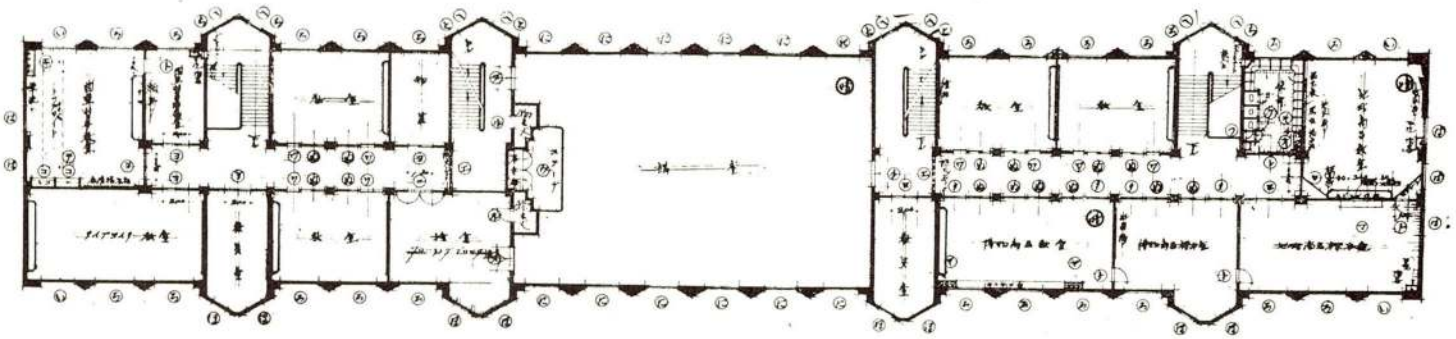


2階平面圖

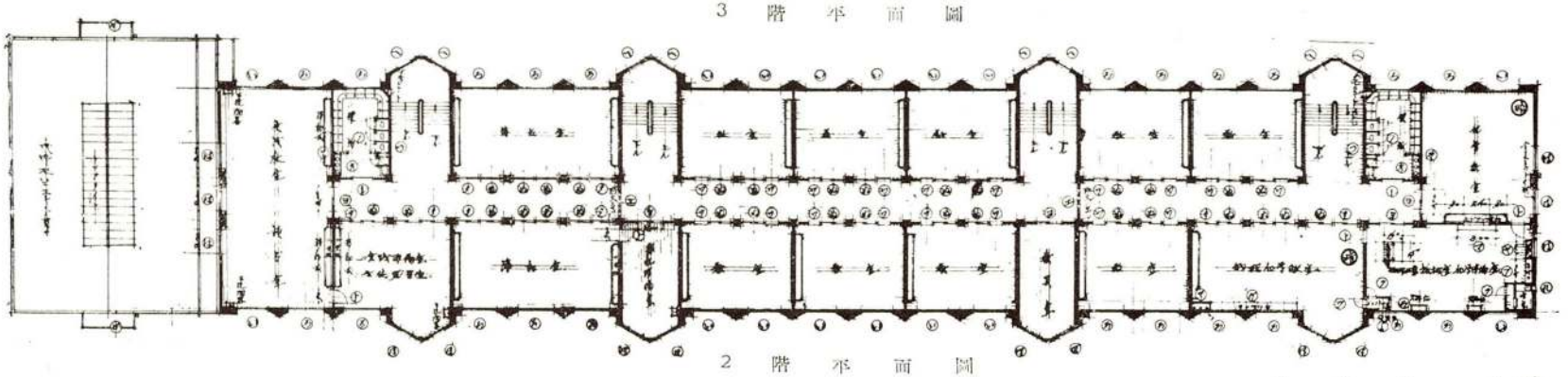
兵庫縣・甲陽中學校各階平面圖

× 34

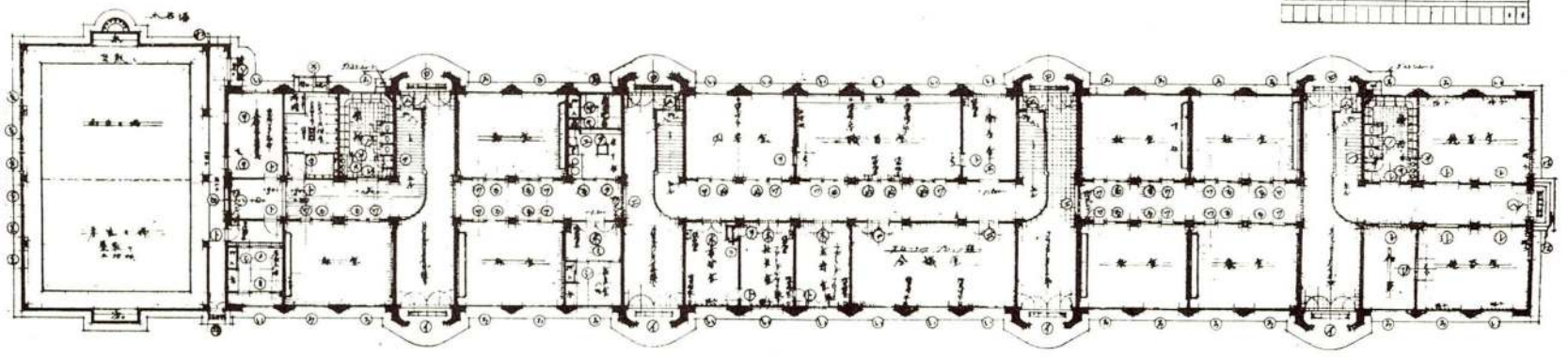
所在地　神戸市灘區德井
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造
　　3 階建
建築面積
　1 階　2269.202 平方米
　2 階　1968.475
　3 階　1968.475
　塔屋　214.985
設　計　神戸市營繕課
施　工　金田工務店



3　階　平　面　圖

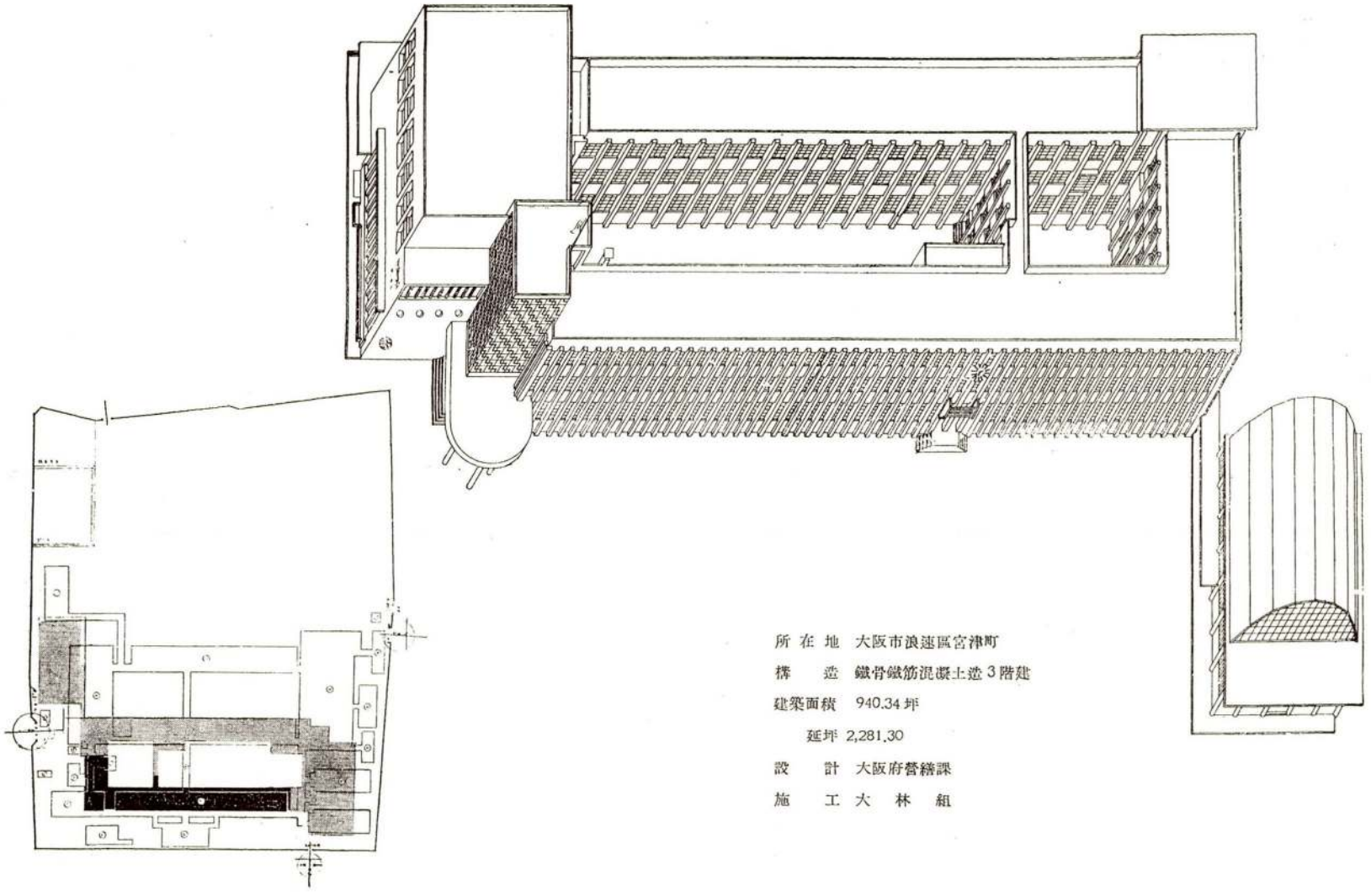


2　階　平　面　圖



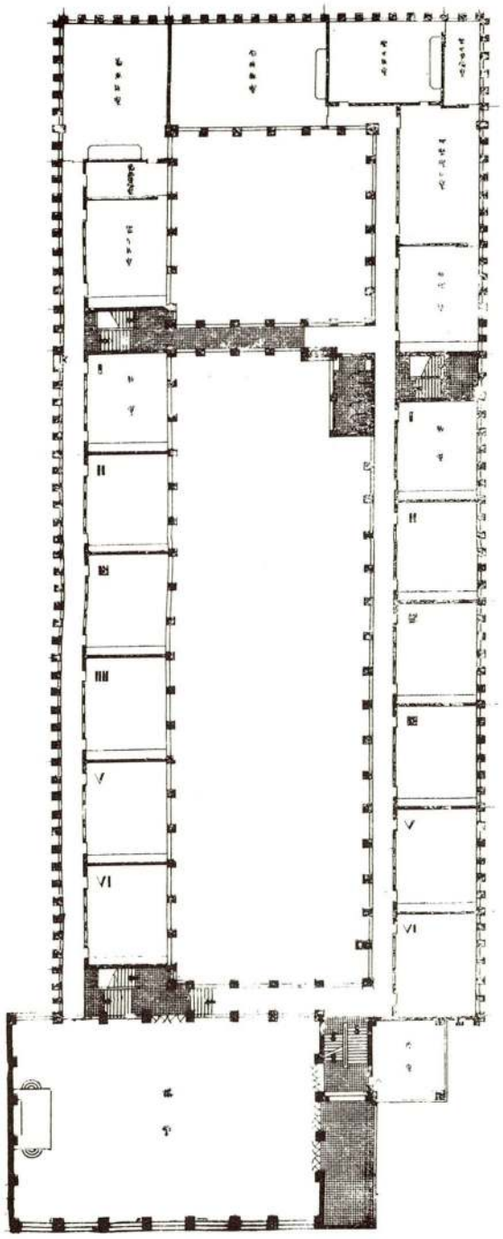
1　階　平　面　圖

神戸市立第三神港商業學校各階平面圖

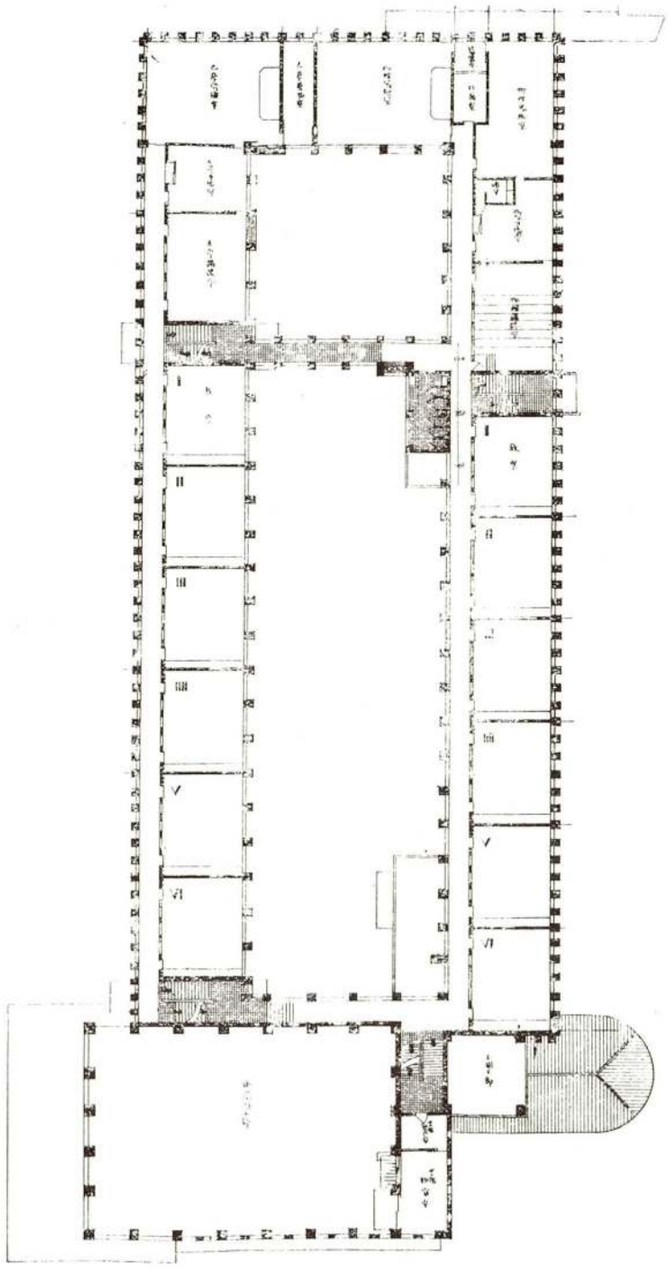


所在地　大阪市浪速區宮津町
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造3階建
建築面積　940.34坪
　　延坪 2,281.30
設　計　大阪府營繕課
施　工　大　林　組

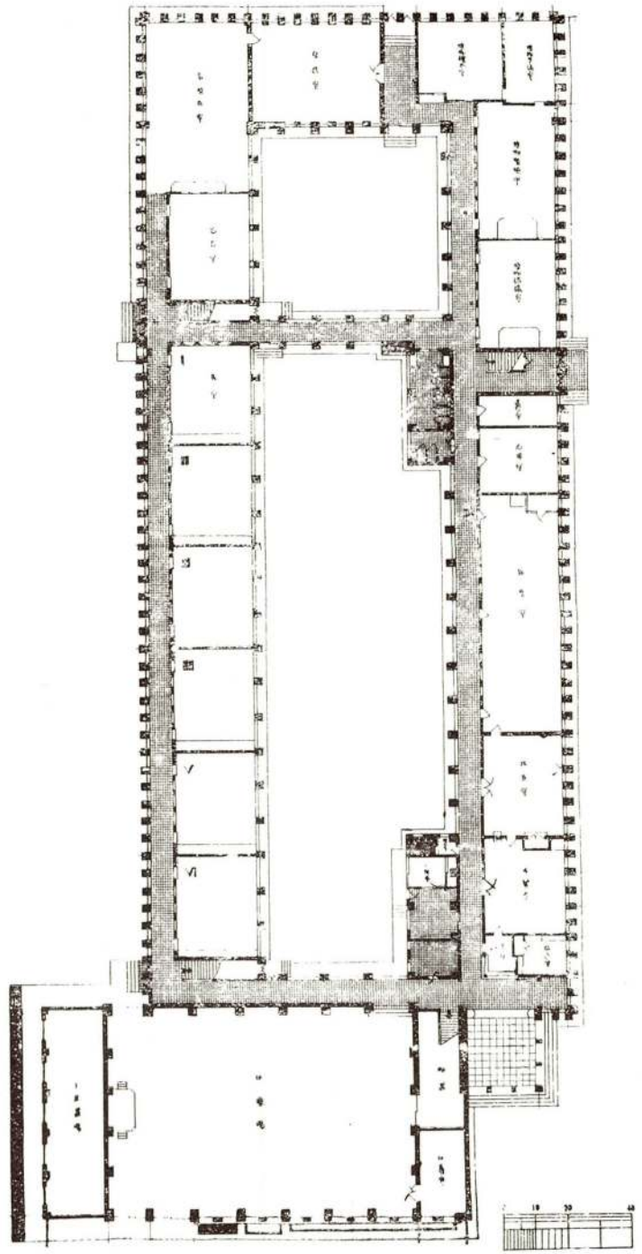
大阪府立今宮中學校正面及建物配置圖



3 階 平 面 圖

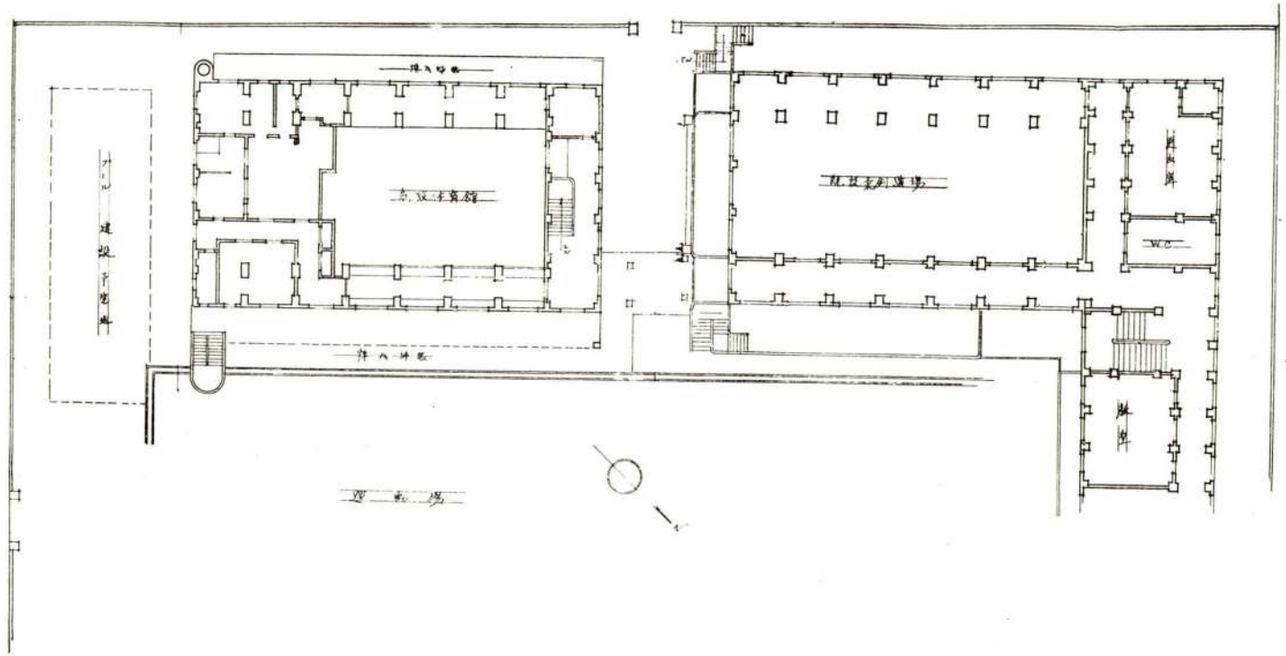


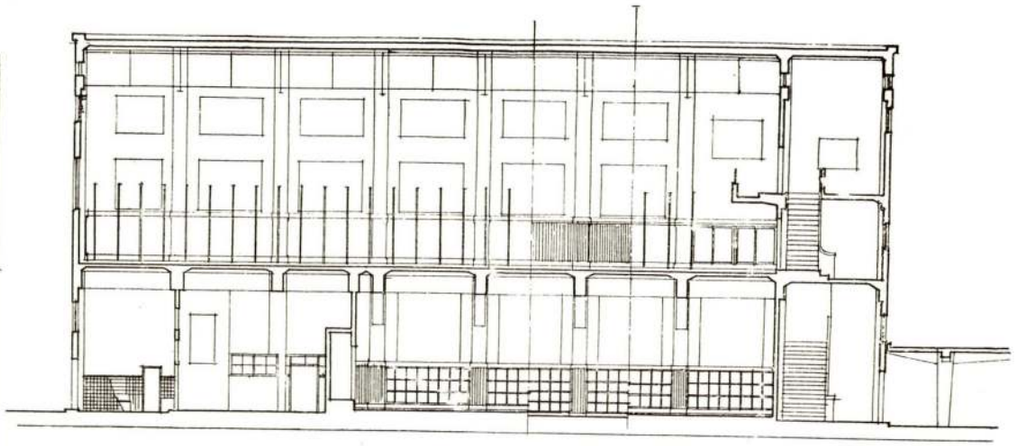
2 階 平 面 圖



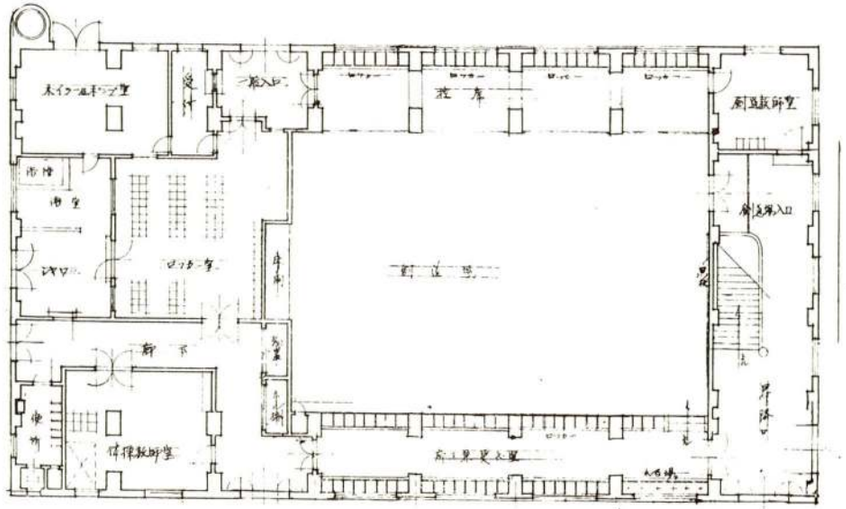
1 階 平 面 圖

大 阪 府 立 今 宮 中 學 校 各 階 平 面 圖

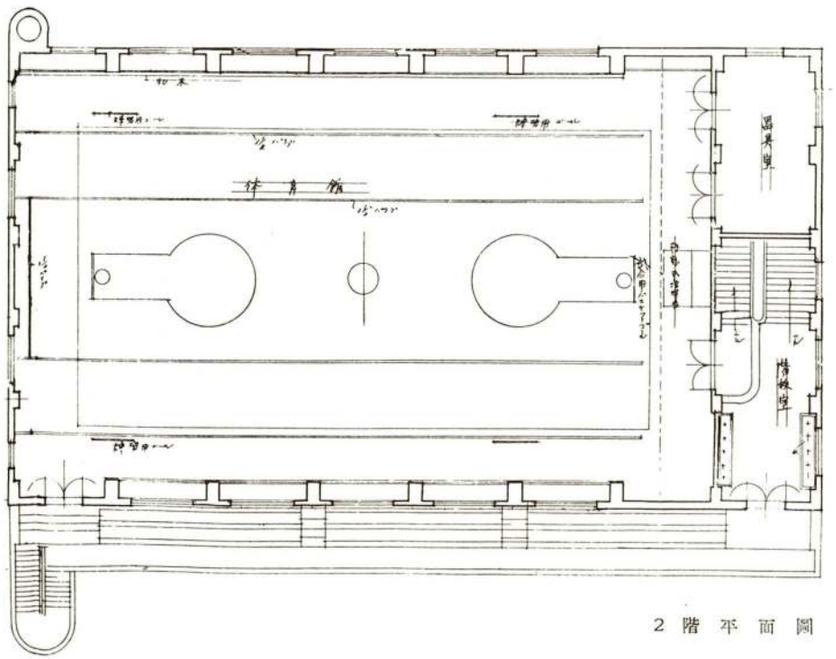




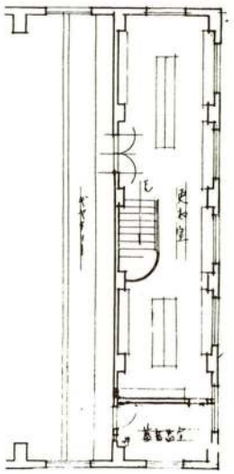
斷面圖



1 階平面圖



2 階平面圖



中2階平面圖

所在地　東京市麹町區九段

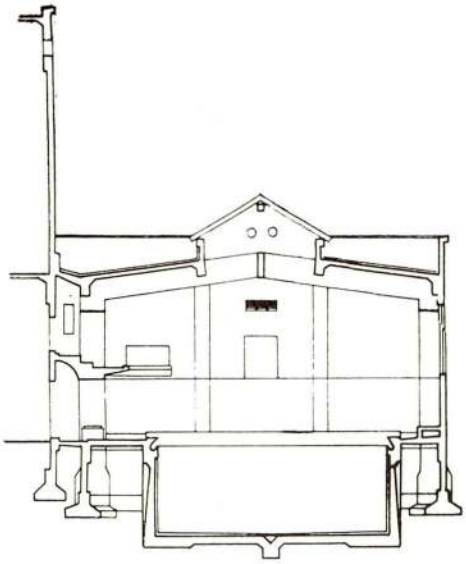
體育館

構　造　鐵骨鐵筋混凝土造2階建
建築面積　576.00平方米
　　延坪1,227.15
設　計　東京市建築課
施　工　松村組

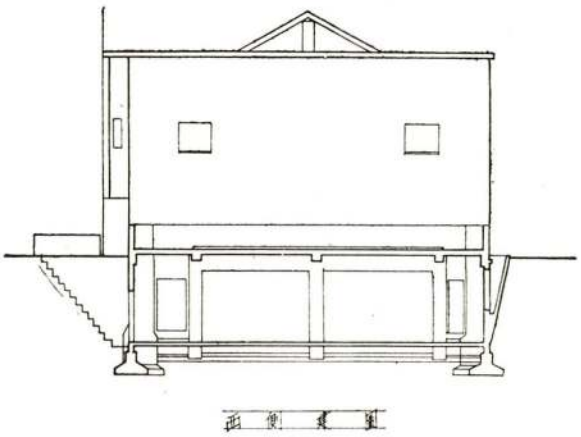
屋內プール

構　造　プール　鐵筋混凝土造
　　上家　鐵骨鐵筋混凝土造
面　積　プール　200.0平方米
　　上家　401.6平方米

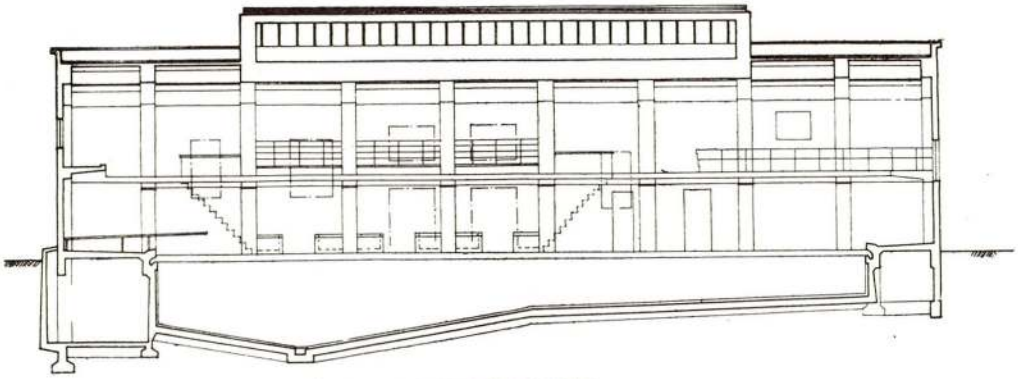
第一東京市立中學校體育館斷面及各階平面圖



Ⓒ~Ⓓ 断面圖

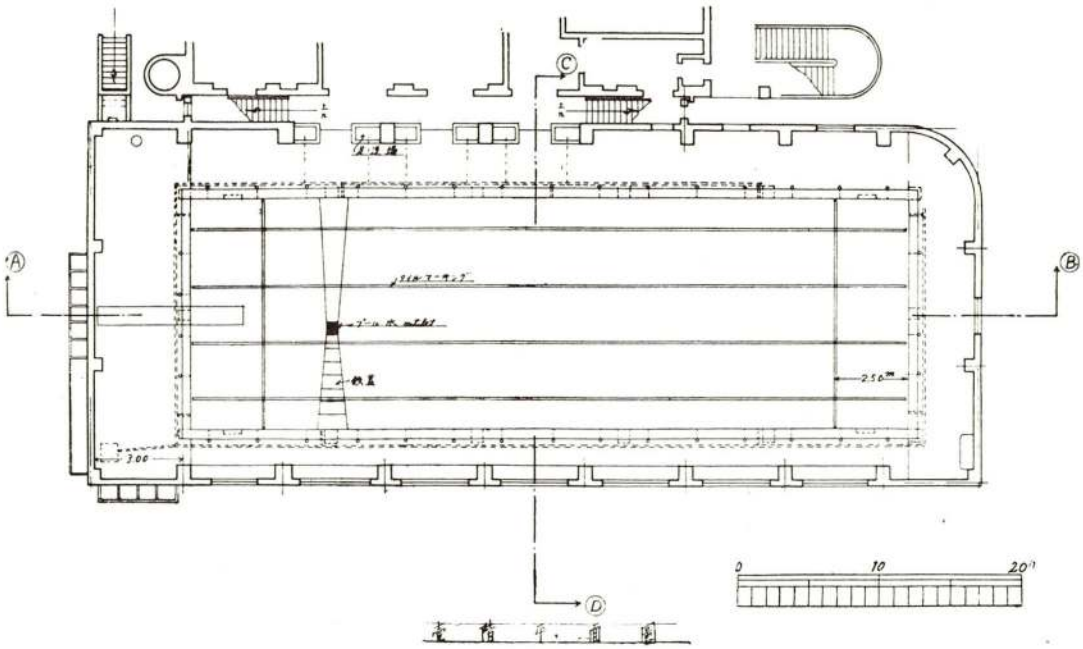


西側立面圖



Ⓐ~Ⓑ 断面圖

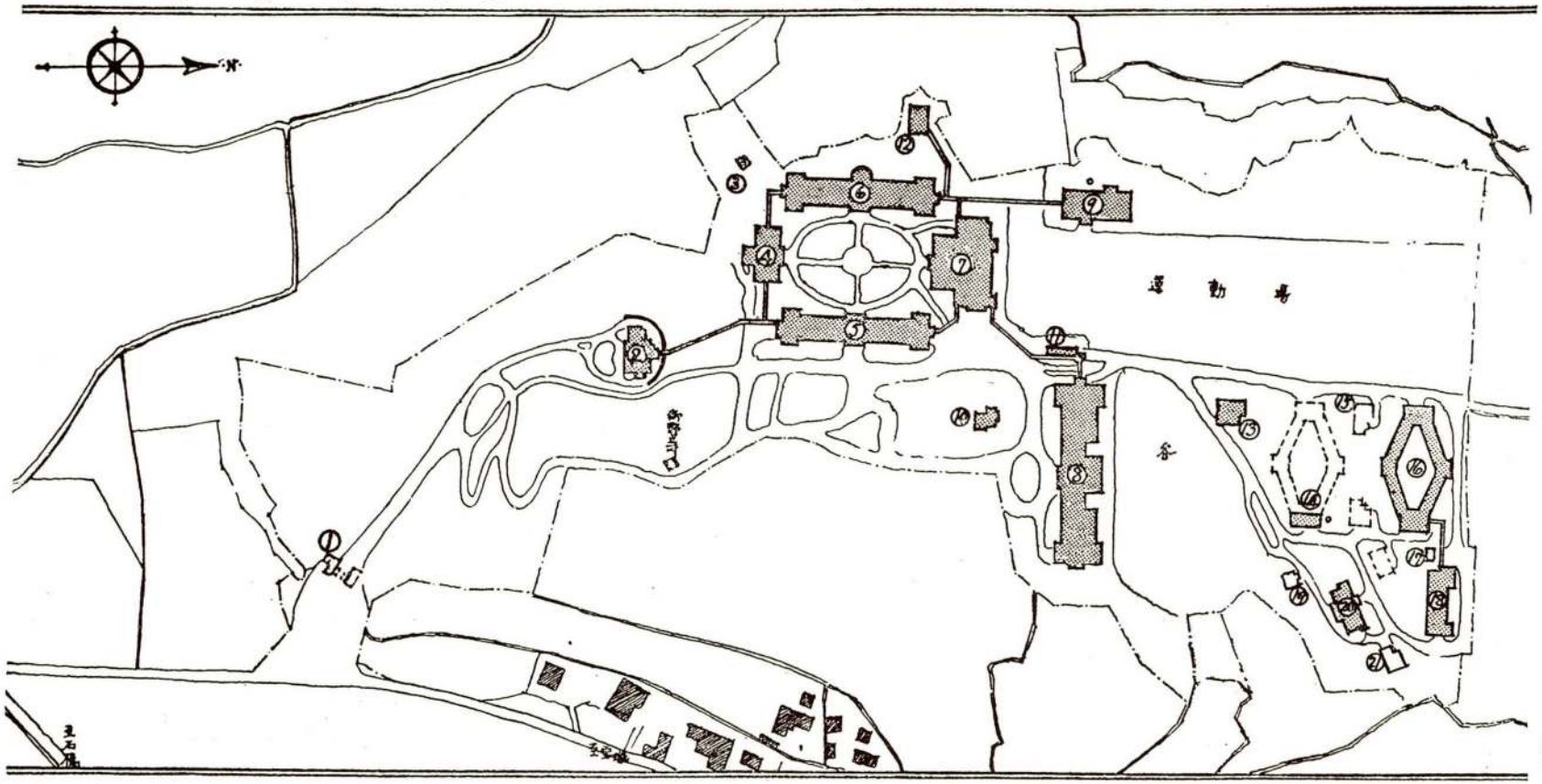
鉄筋体育館



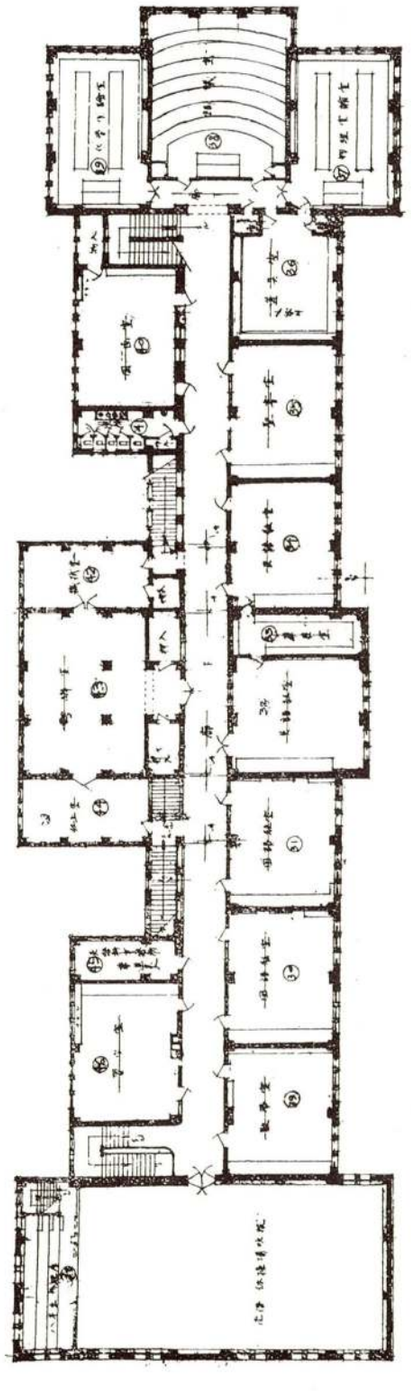
臺階平面圖

第一東京市立中學校屋内プール立面・斷面及平面圖

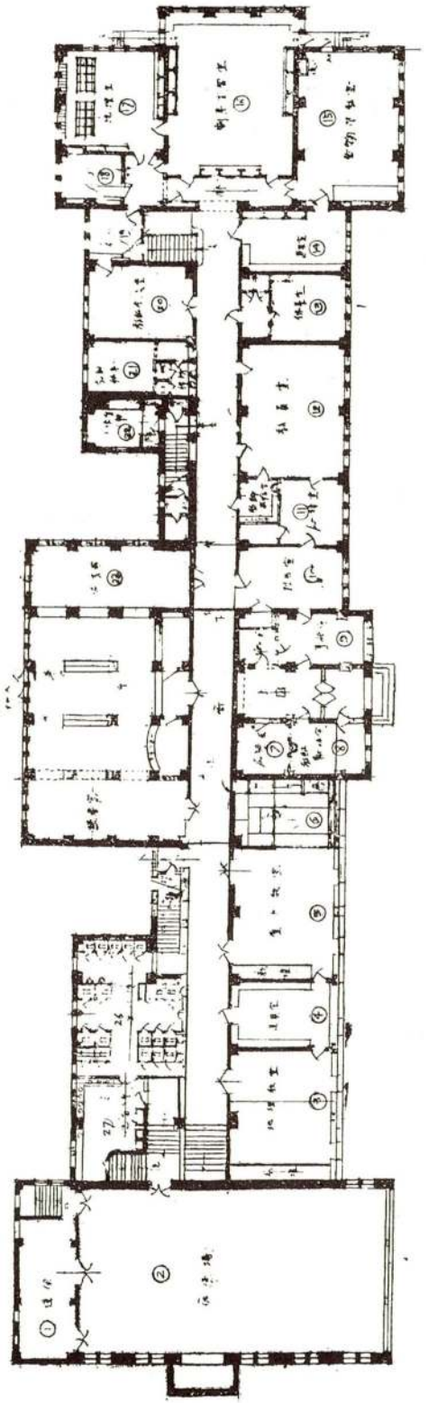
1.	門衛	木造	延坪 32坪	12.	學生會館	鐵筋混凝土造	延坪 258坪
2.	音樂館	鐵筋混凝土造	〃 307〃	13.	同窓會館	木造	〃 99〃
3.	ポンプ室	木造	〃 3〃	14.	ボイラー室	鐵筋混凝土造及木造	〃 66〃
4.	圖書館	鐵筋混凝土造	〃 331〃	15.	倚廬館	木造	〃 67〃
5.	文學館	同上	〃 731〃	16.	北の寮（專門部寄宿舍）	同上	〃 563〃
6.	理學館	同上	〃 756〃	17.	中舍（炊事人住宅）	同上	〃 28〃
7.	總務館、講堂	鐵骨鐵筋混凝土造	〃 547〃	18.	東の寮（高女部寄宿舍）	同上	〃 219〃
8.	藻光館（高等女學部）	鐵筋混凝土造	〃 1,206〃	19.	グリンウツドハウス（外人教師館）	同上	〃 35〃
9.	體育館	鐵骨鐵筋混凝土造	〃 254〃	20.	ケンウツドハウス（同上）	同上	〃 199〃
10.	茶室	木造	〃 28〃	21.	エッチウツドハウス（同上）	同上	〃 55〃
11.	購買部	同上	〃 16〃		渡廊下	同上	〃 200〃



神戸女學院配置圖

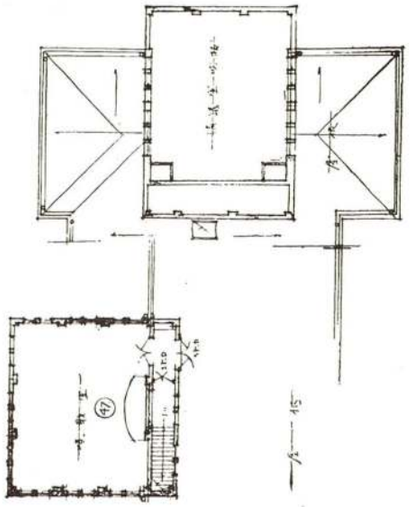


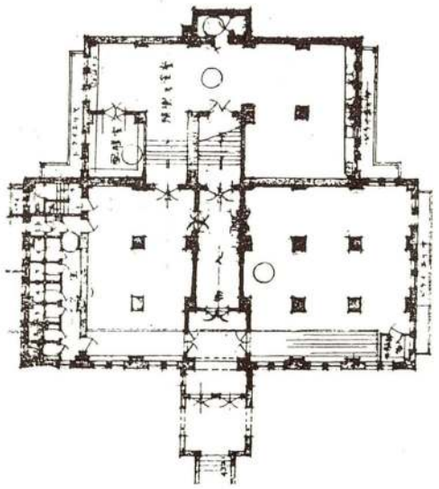
高女部2階平面圖

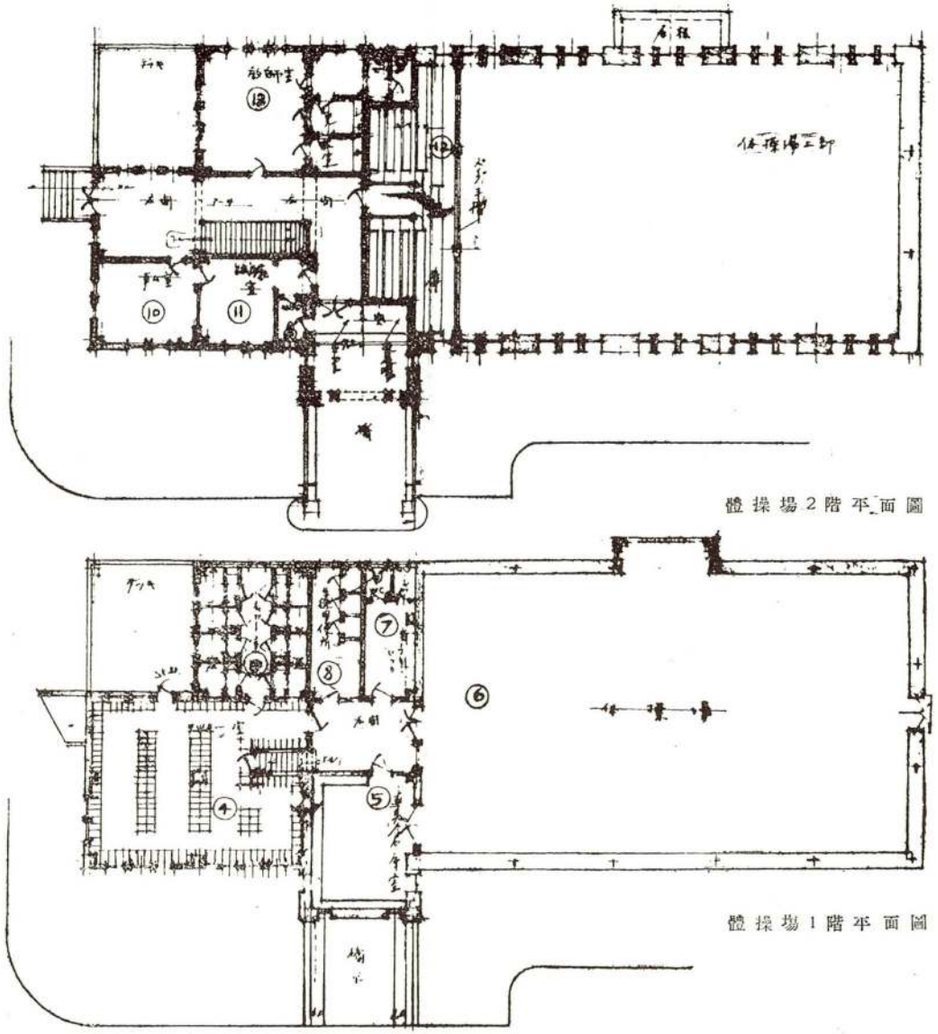


高女部1階平面圖



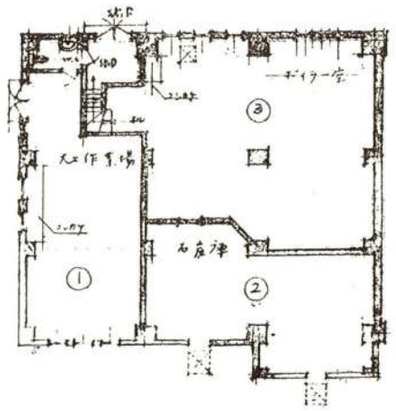


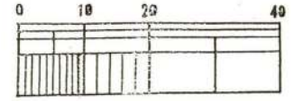




體操場2階平面圖

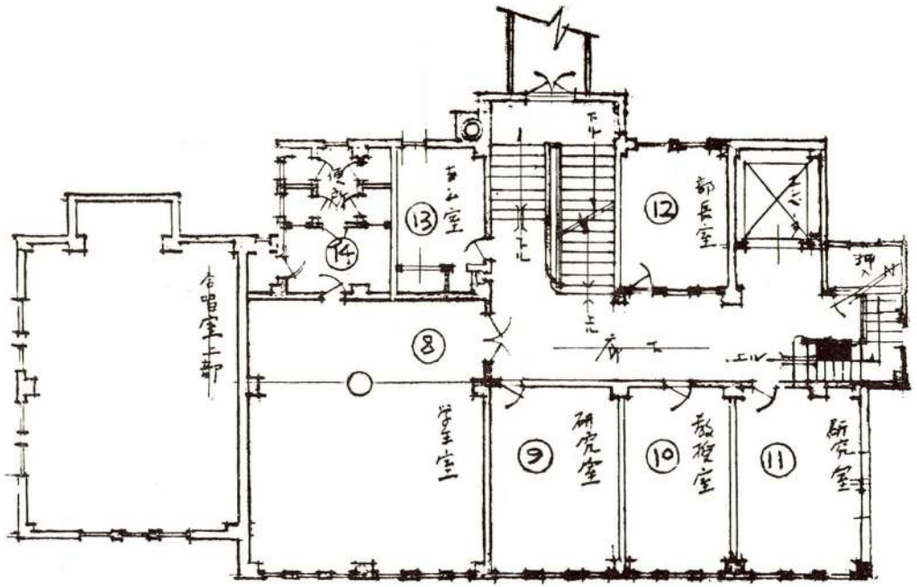
體操場1階平面圖



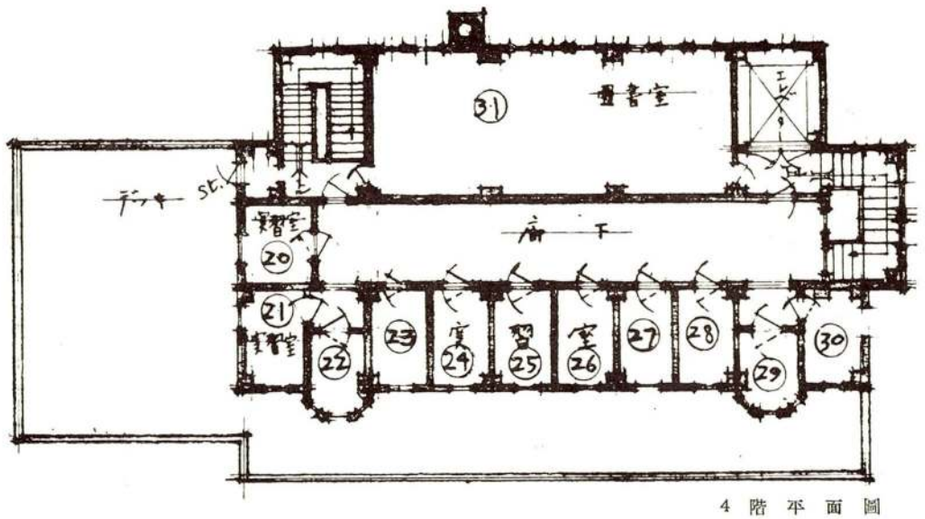


體操場地階平面圖

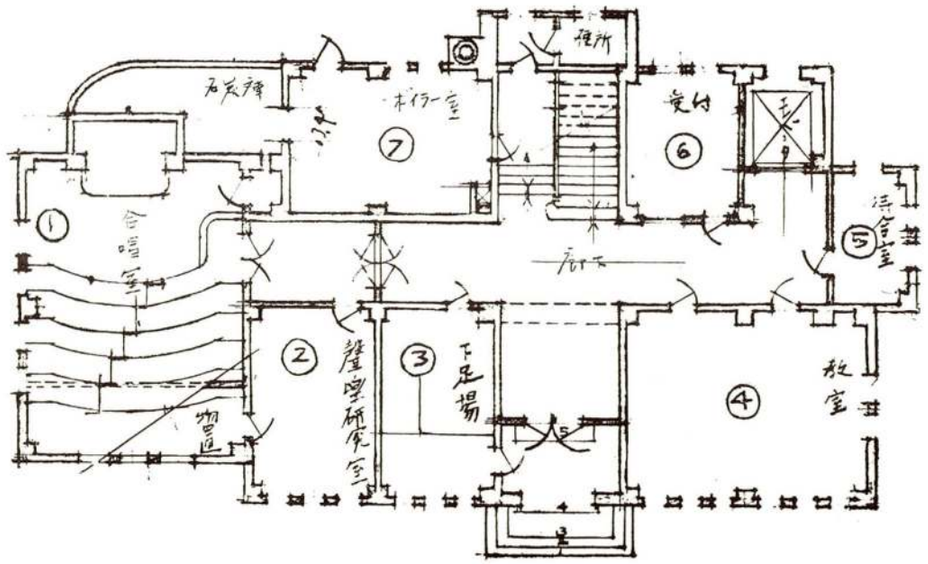
神戸女學院高女部及體操場各階平面圖



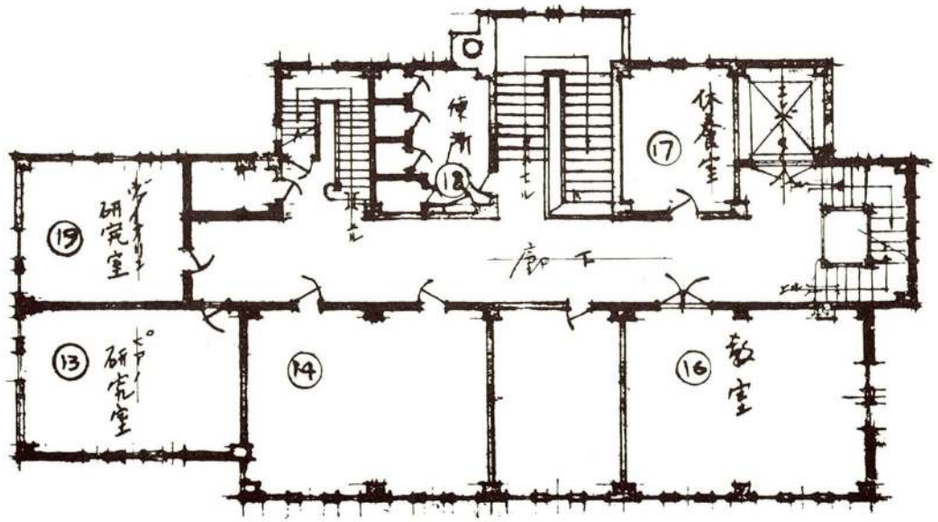
2 階 平 面 圖



4 階 平 面 圖

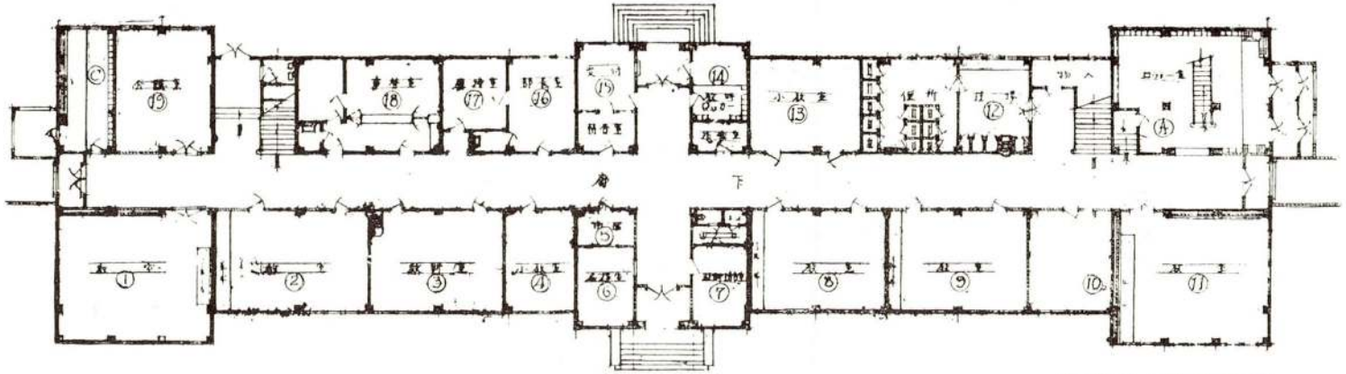


1 階 平 面 圖

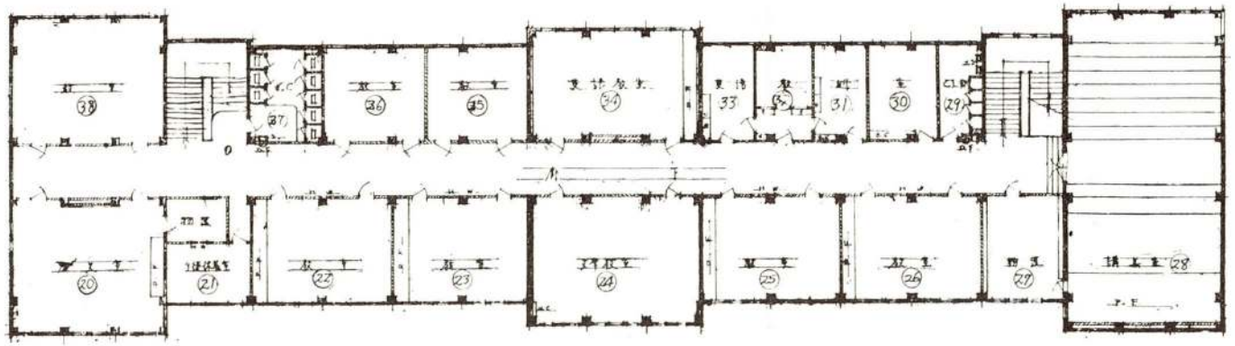


3 階 平 面 圖

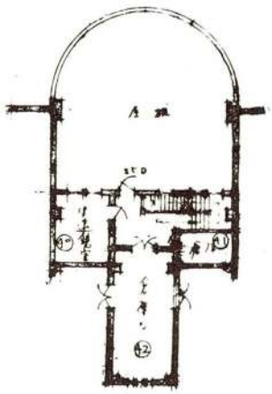
神 戸 女 學 院 音 樂 堂 各 階 平 面 圖



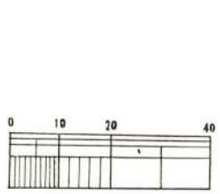
文學部1階平面圖

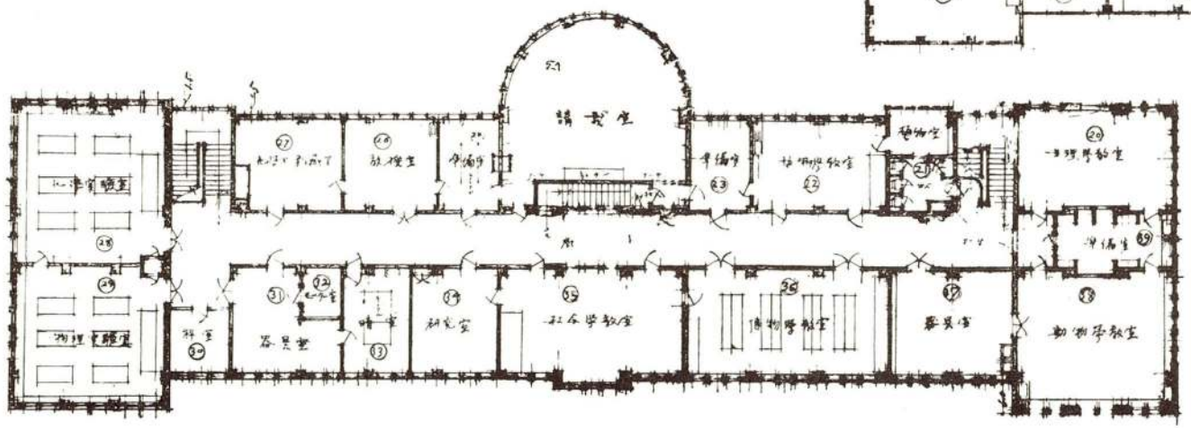


文學部2階平面圖

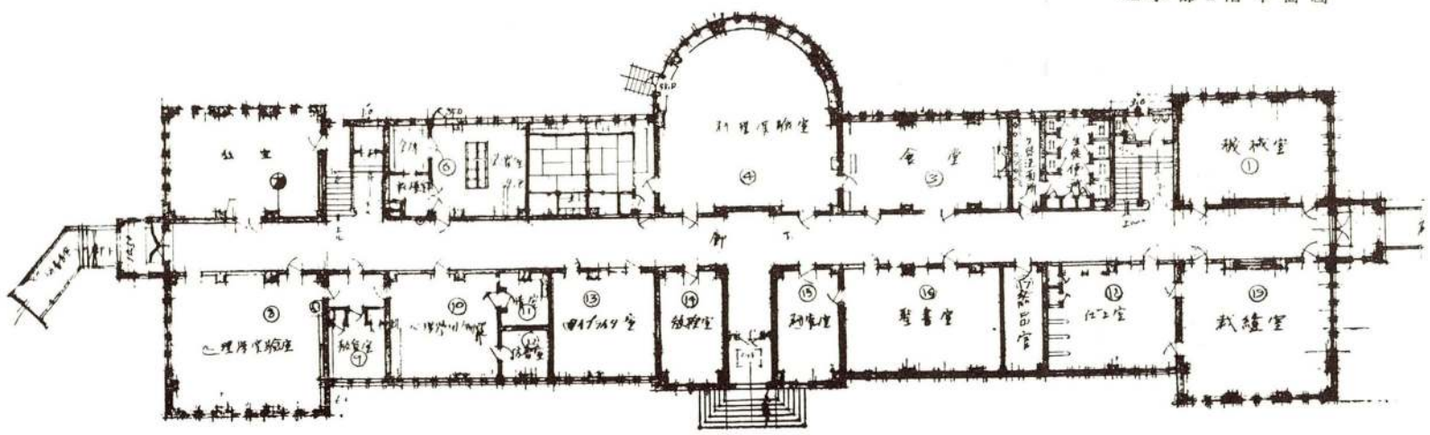


屋階平面

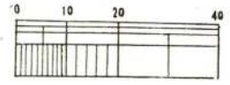




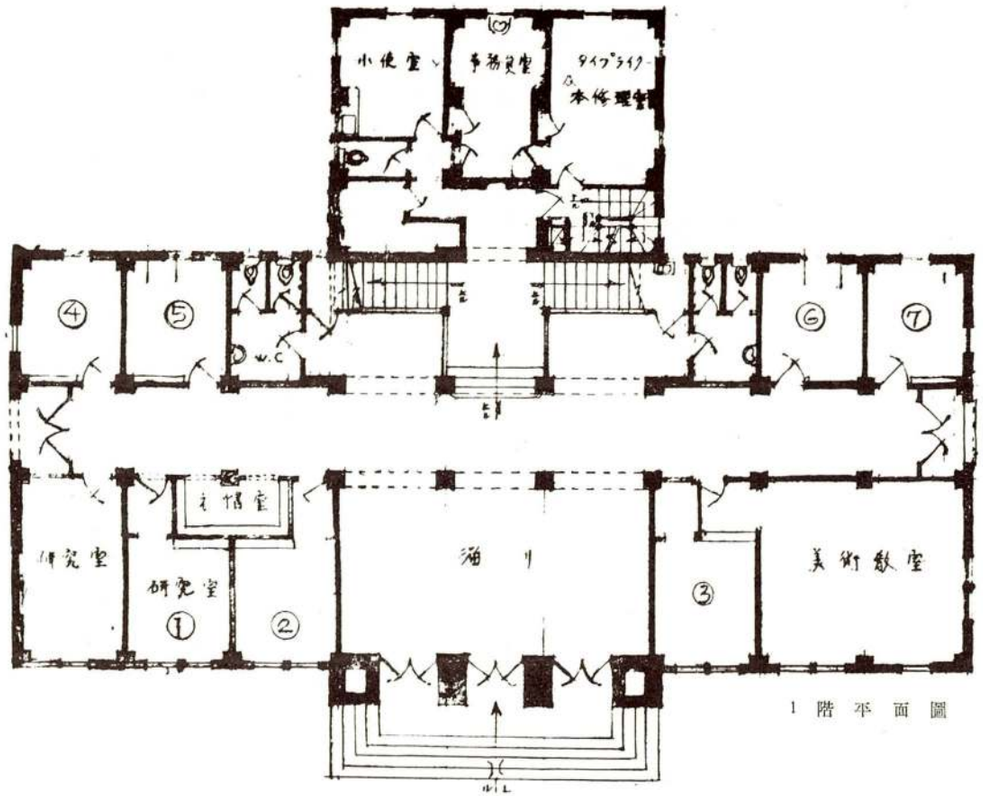
理學部2階平面圖



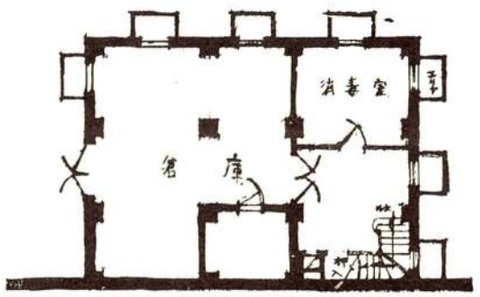
理學部1階平面圖



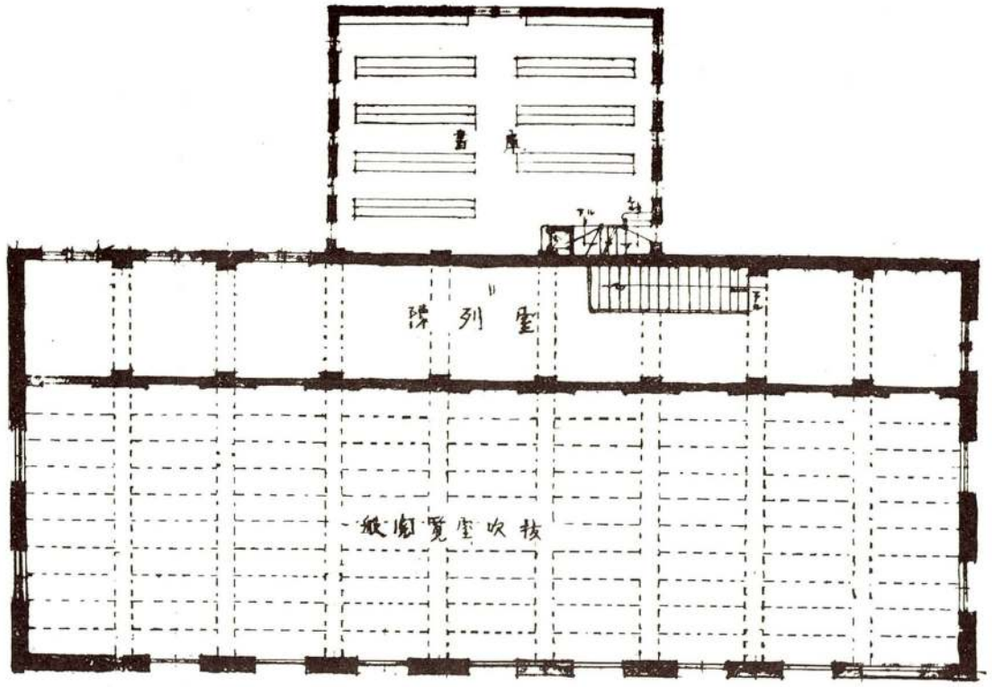
神戸女學院理學部文學部各階平面圖



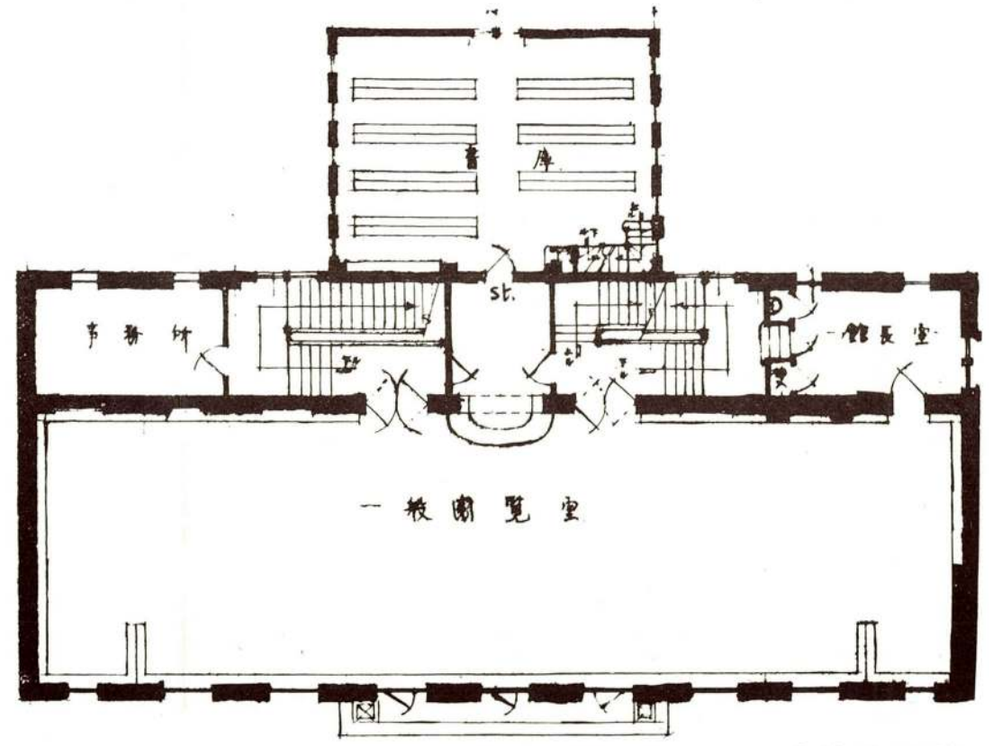
1 階 平 面 圖



地 階 平 面 圖

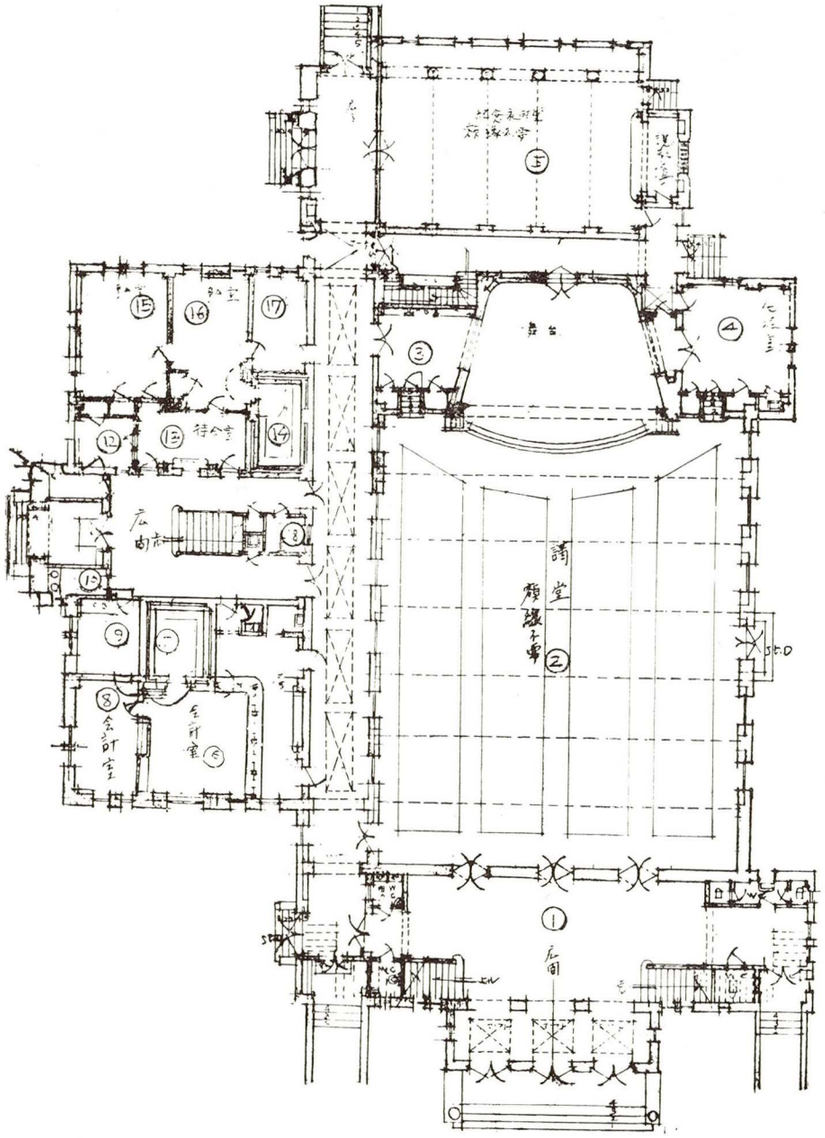


3 階 平 面 圖

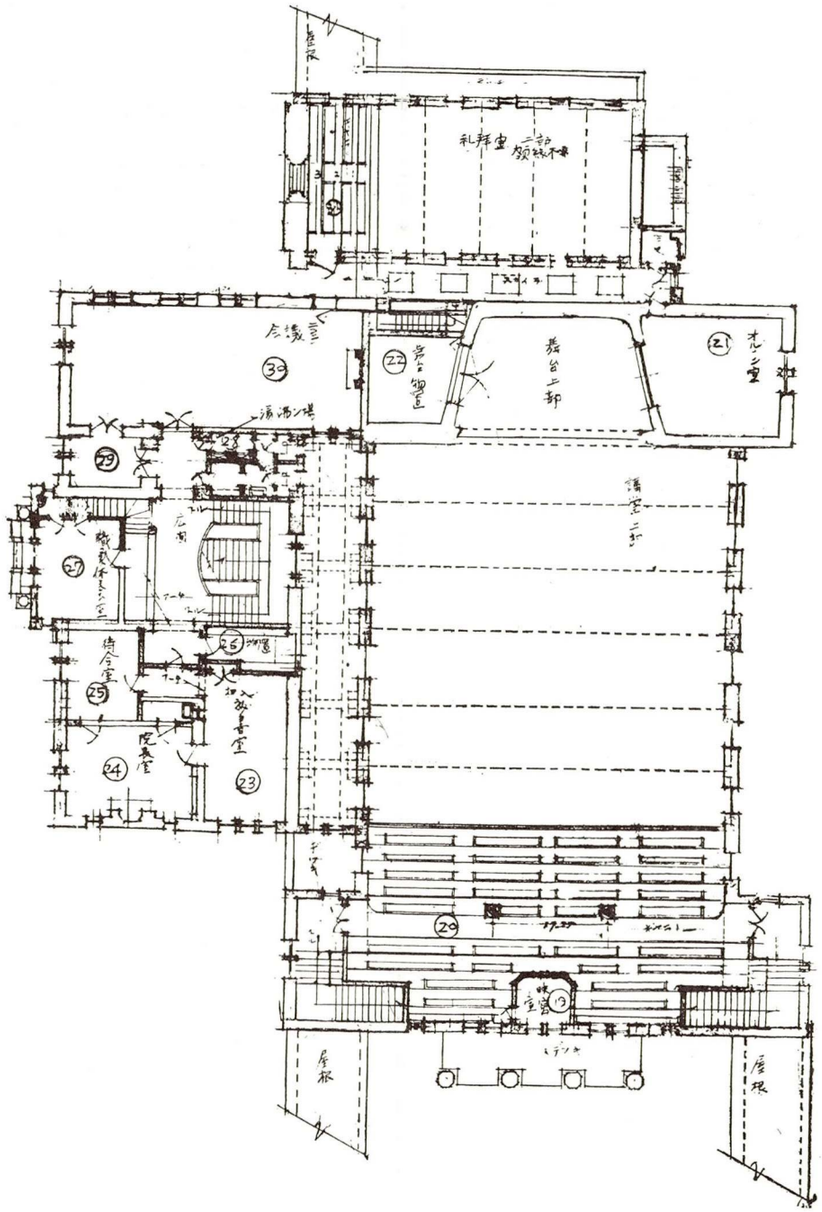


2 階 平 面 圖

神戸女學院圖書館各階平面圖

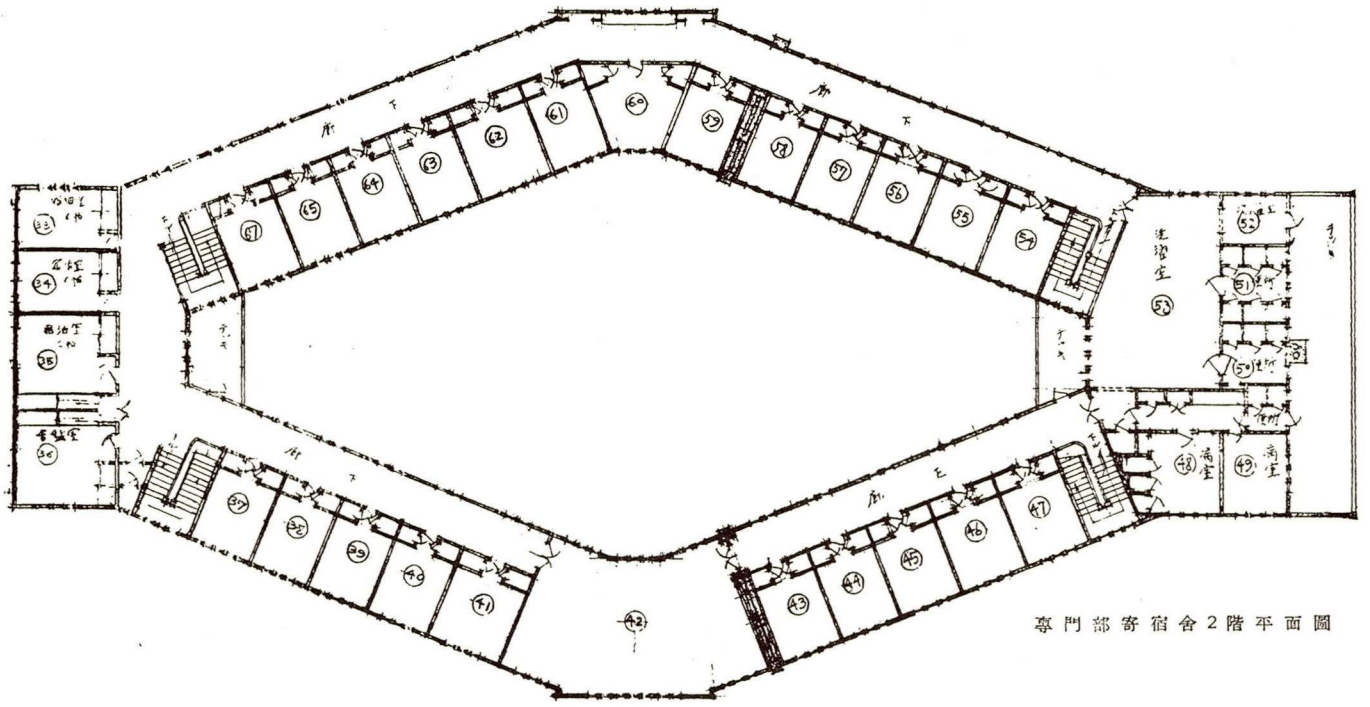


1 階 平 面 圖

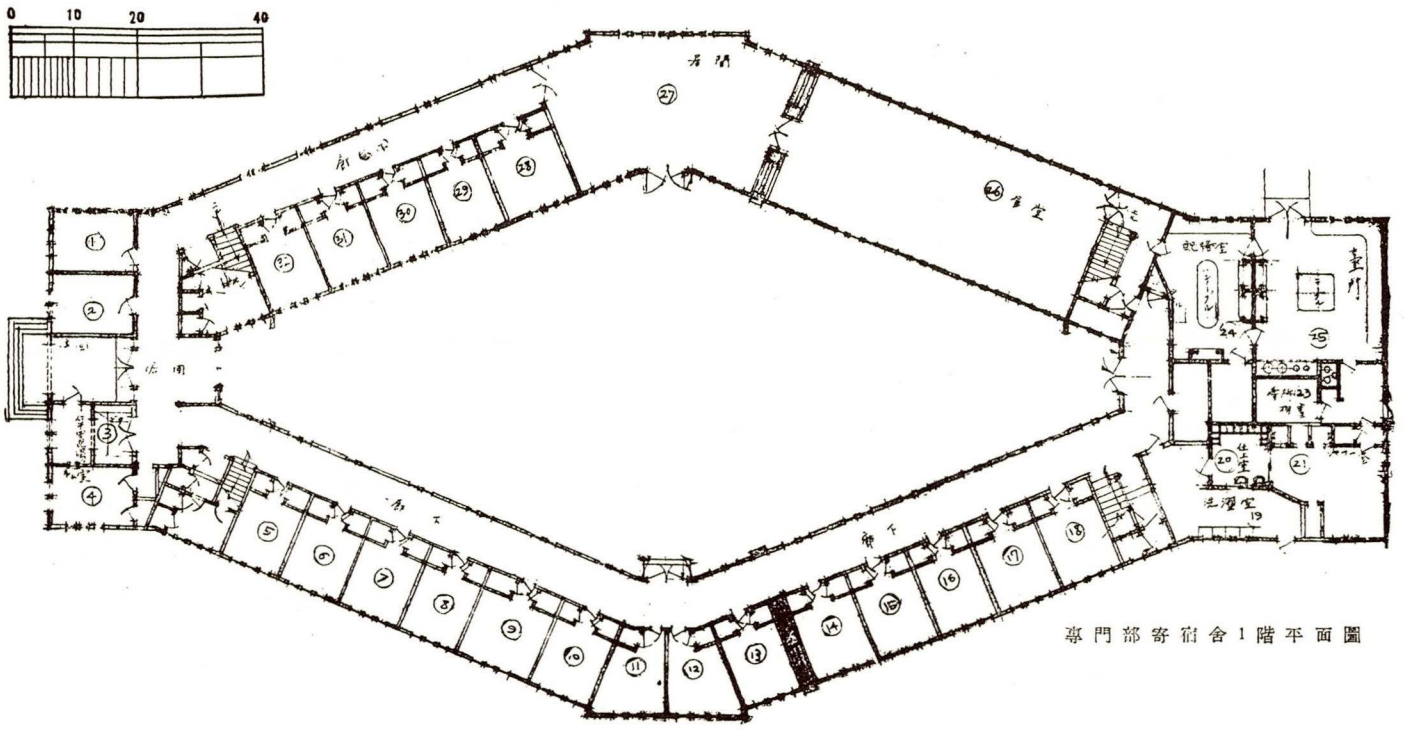


2 階 平 面 圖

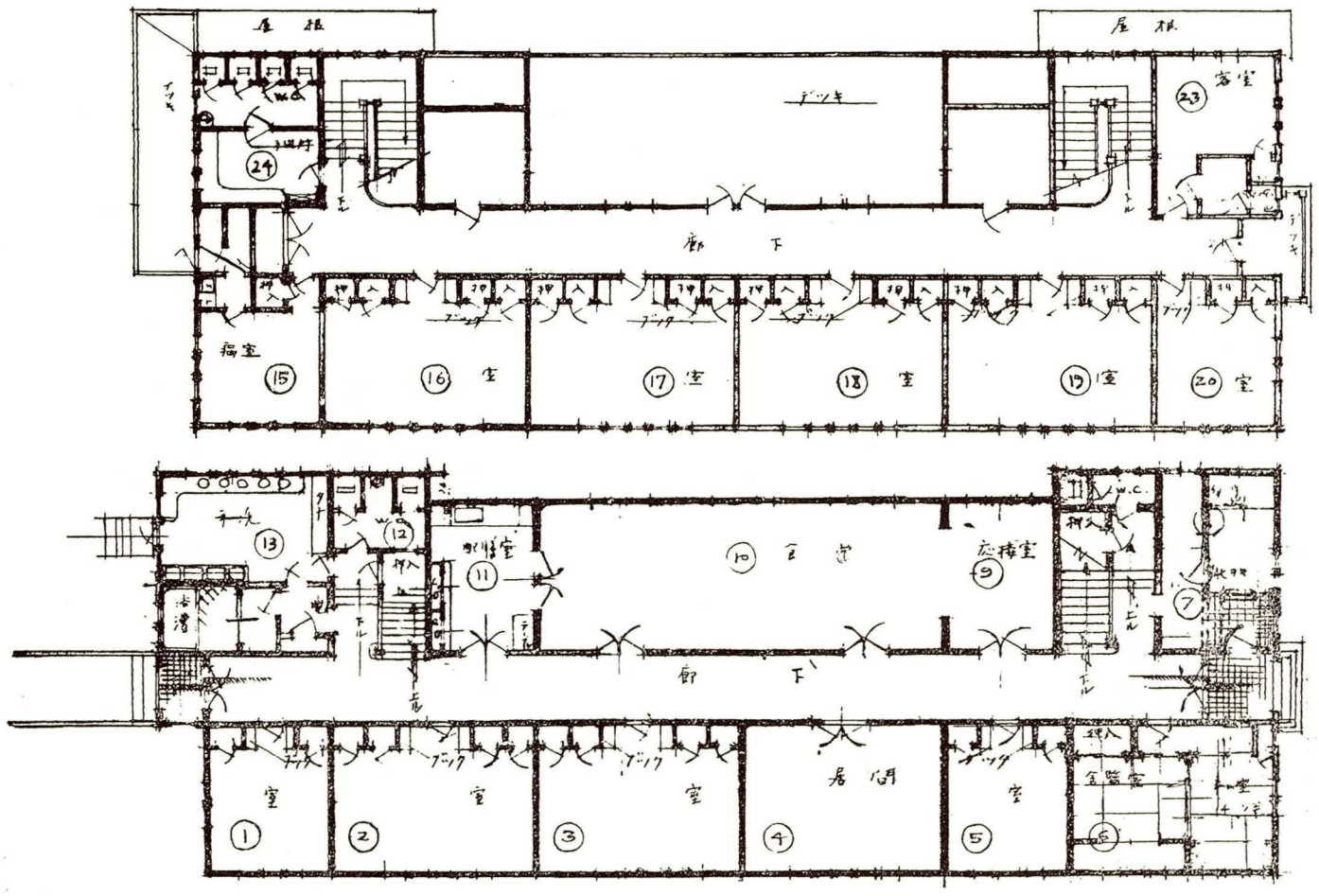
神 戸 女 學 院 總 務 及 講 堂 平 面 圖



專門部寄宿舍2階平面圖



專門部寄宿舍1階平面圖



高女部寄宿舍
2階平面圖

高女部寄宿舍
1階平面圖

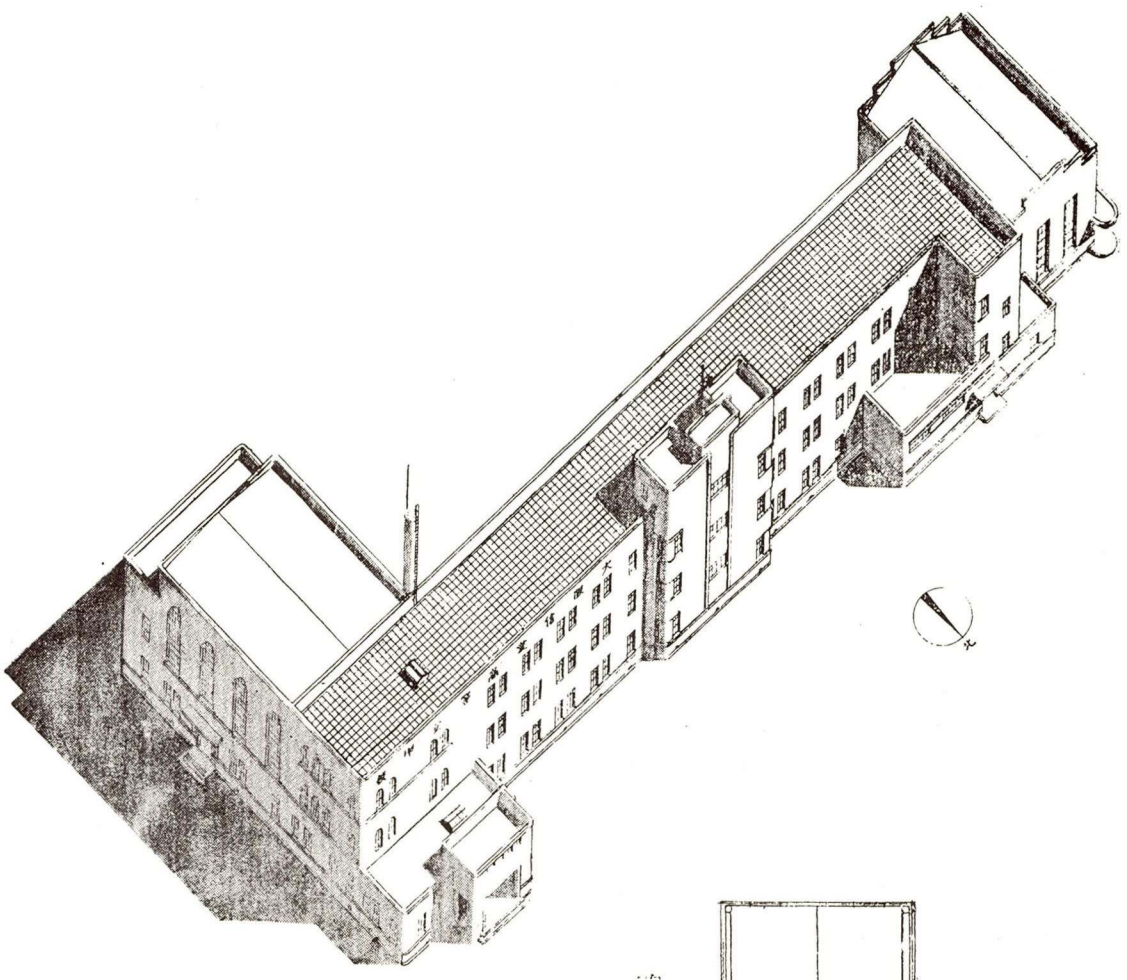
神戸女學院專門部高女部寄宿舍各階平面圖

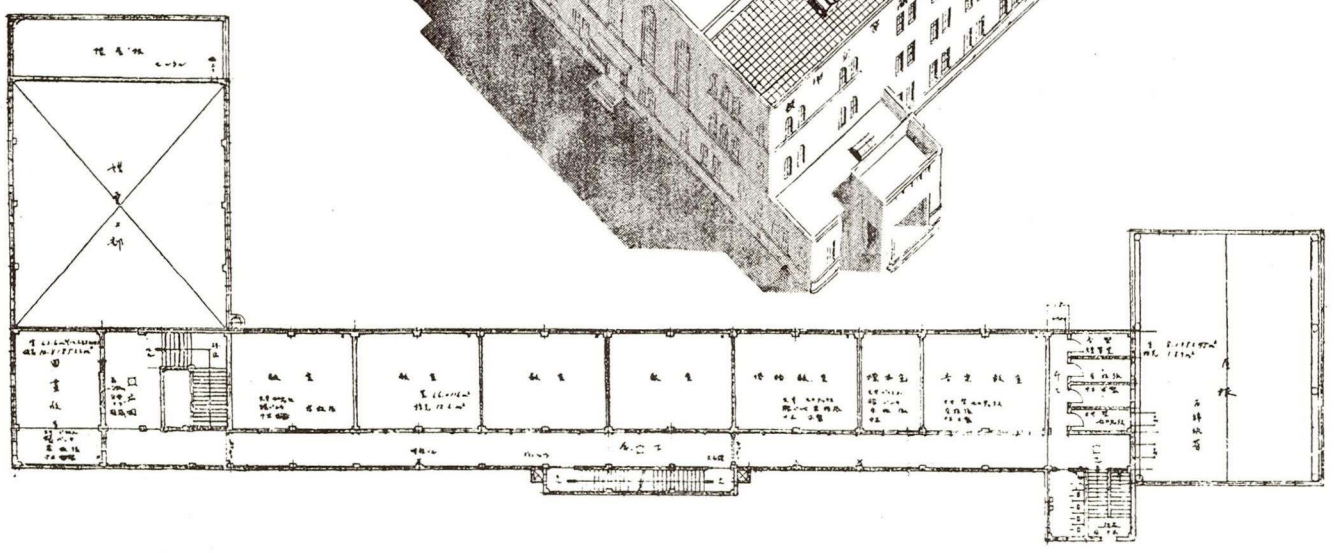
所 在 地　大阪市旭區千林町

構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造
　　地階附 3 階建

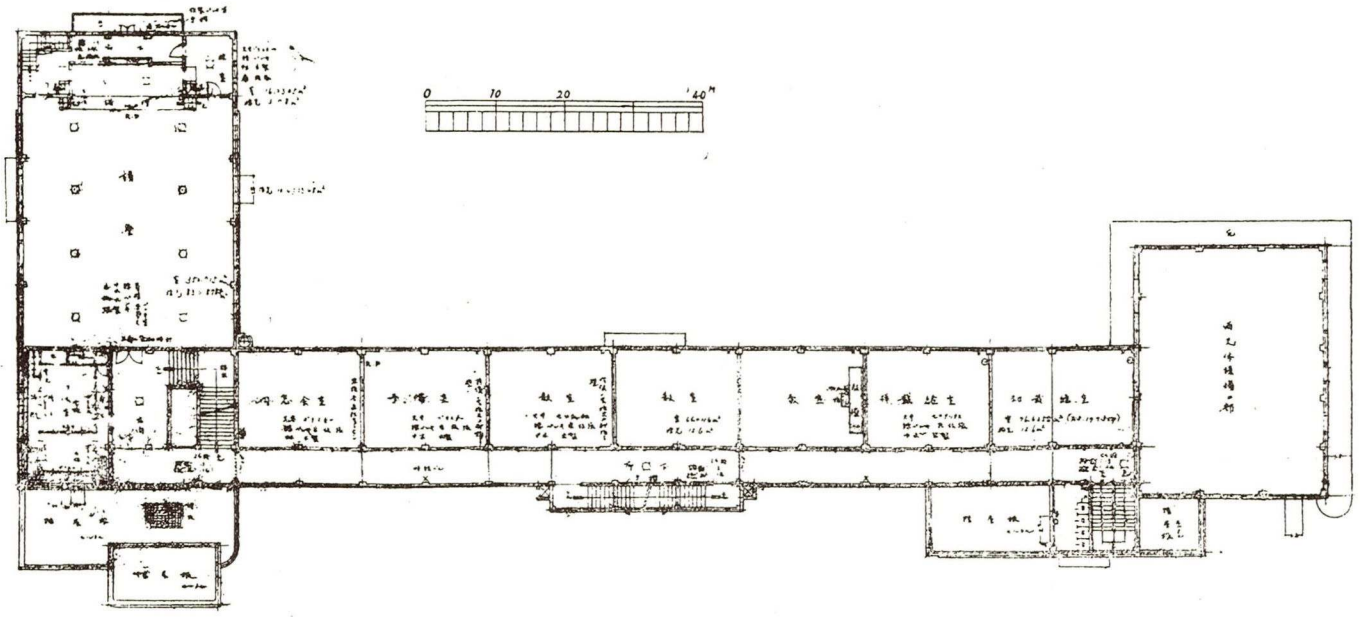
建築面積　地階　23.712 坪
　　1 階　506.799
　　2 階　368.186
　　3 階　260.584
　　塔屋　14.915

設計施工　竹中工務店

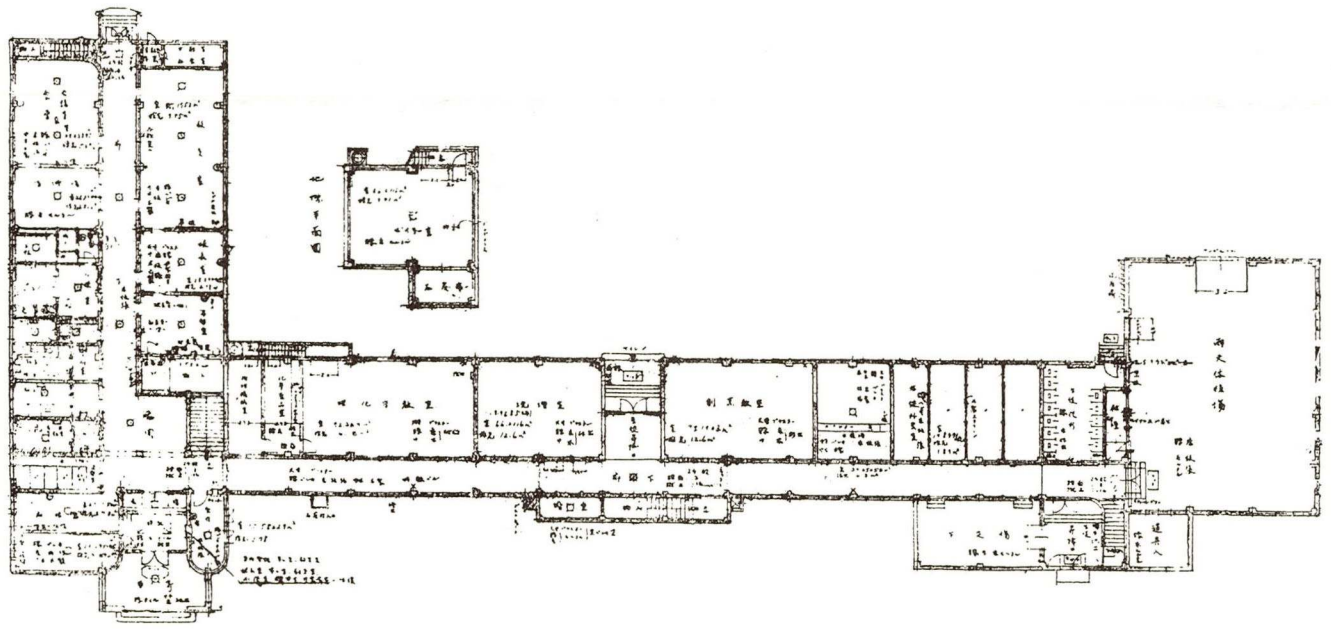




3 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖

大阪市・信愛高等女學校正面圖及各階平面圖

所在地　大阪府北河內郡友呂岐村

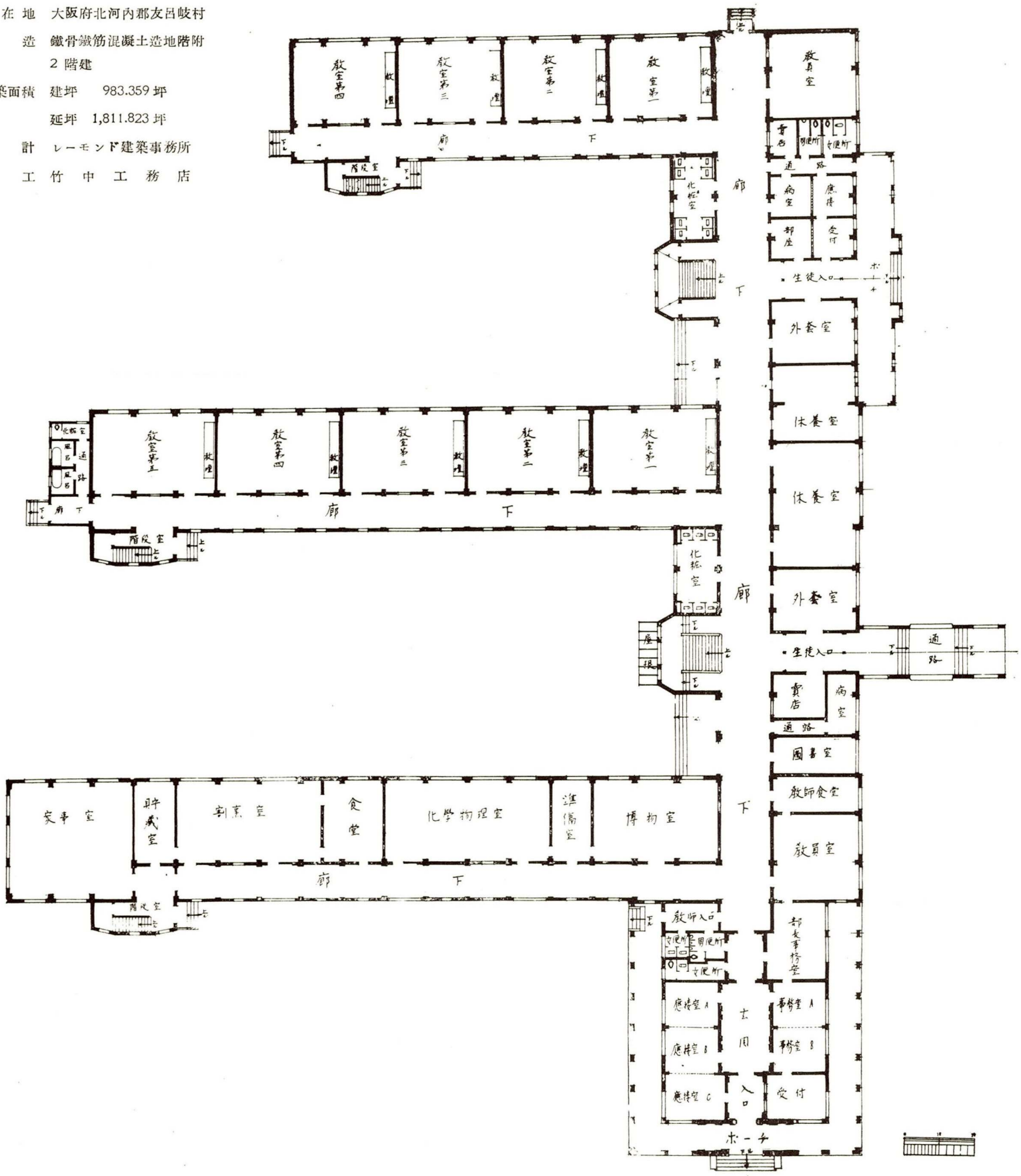
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造地階附2階建

建築面積　建坪　983.359坪

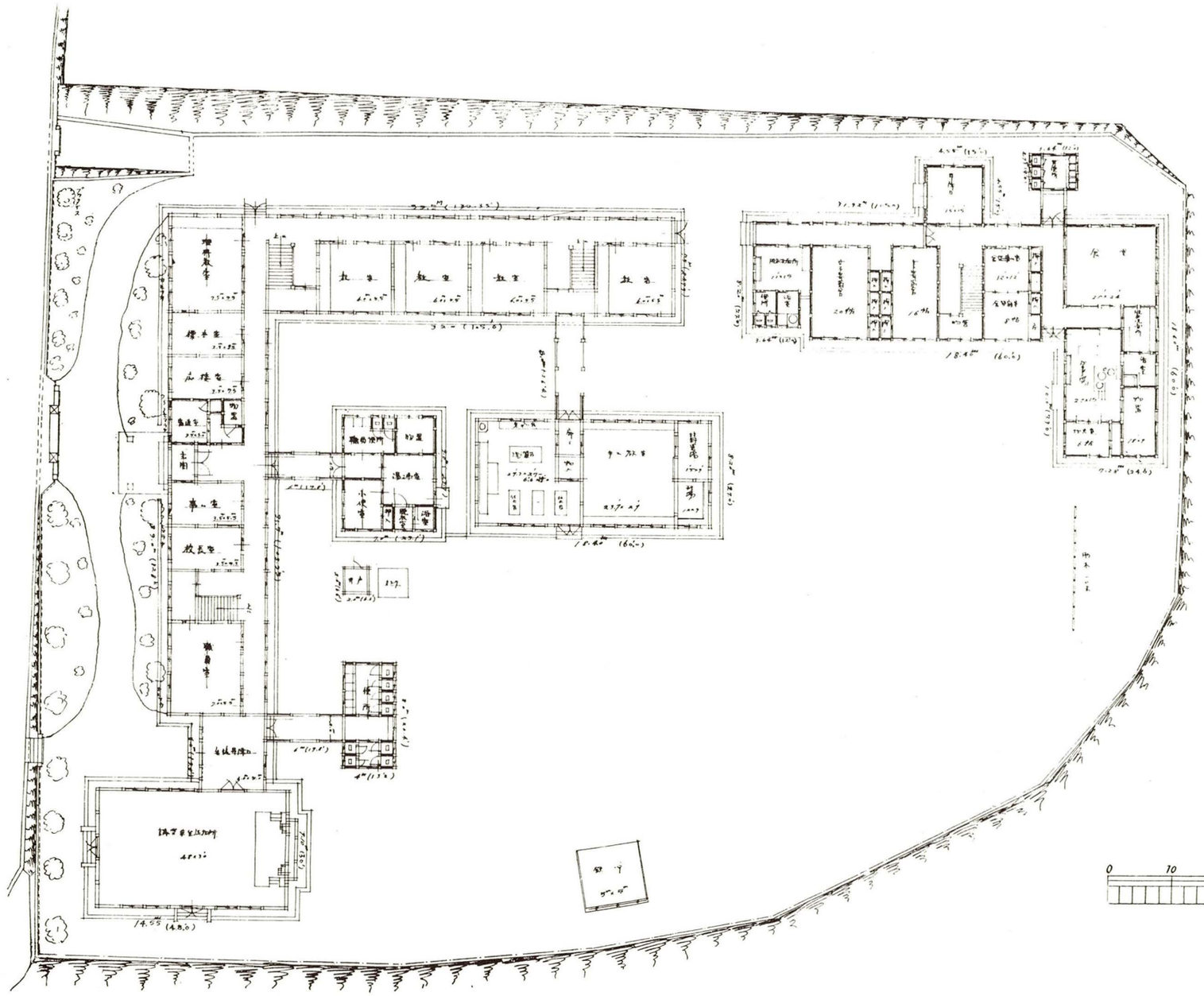
延坪　1,811.823坪

設　計　レーモンド建築事務所

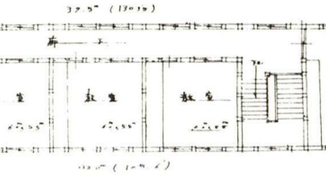
施　工　竹中工務店



聖母女學院平面圖

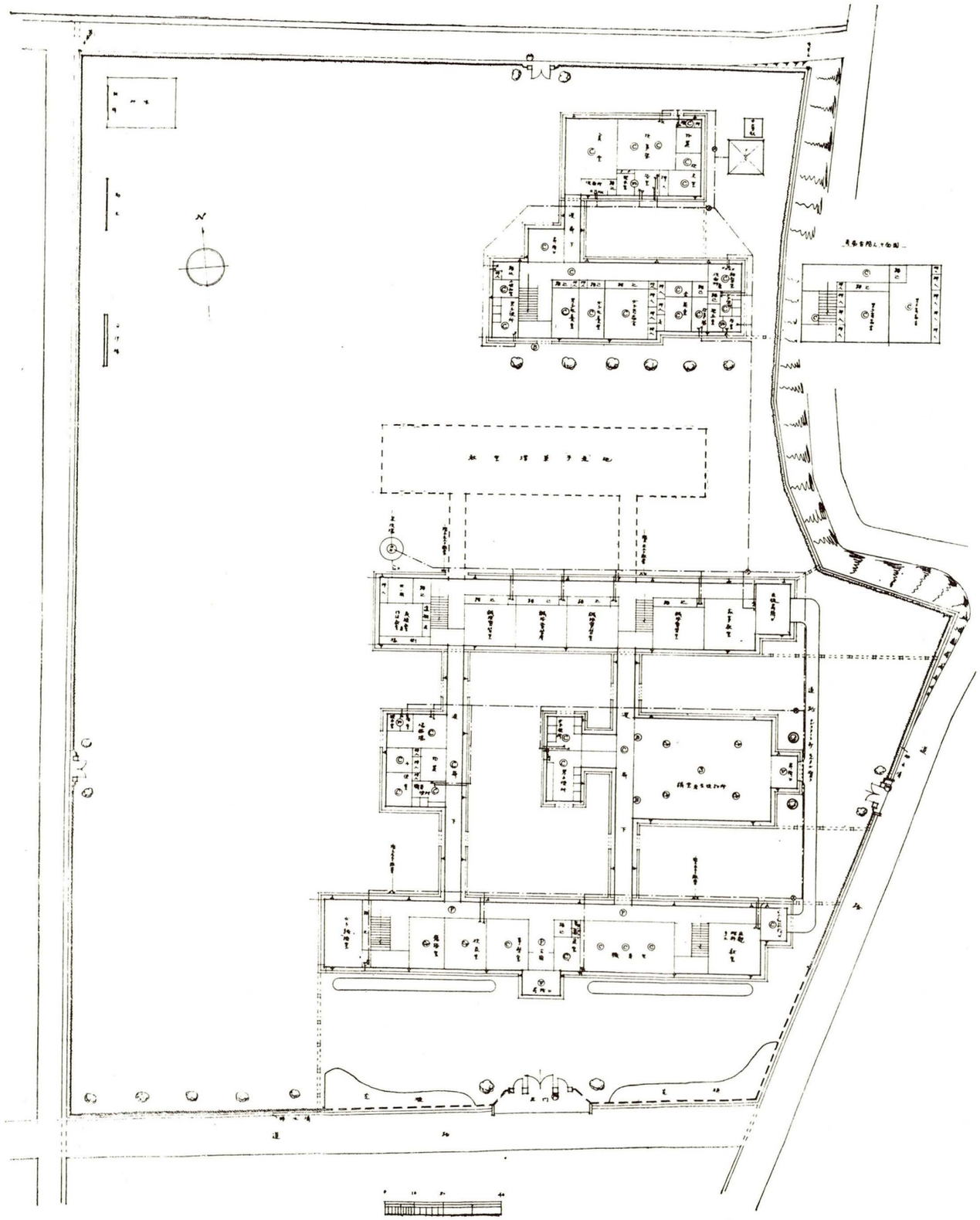


本館二階平面図

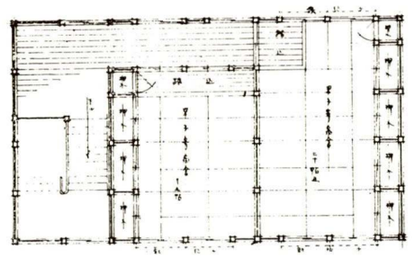


寄宿舎二階平面図

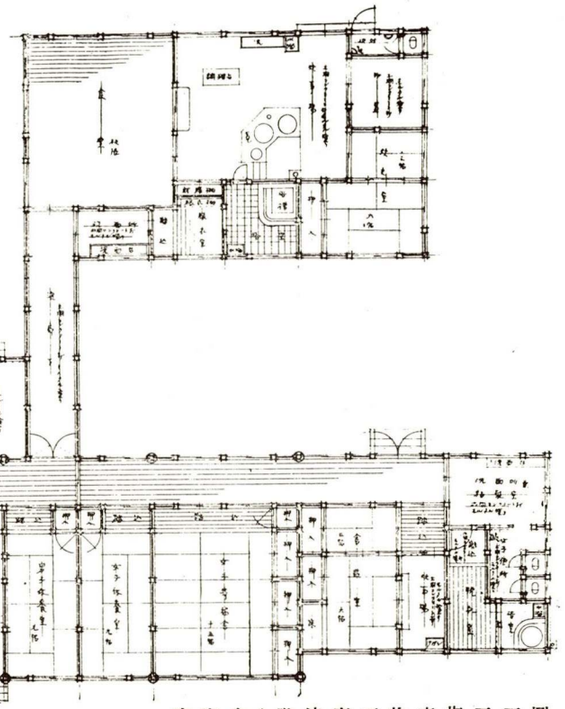
所 在 地　兵庫縣明石郡垂水町
構　　造　木造2階建
建築面積　1,377.65 平方米
　　延坪　2,075.55
設　　計　兵庫縣營繕課



配　置　圖



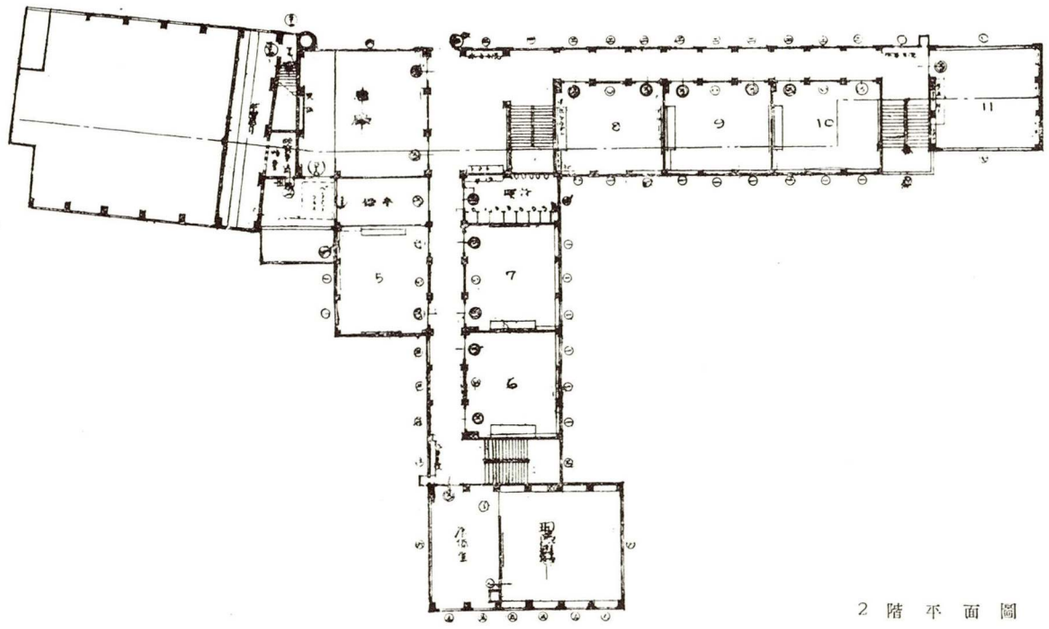
寄宿舍2階平面圖



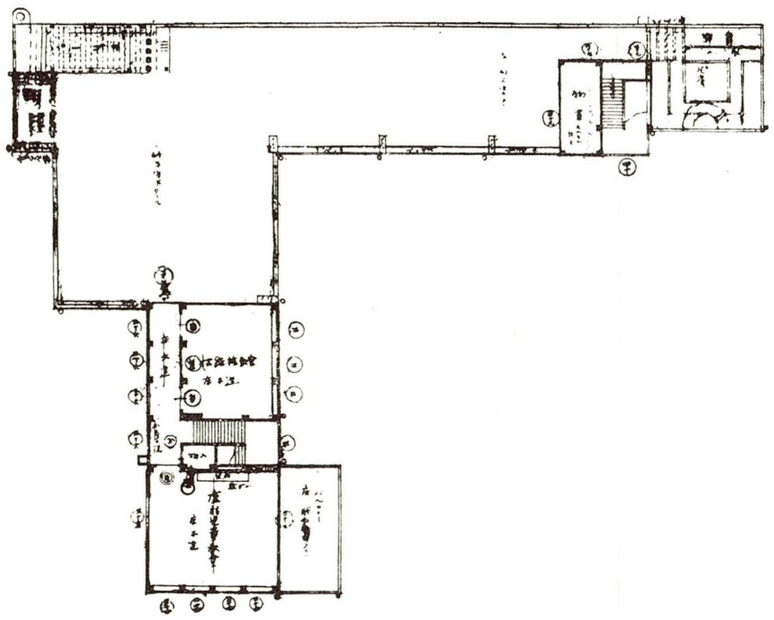
寄宿舍1階渡廊下炊事場平面圖

所在地　兵庫縣明石郡
　　垂水町東垂水
構　造　木造2階建
建築面積　423.2坪
　　延坪　649.2坪
設　計　兵庫縣營繕課

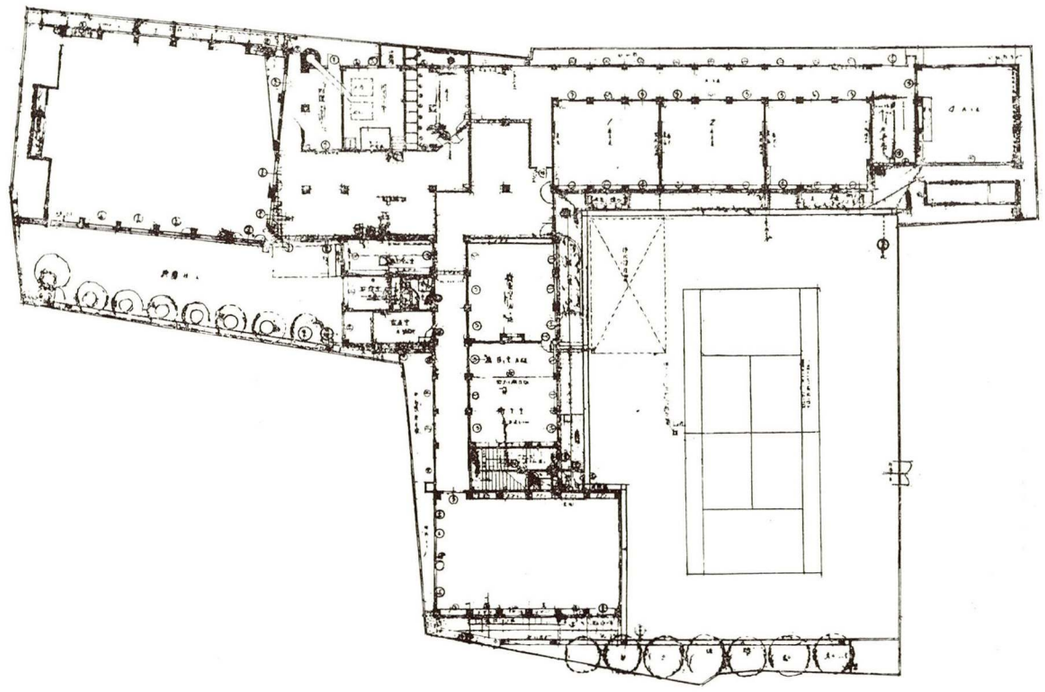
兵庫縣立盲學校配置圖及本舘・講堂・寄宿舍各階平面圖



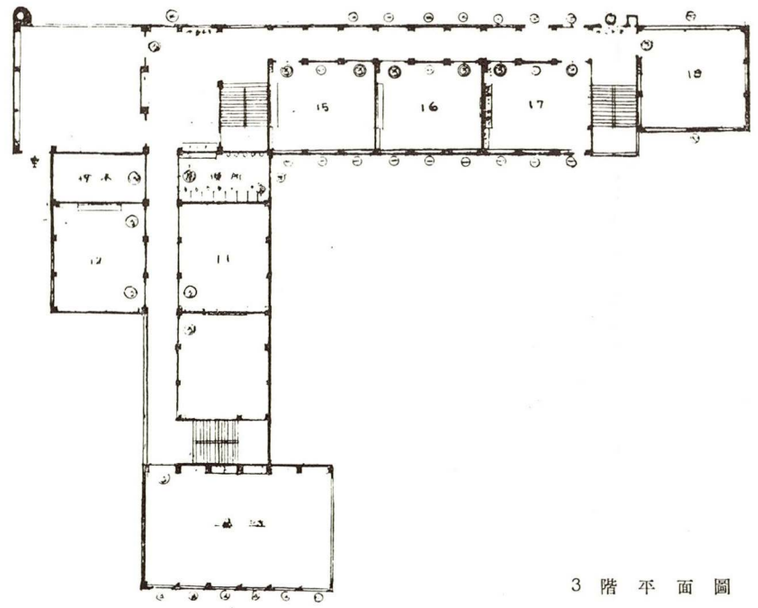
2 階 平 面 圖



屋 上 平 面 圖



1 階 平 面 圖



3 階 平 面 圖

所 在 地　東京市下谷區池ノ端七軒町
構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造 一部4階3階建
建築面積　1,423.0 平方米
延　　坪　3,867.0
設　　計　東京市建築課
施　　工　清　水　組

東京市立忍岡小學校各階平面圖

所 在 地　東京市赤阪區檜町

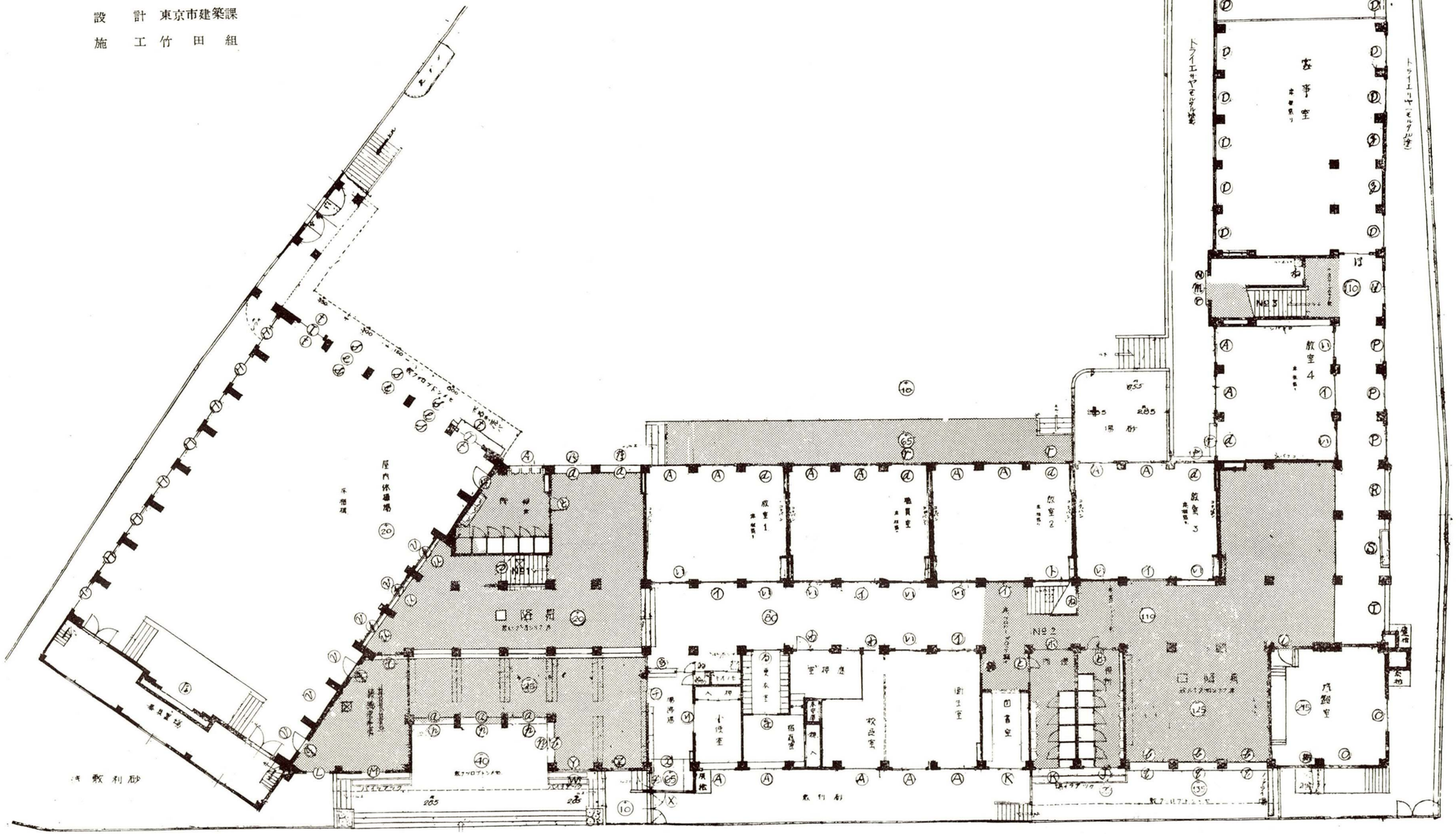
構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造 4 階建

建築面積　1,812.121 平方米

延　　坪　4,501.743 平方米

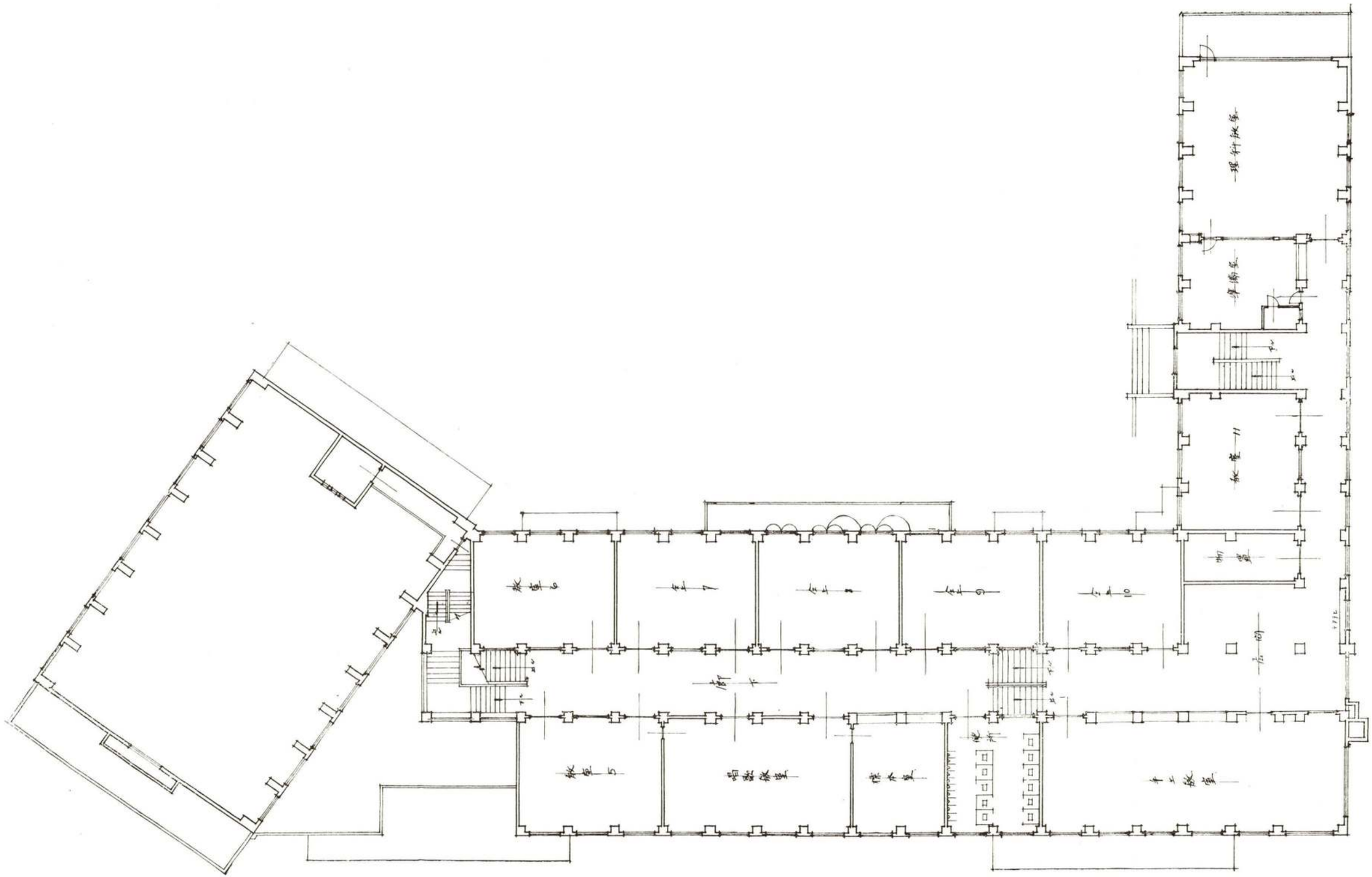
設　　計　東京市建築課

施　　工　竹　田　組



1 階 平 面 圖

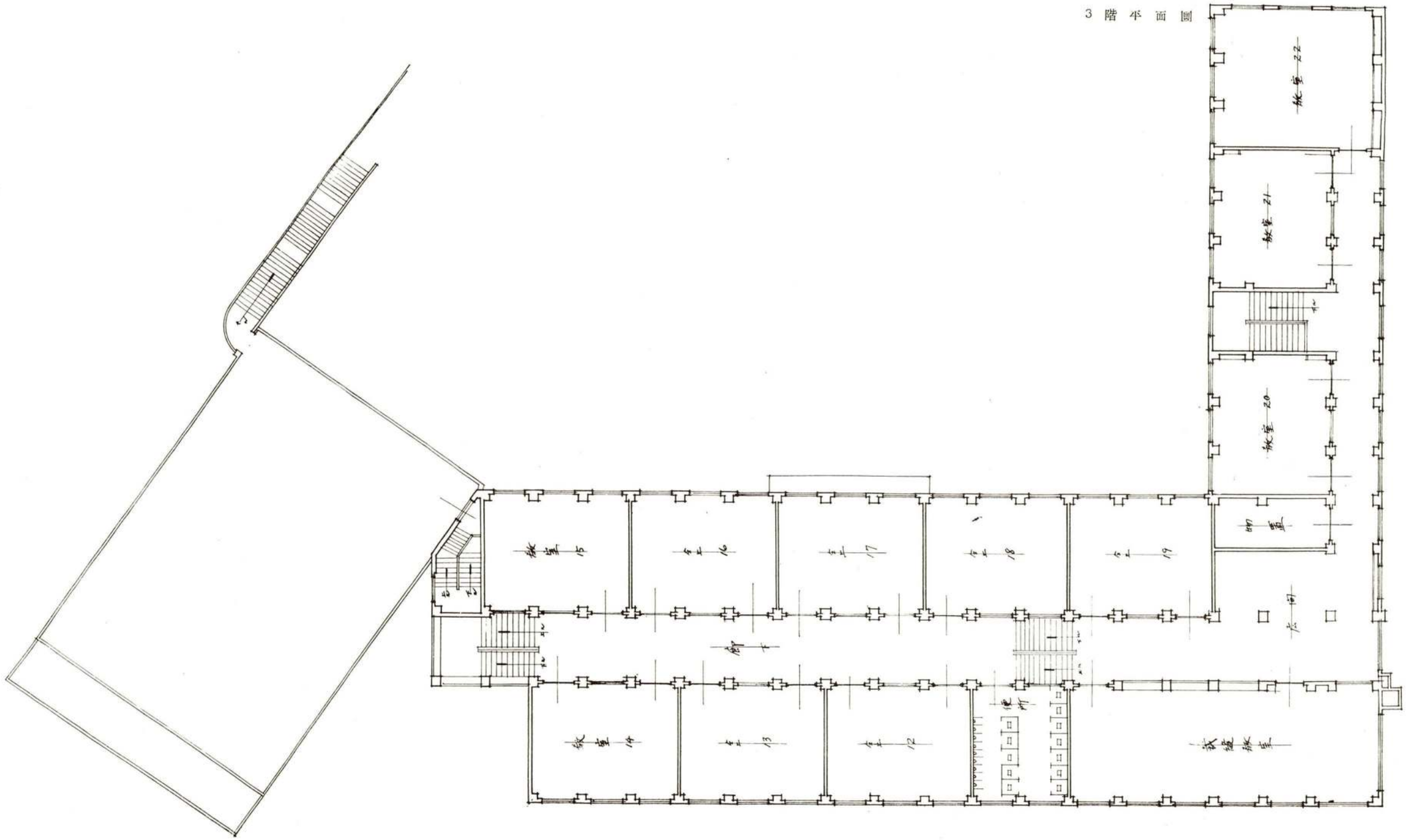
東京市立中之町小學校 1 階平面圖



2階平面圖

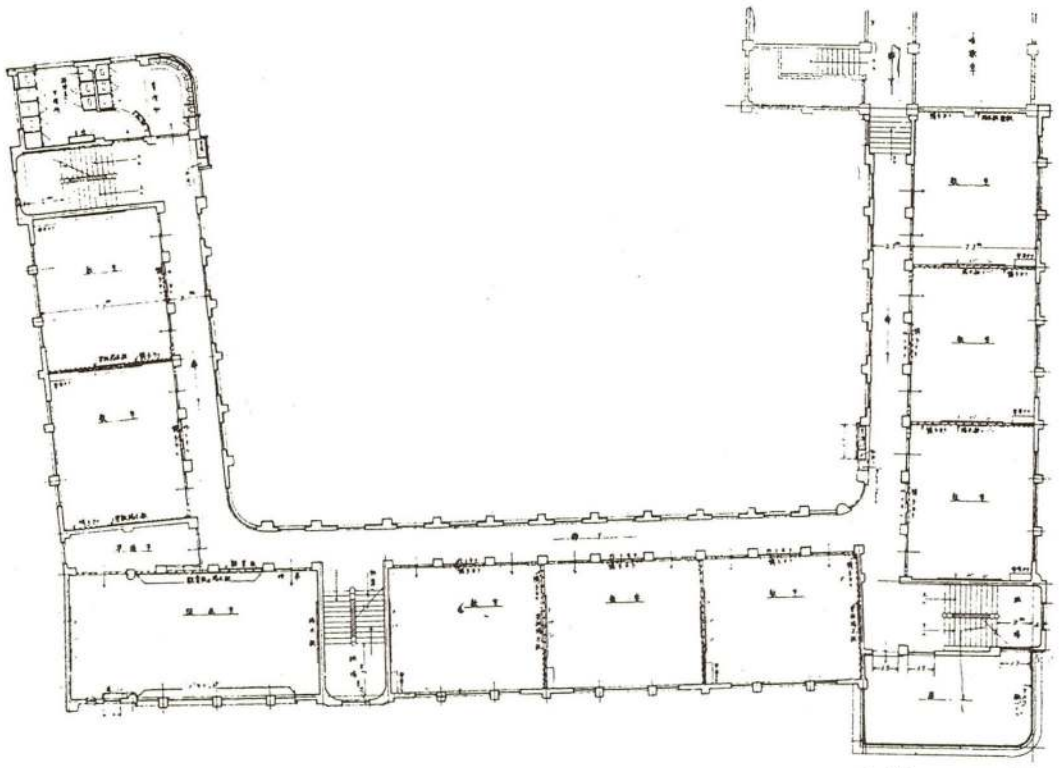
東京市立中之町小學校2階平面圖

3 階 平 面 圖

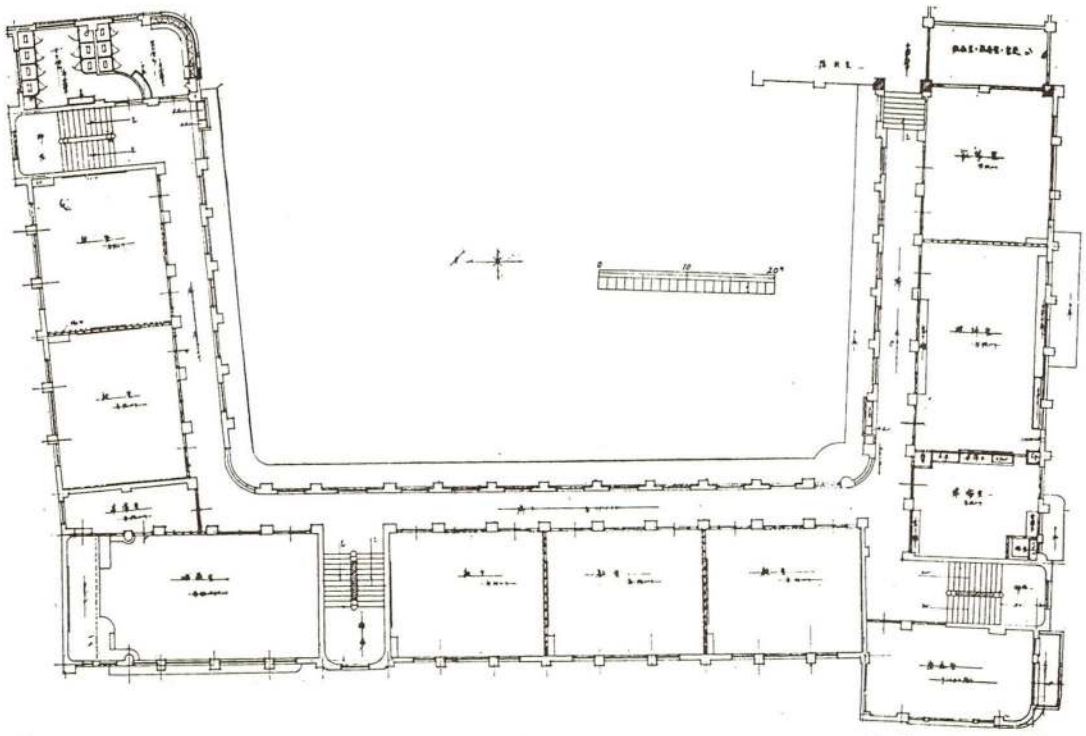


東京市立中之町小學校3階平面圖

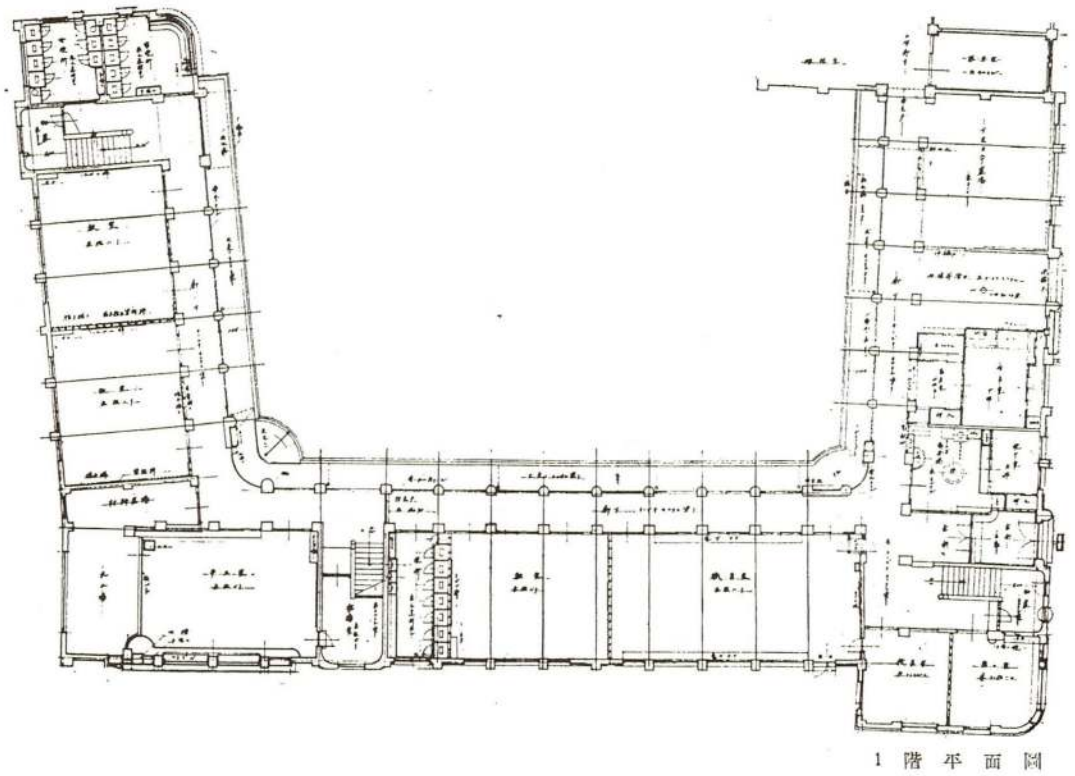
所 在 地　大阪市北區國分町
構　　造　鐵筋混凝土造3階建
建築面積　1 階　1,051.786平方米
　　2 階　1,051.786
　　3 階　998.986
　　屋階　52.800
　　延坪　3,155.358
設　　計　大阪市建築課
施　　工　有　山　組



3 階 平 面 圖



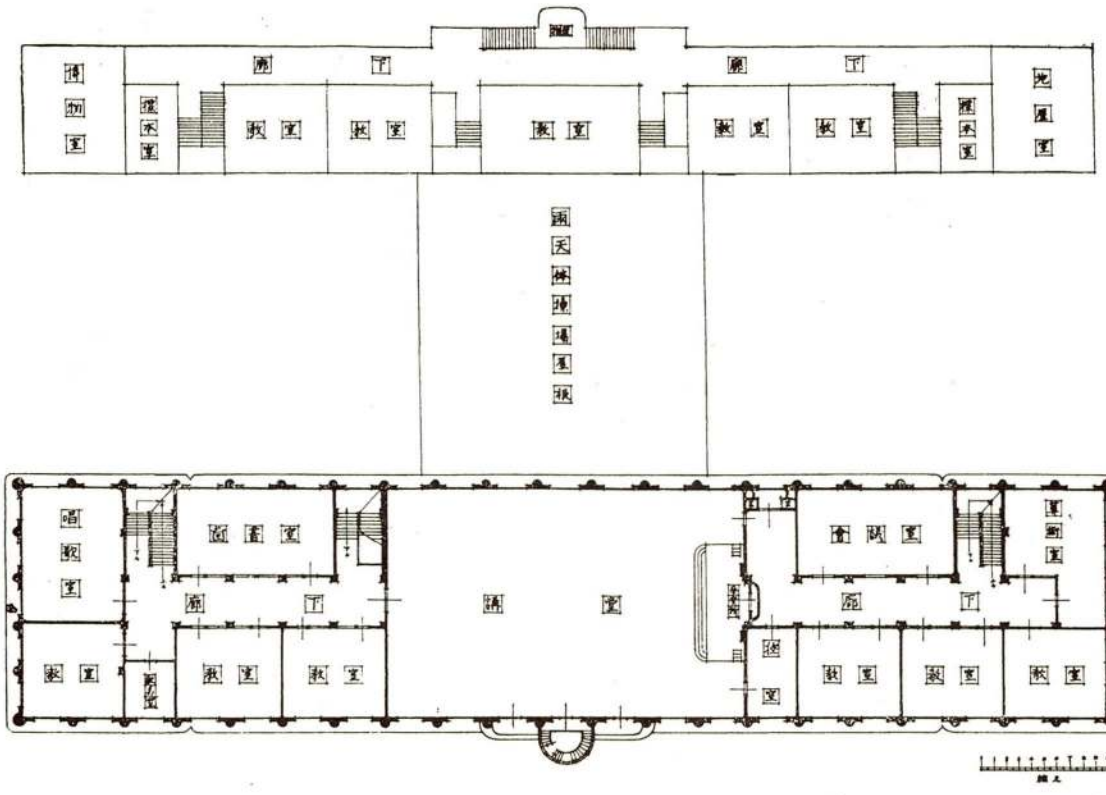
2 階 平 面 圖



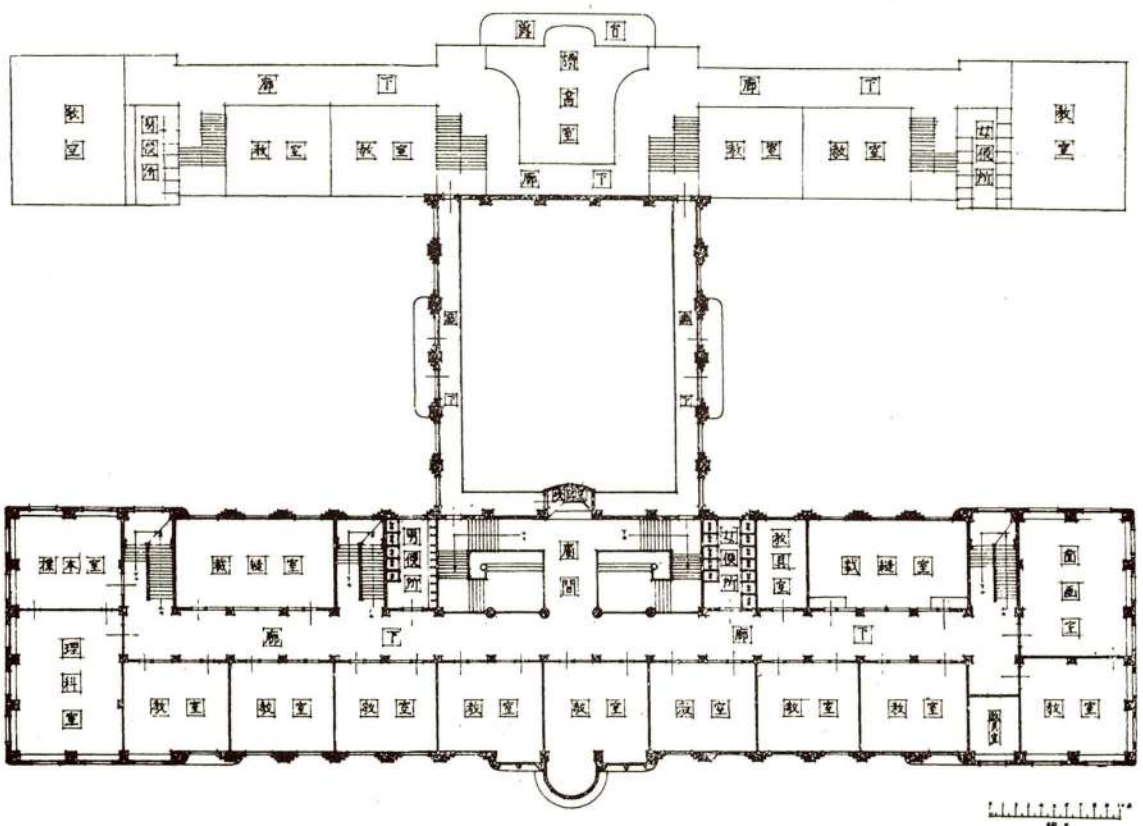
1 階 平 面 圖

大阪市立濟美第六小學校各階平面圖

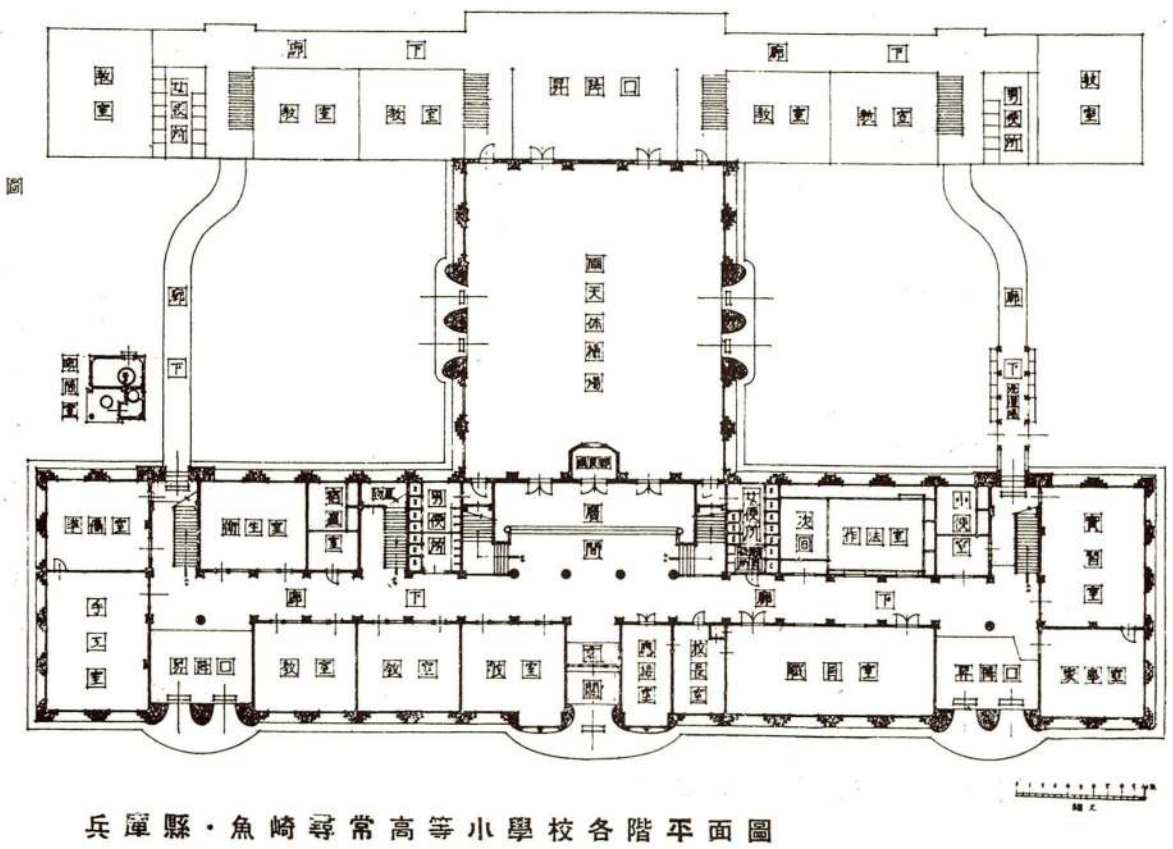
3階平面圖



2階平面圖



1階平面圖



所在地　兵庫縣武庫郡
　　魚崎町

構　造　鐵筋混凝土造
　　3階建

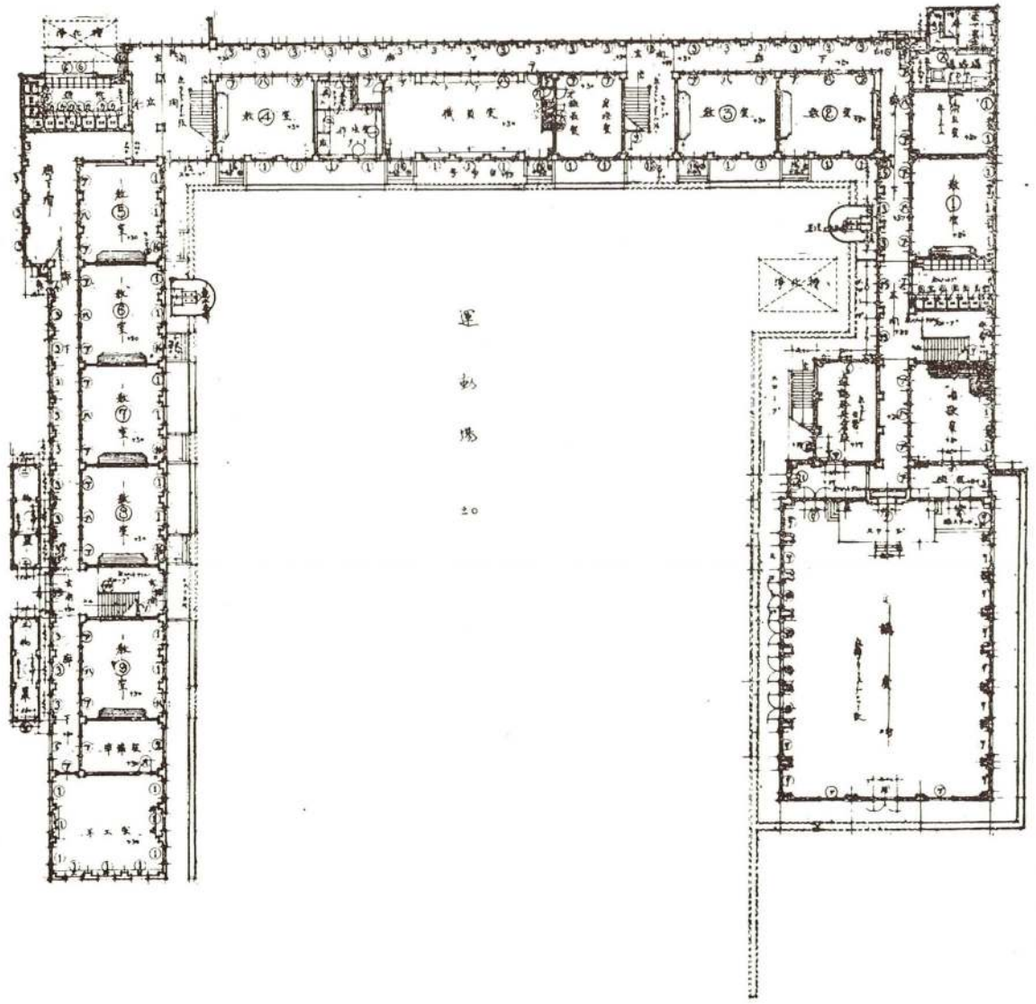
建築面積

　　本館　1,523.18坪

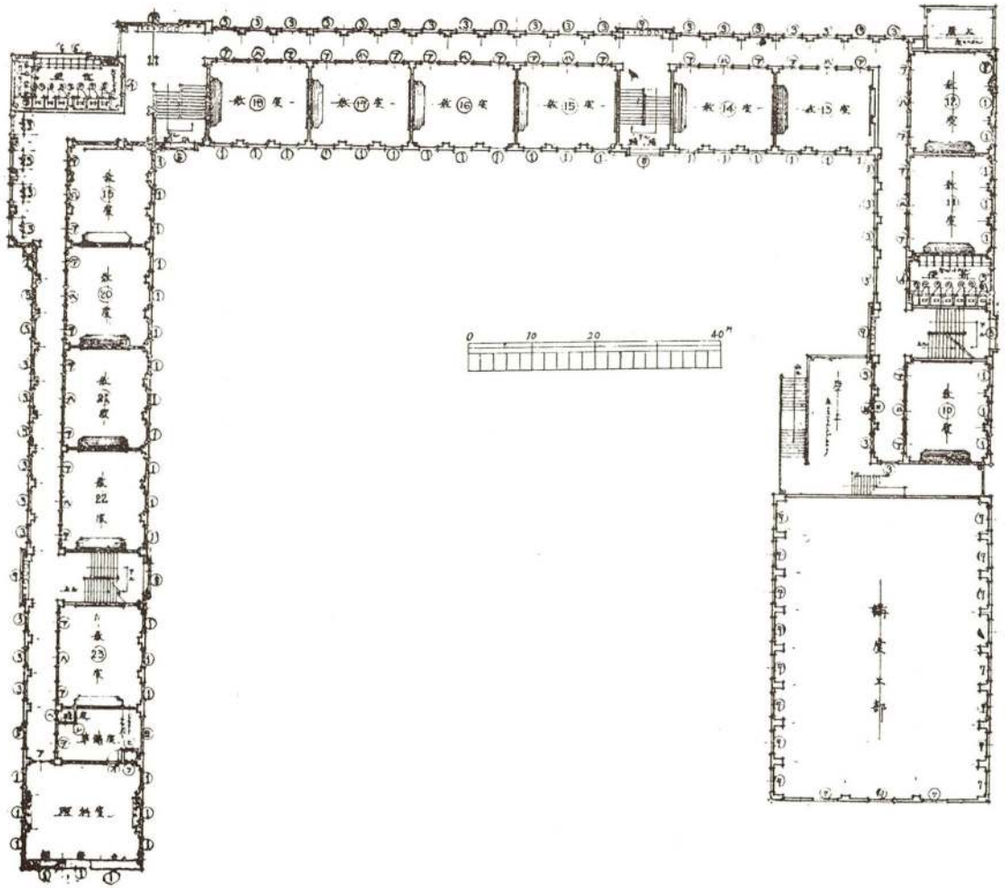
　　延坪　1,744.807坪

設　計　清水建築事務所

兵庫縣・魚崎尋常高等小學校各階平面圖



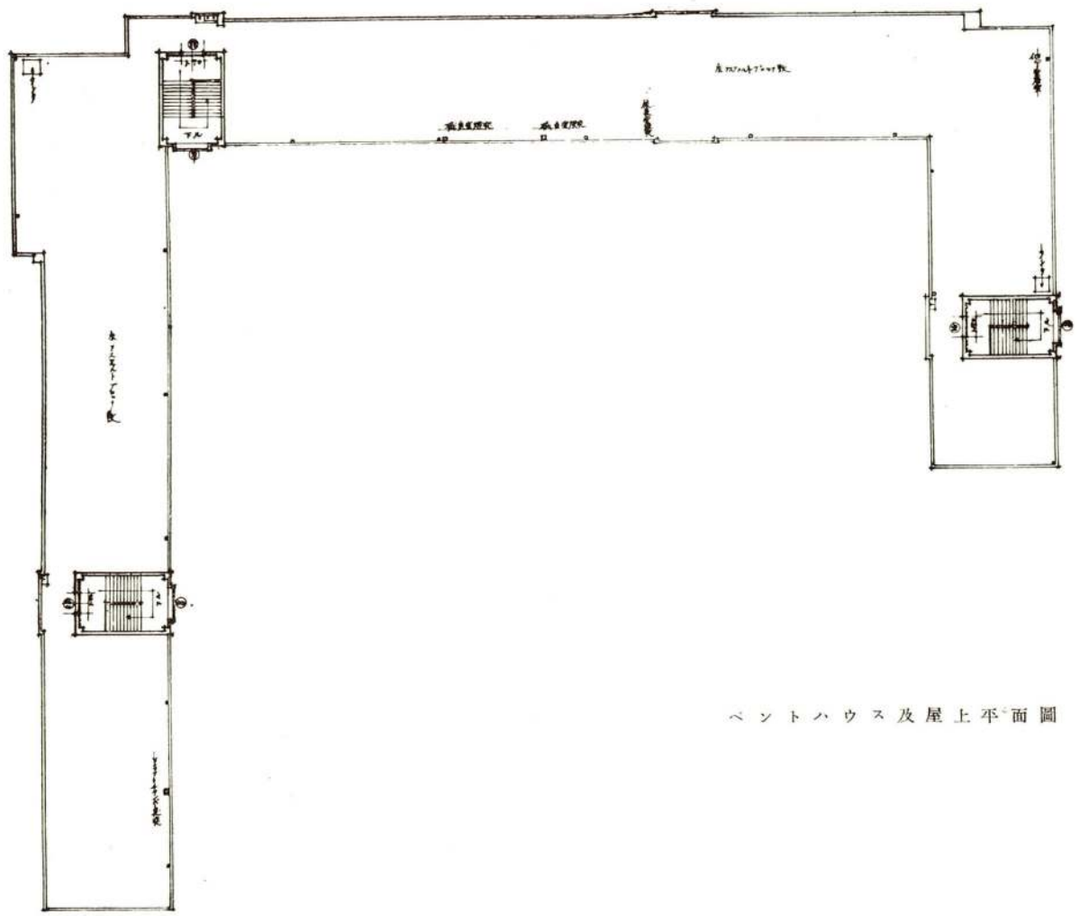
1 階 平 面 圖



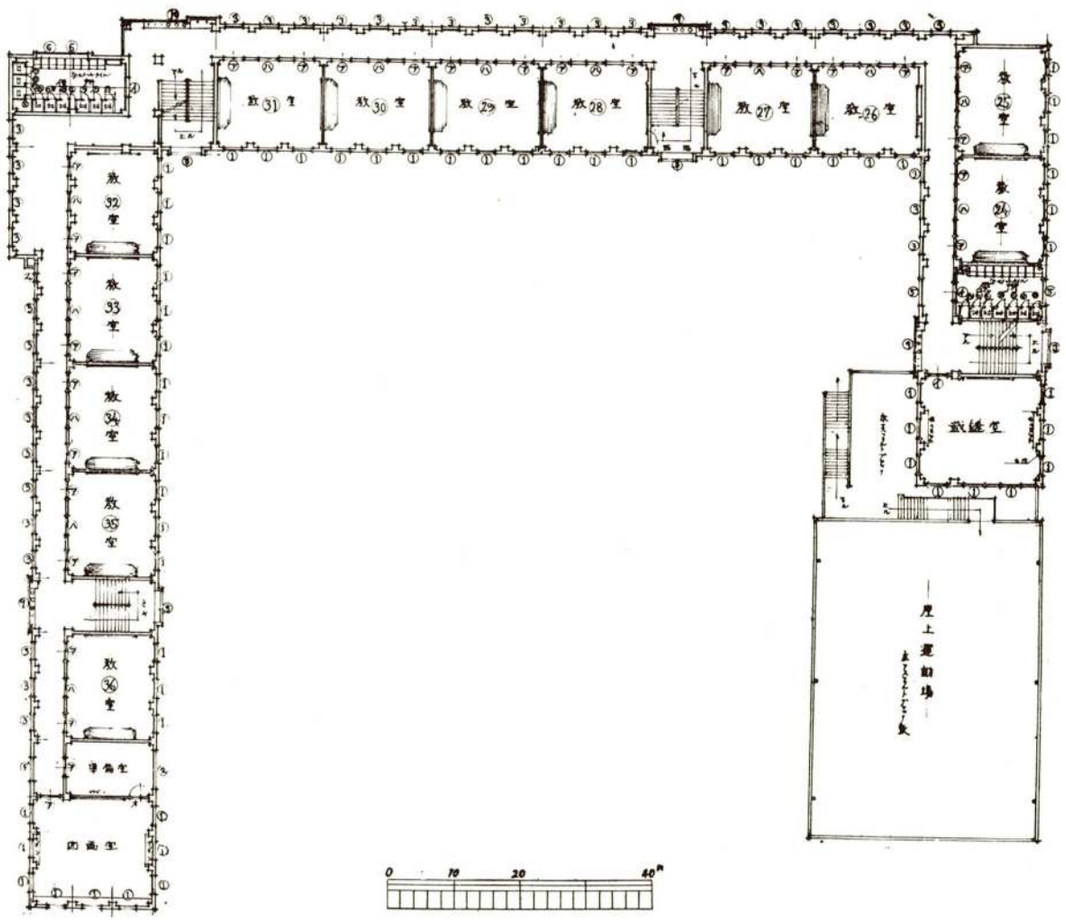
2 階 平 面 圖

所在地　神戸市兵庫區川中町
構　造　鐵骨、鐵筋混凝土造3階建
建築面積　1階　2,127.13平方米
　　2階　1,587.73
　　3階　1,587.73
　　塔屋　100.46
　　延坪　5,403.05
設　計　神戸市營繕課
施　工　鴻　池　組

神戸市立笠松方面小學校 1. 2 階 平 面 圖 (校名未定)

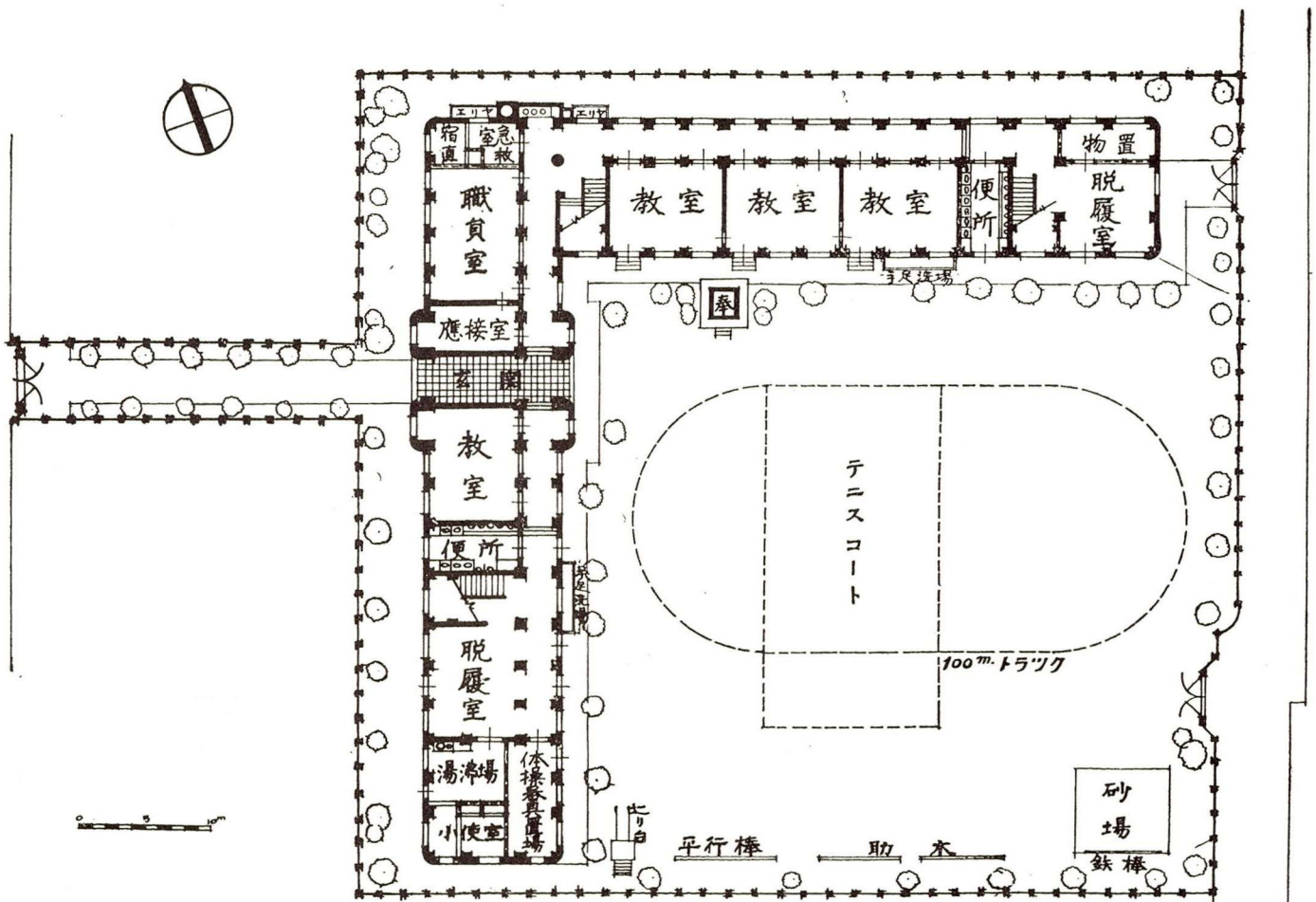


ペントハウス及屋上平面圖



3階平面圖及屋上一部

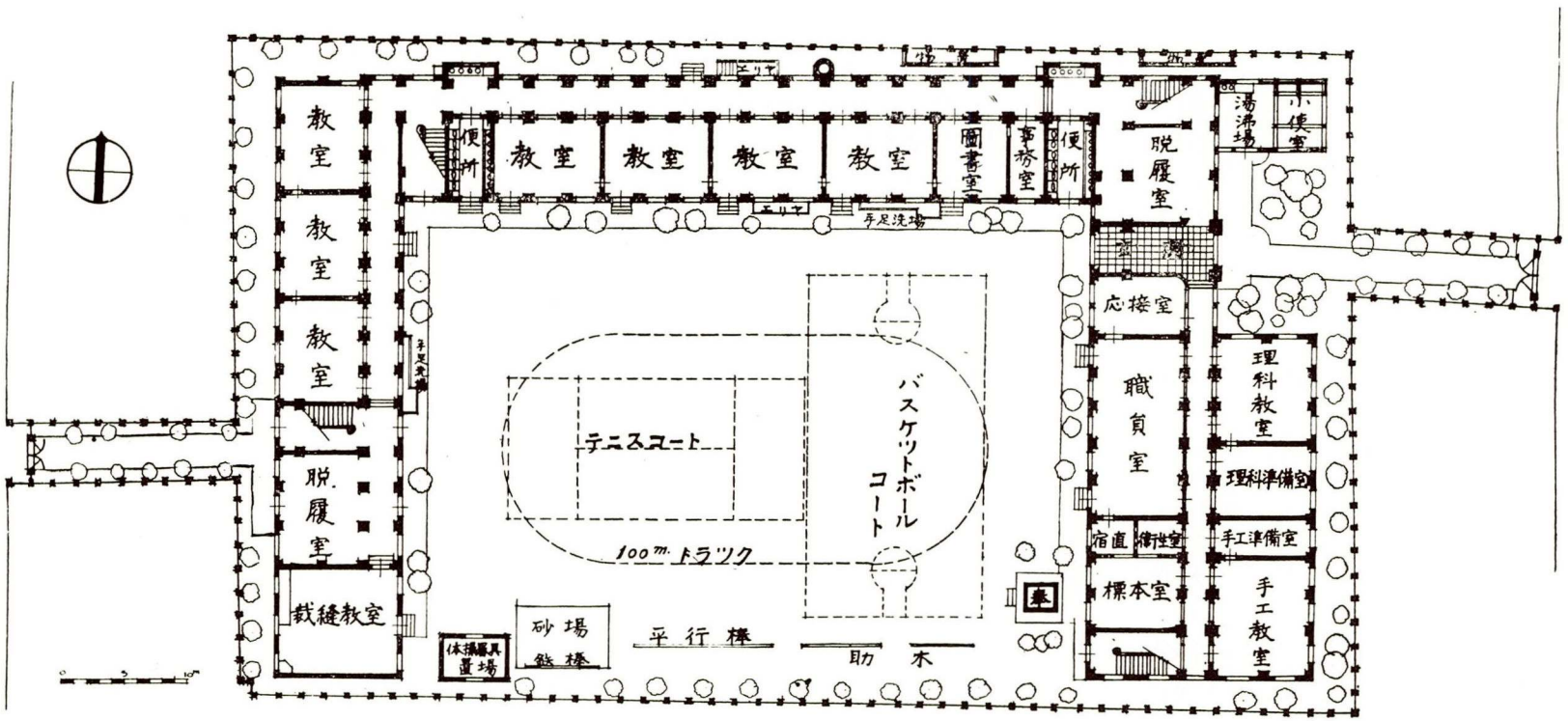
神戸市立笠松方面小學校3階及屋上平面圖



1 階 平 面 圖

所 在 地　名古屋市西區南應匠町
構　　造　鐵筋混凝土造地階附 3 階建
建築面積　地階　135.160 平方米
　　1 階　1,008.460
　　2 階　992.380
　　3 階　992.380
　　屋階　125.530
　　延坪　3,253.910
設　　計　名古屋市建築課
施　　工　清　水　組

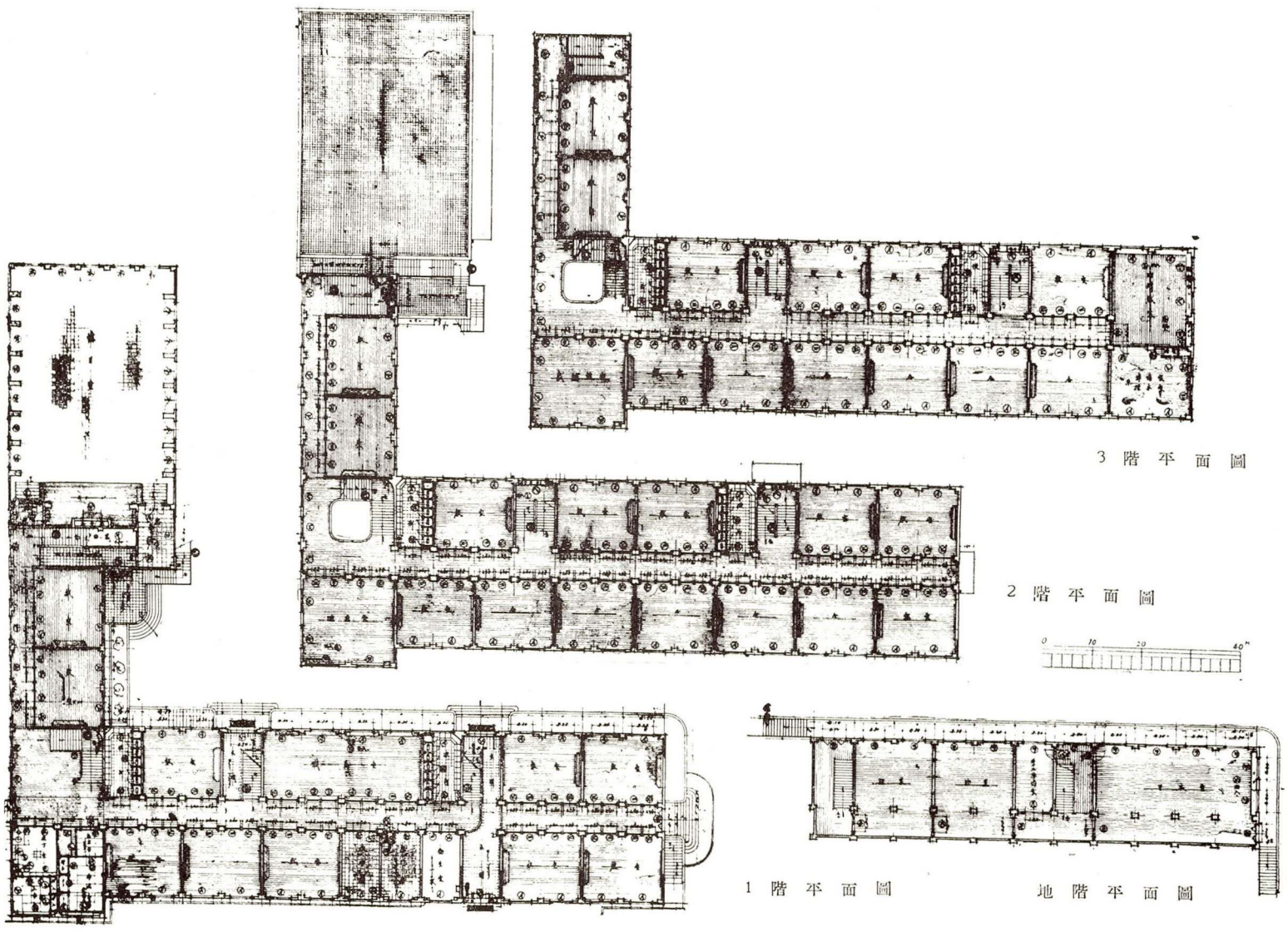
名古屋市立幅下小學校 1 階平面圖



1 階 平 面 圖

所 在 地　名古屋市中區中之町 3 丁目
構　　造　鐵骨鐵筋混凝土造地階附 3 階建
建築面積　地階　83.52 平方米
1 階　1,741.891
2 階　1,645.880
3 階　1,098.720
屋階　267.384
延坪　4,837.395
設　　計　名古屋市建築課
施　　工　安　藤　組

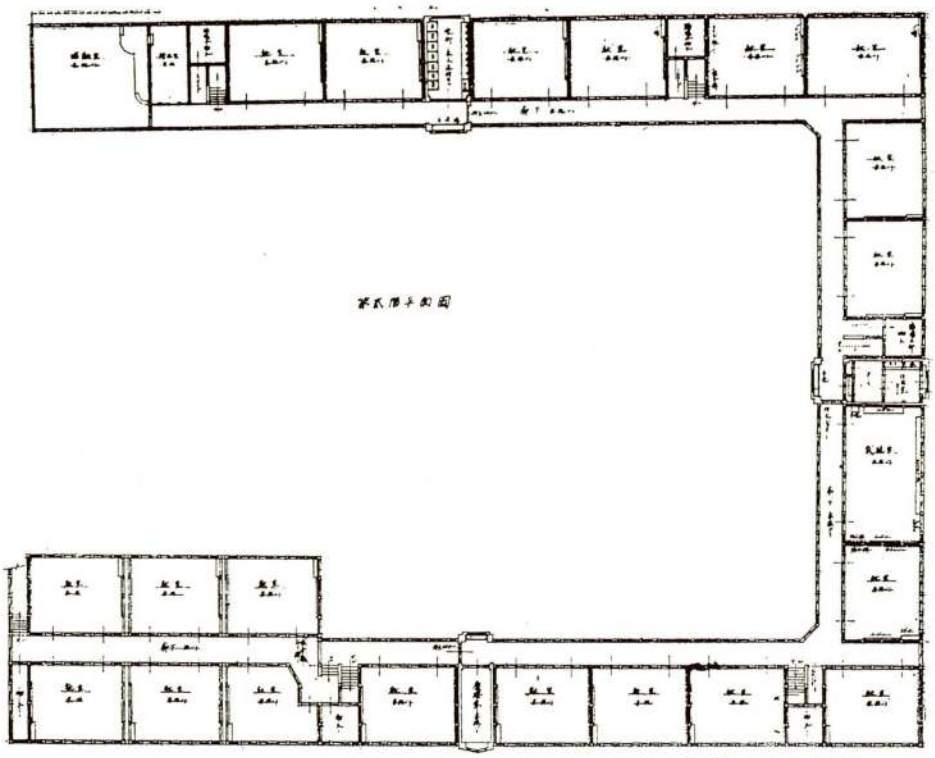
名古屋市立中之町小學校 1 階平面圖



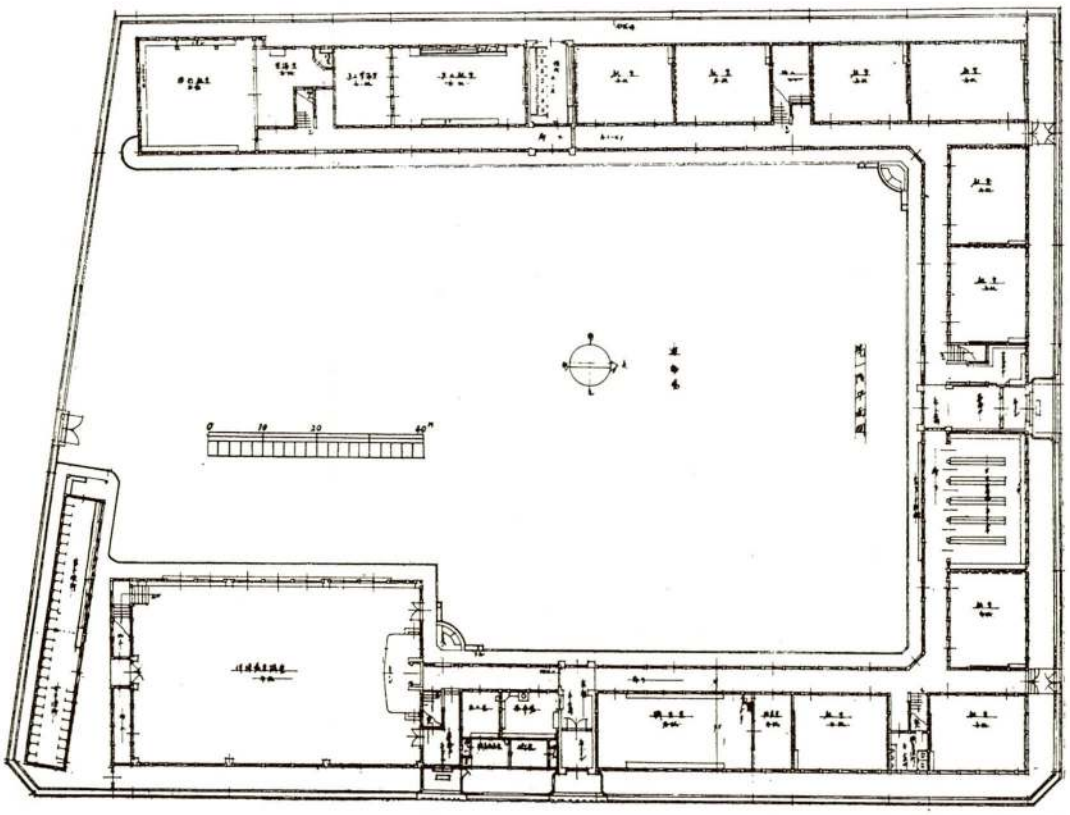
所在地　神戸市灘區福住通7丁目
構　造　鐵筋混凝土造
　　地階附3階建
建築面積
　地階　445.228 平方米
　1 階　1,825.180
　2 階　1,345.220
　3 階　1,345.220
　塔屋　97.980
　延坪　5,058.828
設　計　神戸市營繕課

神戸市立福住小學校各階平面圖

所 在 地　大阪市住吉區
　　北田邊町
構　　造　木造２階建
建築面積　1,767.82 平方米
設　　計　大阪市建築課

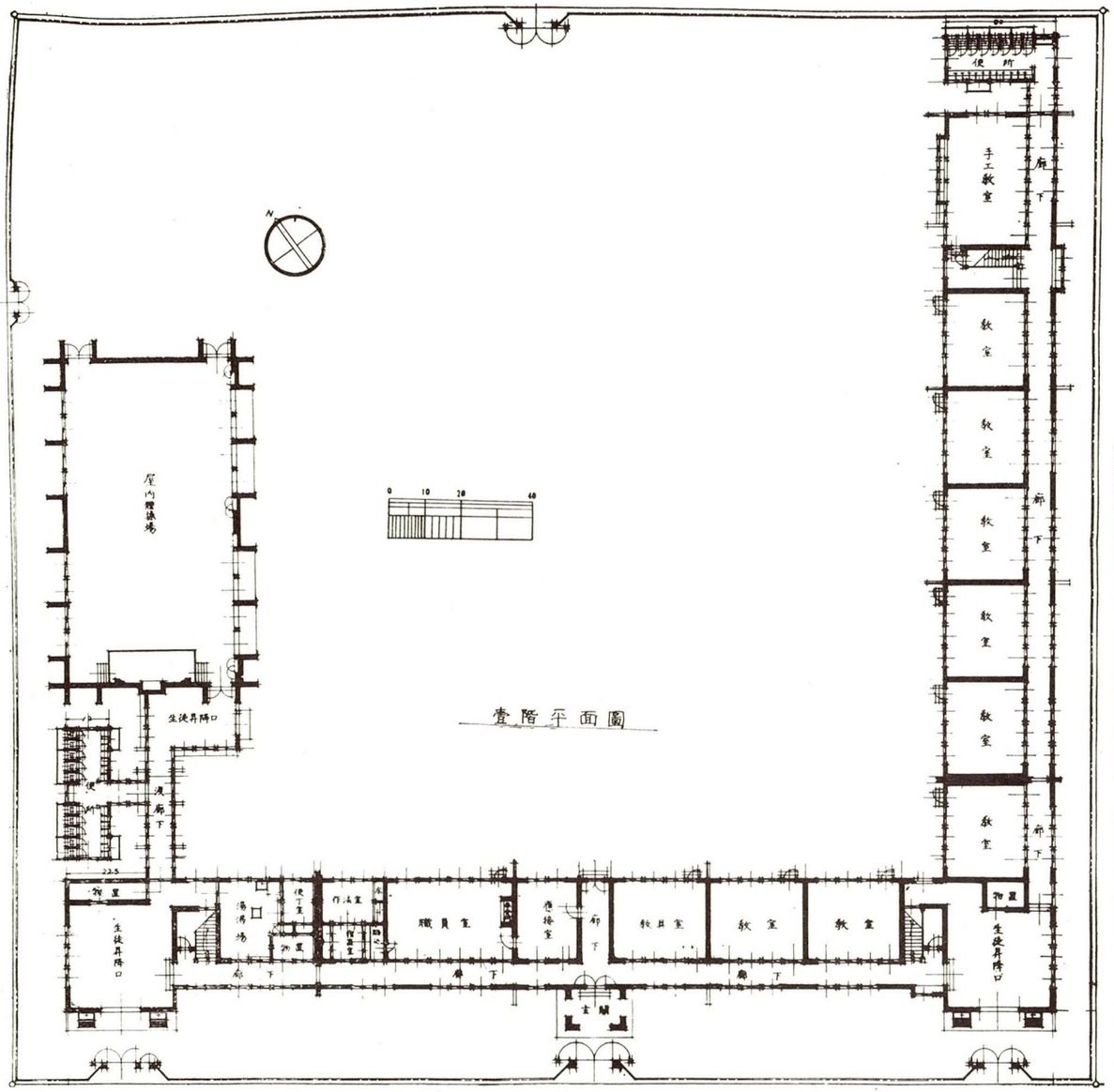


２ 階 平 面 圖



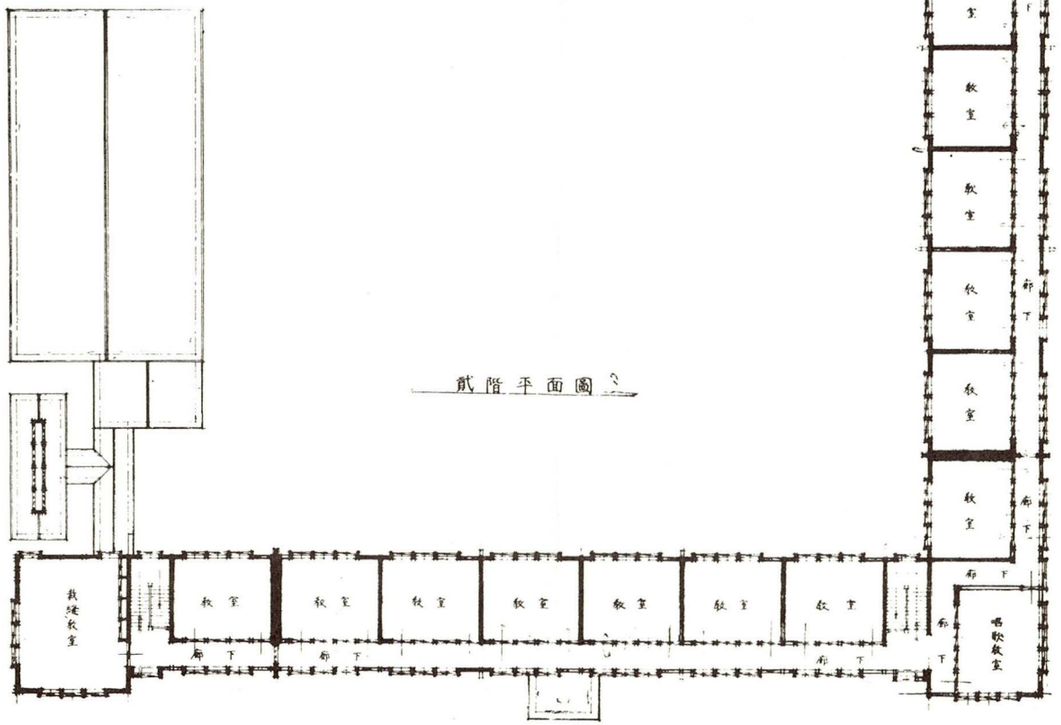
１ 階 平 面 圖

大阪市立北田邊小學校1. 2階平面圖



壹階平面圖

1 階 平 面 圖

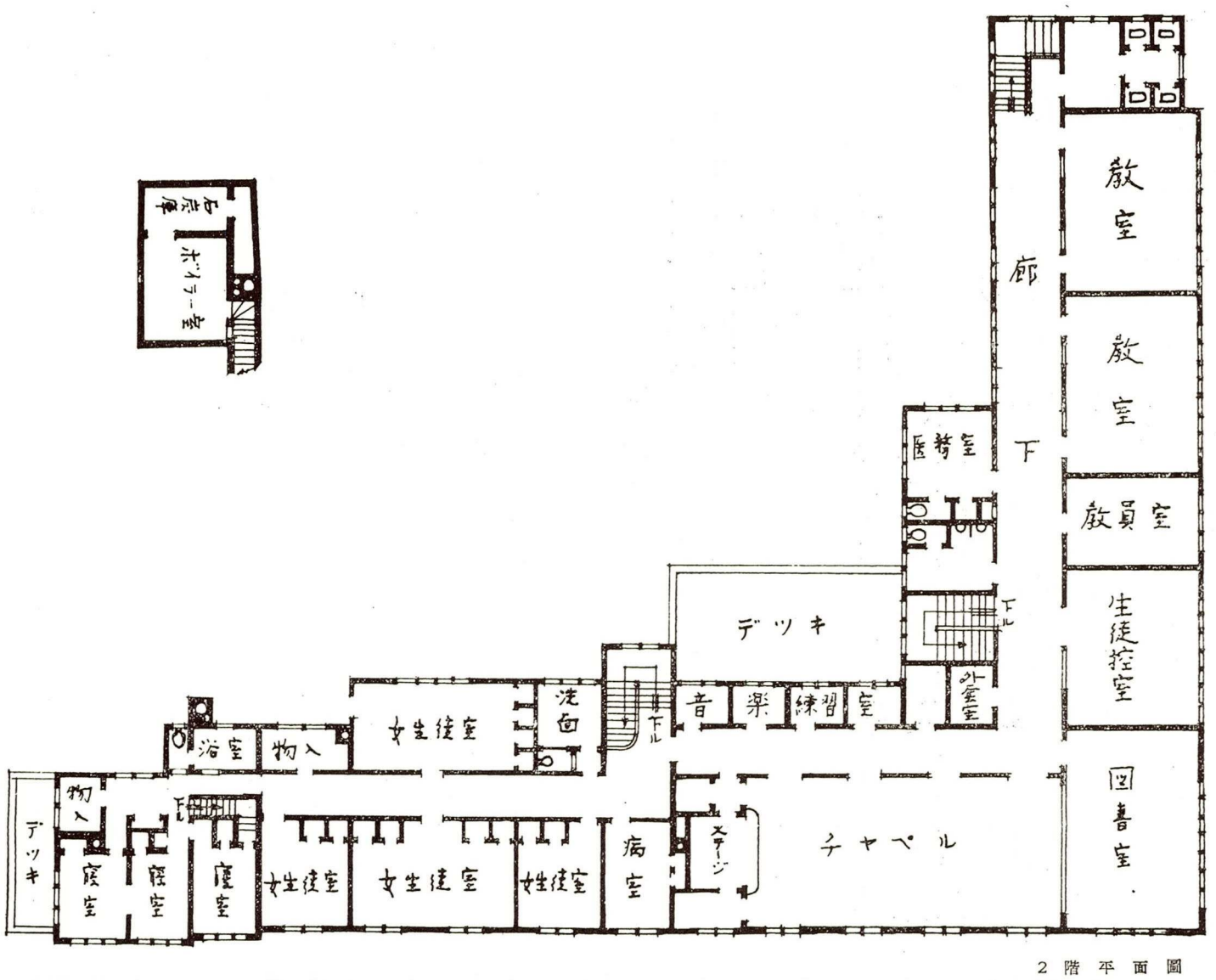


貳階平面圖

2 階 平 面 圖

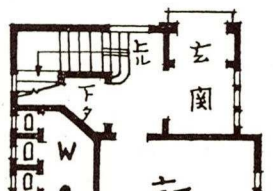
所 在 地　橫濱市鶴見區鶴見町蘆穗崎
構　　造　木造2階建
建築面積　1　階　466.544 坪
　　2　階　416.750
　　屋內體操場兼講堂　120.255
　　延　坪　1,003.549
設　　計　橫濱市建築課
施　　工　工藤組・日本土木株式會社

橫濱市立芦穗崎小學校 1・2 階平面圖



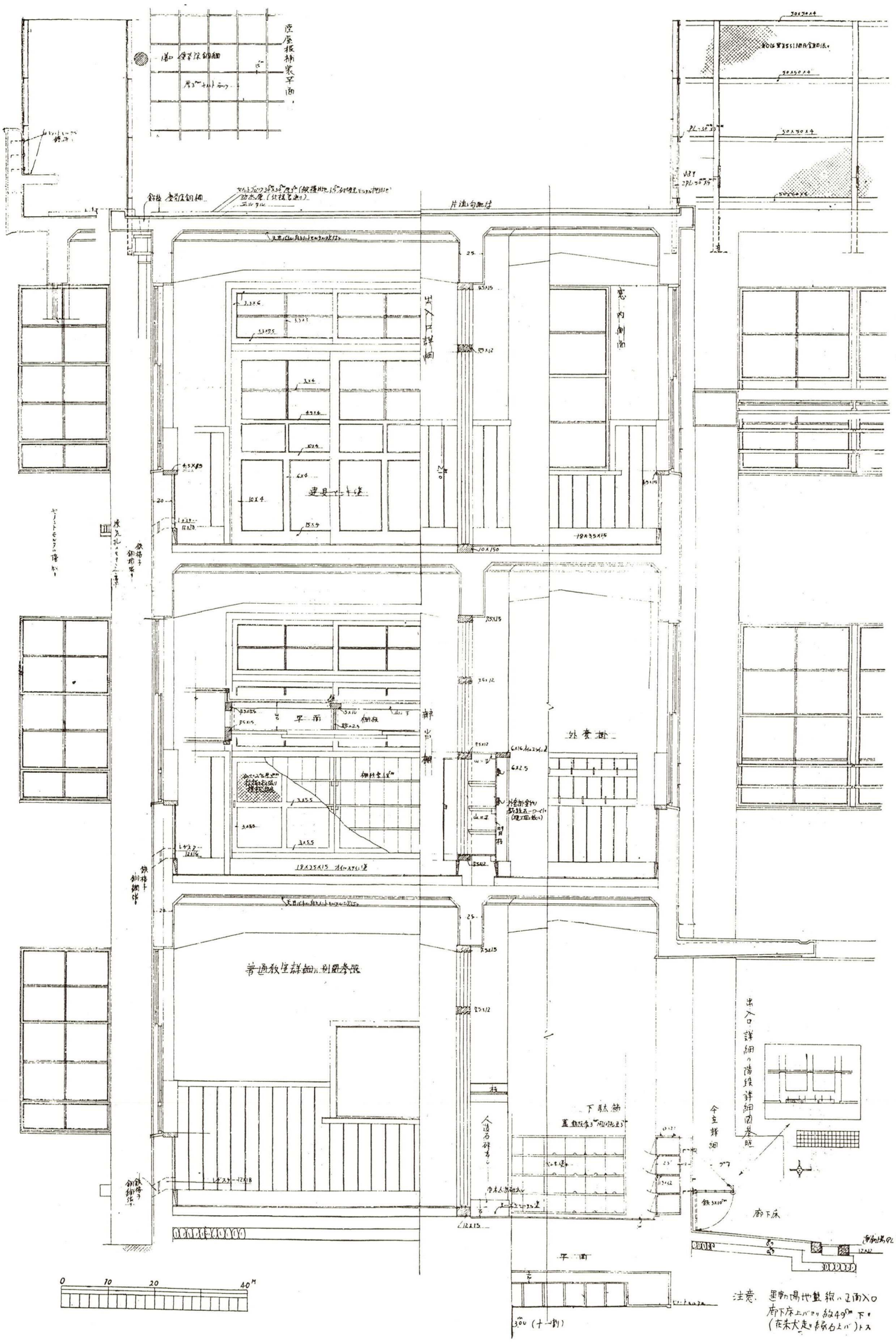
2階平面圖

所在地　神戸市中山手通4丁目
構　造　木造地階附2階建
建築面積　225.99坪
延坪　441.00坪
設　計　ヴォーリス建築事務所
施　工　竹中工務店

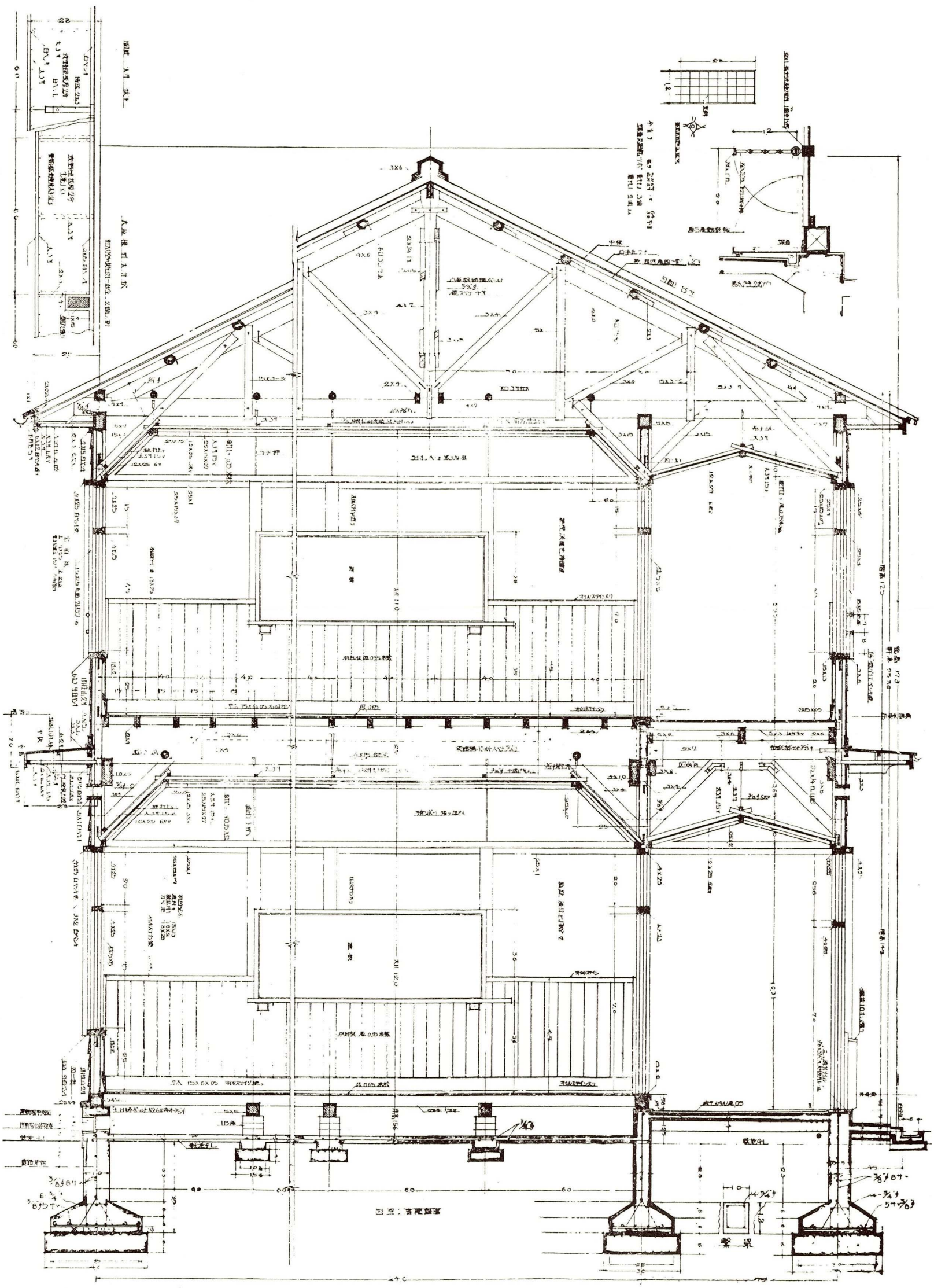


地下1階平面圖

神戸市・頌榮幼稚園1・2階平面圖



大阪市立小學校鐵筋混凝土構造標準規格圖



大阪市立小學校木造舍標準矩形圖

會員のこゑ

（掲載順序不同）

會員　坪井誠一

定款改正案に基き審議し其實現を計られたし

會員　高橋榮治

出版部創設史料及郷土建築委員會復活、會員增加の實際的運動、會員をして協會に關心を持たしむる會を間斷なくする等御願致したし

普賛　山本潔

建築倶樂部を協會直營事業とする時機に付積極的に御考慮を願ひ置き度候

會員　矢木英夫

眞に協會の發展を希ふものなれば役員特に幹部級の勇退こそ第一と存候個々の感情にとらはるる事なく協會の將來を正視し所謂古顏連の消滅を希ふものに御座候

會員　山田邦夫

協會に色々の調査委員會が有つて有益な調査報告及發表下さいます事は大變に喜んで居ります之等調査機關の外に尙一つ建築自然破損調査の機關を設けられて夫等に對する研究及改良の資料に供せられたいと思ひます。

會員　大倉三郎

當協會の事業には何れも積極的の反對意見はありません。唯京都に勤務をもつ關係から大阪を中心とした各種の計畫がピンと頭へ來ない憾みがあります、この溝を何とかしたいと考へてゐます。會費値下げ問題は大きな犧牲を拂つてまで實行する必要はないと思ひます。

會員　佃十俊

建築協會に新材料の陳列場を設けられたし。

會員　谷民藏

協會の趣旨を徹底せしむる爲め建築附帶設備業者は勿論建築材料業者を會員に資格を認め而して其會員は充分優良者を嚴選して入會せしめ度し。

會員　高田利一郎

大阪の都市計畫並に大阪府市政の建築土木行政に留意し絕えずこれが調査研究をなし殊に其の指導啓發的意見を發表し府市民の輿論を宣揚し當局を鞭撻すること。

會員　篠原太郎

事業に對する希望　主催事業は勿論後援事業も共に手廣く薄くする事を息めて一つでも徹底的に深味のある事に手を染めて欲しいものです。

會員　清水榮二

日本建築協會は今丁度協會と云ふ集りを「廣く淺く」するか「狹く深く」するかの岐路に立つてスランプに陷つてゐる樣です、この際會員協力一致して二兎を追ふ事をせずこの根本方針を何れかに決めてかゝる事が最も肝要でないかと存じます。

會員　內藤亮一

1 先づ協會に基金を存置し
　例へばこれによつて各種の懸賞募集の懸賞金特種事業費を捻出すること。
1 以つて一般會員の會費を減額し會員數の增加を期すること。

會員　羽原德衛

1 會報を改革（記事に就てモウ少し會員に重きを置くこと）
1 幹事、委員等は凡て一人一役主義
1 委員會の改革（現在業績不振の原因を改むること）
1 選擧法改正（現在の役員病患者一掃の意にて單記無記名、出席者のみに選擧權を與へること）

普賛　鶴田勝

實情を知らぬ者の夢の樣な案でせうが御考慮の內にお加へ下さい。會費の節減と建築界全般の狀勢

を知る爲に左の案により、建築學會との合併を切望します、丁度地方新聞を見て尙中央大新聞を必要とする氣持です。

1 建築學會と合併し建築學會關西支部とす（會員は學會正員に普贊は准員に編入す）
1 支部にては年4回乃至6回或は隨時支部機關雜誌「建築と社會」を發行し、又大いに地方に應じたる社會教育をなし相互の親睦を計る。
1 會費は建築學會會費の外支部會費として、准員年4圓、正員6圓と定む

會員　中野順次郎

1 會費をもつと減額して頂き度いと思ひます。
2 毎年一つ二つ實驗住宅を協會で作り一般への建築教育及び學生職工等の實際教育に役立たせていたゞき度希望してゐます。

普贊　高橋直喜

1 先づ會費値下げ（川村會員の說）
1 萬年幹事一掃にて規約改正云々。
1 見學其他催しものは中旬云々（右2項羽原會員說）

右3項は先づ斷行贊成、本月例會中旬催され感謝致し候

會員　小川安一郎

都合宜しく御願申上候會費減額御願

普贊　川田昌雄

1 會費値下げ實行下され度し
1 見學會は今後益々御催し願ひ度し

會員　山田久五郎

會費低減の聲盛なるも小生は從來通りとなし從來より以上の研究並に事業を旺盛にし尙く共在阪會員の聲を如實に聞く方法を以て斯界に貢獻せしむる機會を與へられん事を希望す。

會員　山口儀三郎

會費の値下げは小生も贊成する處なるも急務とは存じ難く候、各事業の發展を望み居り候。

會員　奥村丈太郎

返信用端書の餘白を利用し會員の意見を具陳さするとゝ云ふ從來より進んだ方法に對して大いに感謝します。

會員　古塚正治

最近は俱樂部の方へ度々參りますので從つて協會の事も眼に觸れる度合が多くなる、多くなると麻醉して何が何やら意見も出なくなる、協會の協調を保つには精々隙間を作つて遊びに行くにある。

會員　植竹春重

何等の意見も希望も無之候只々本會理事各位の御精勵を感謝致し居候。

普贊　林田灌次郎

協會の御指導により得る處多大なり今分にては意見も有りません。

會員　高木太作

建築界に於てもメートル法可否論あり協會の意見を纏めメートル法促進運動あらん事を希望す。

普贊　中野英二

1 毎月1回建築講演會開催を御願ひ致します。
1 協會として萬難を排して「メートル法」斷行に御盡力下さらん事を切望。

普贊　伴仲信次

見學會は成る可く日曜日に御願申度く候

普贊　青木友一

例會日見學會は毎月上旬が都合よろしく、發行雜誌に日新らしき建築寫眞を多數記載の樣願上候。

普贊　荒川利一

講演會の機會を多くされ度し、演題は建築に關するもの關せざるものゝ如何を問はず。日時は例會日に當てる必要無し。

會員　松本儀八

會員一般が希望して居る見學などを出來る丈けやつて欲しい。

普贊　松村武雄

1 古建築見學、並臨地講演會の實施
1 新建築材料の紹介

會員　後川隆一

例會としての見學が毎月實施困難ならば、例會と

見學とを切離し別に專務委員を設けて有意義なる見學を引續き斷行されん事を重ねて切望する。

普　贊　本島武夫

1 雜誌「建築と社會」の背面號數文字(2)及び新住宅集等の文字見出は誠に結構ずつと御繼續願ひたいと思ひます。

1 本協會員に限り工事中の建物(交涉あるもの)一定期間を定め隨時實地見學(工程中現場の差支へ無き時期)等御計畫御願ひしては如何でしやう。

普　贊　岸本幸治

1 會誌の内容充實を計られたし。

イ「建築と社會」「建築學研究」は同一雜誌であつて良い筈。

ロ　協會の機關雜誌らしい編輯法を望む。

2 事業の吟味と協會の主旨反省住宅博覽會にしてもモツト徹底して一層意義あらしめられたし。

3 學術講演會、見學等に盡力されたし。

會　員　棚橋諒

「建築學研究」のために充分の費用を與へられたし學會の雜誌、建築雜誌と共に、建築の理論並びに技術の研究發表の機關として、充分の活動をなすために。

普　贊　鶴岡文雄

「建築と社會」内容專門的になりし割合に貧弱の感が致します。

1 財政上の策かは存じませんが雜誌に各廣告の多いのには驚きます、是れだけの廣告料金が入ればモツト内容文を豐富にして頂き度いです、だが會の内狀を知りません小生の事ですから或ひは是れは無理でせう。

2 日本及外國の新建築の寫眞をモツト豐富にして頂き度いものです。　以上

終　贊　佐伯一夫

1 新、古建築の實例並に說明

1 新建築計算實例

會　員　林豪藏

1 會費減額は天下の輿望の樣でありますから之を斷行して新會員獲得に進まれては如何

1 社會的活動を增す意味で講演會などをもつと盛んにやり大家長老のみでなく若手連をも引張り出しては如何、委員會の活躍を期待す。

1 雜誌は時々非常に充實して居り時々内容貧弱粗笨のものが混ることがあります適當に統制鹽梅して下さい。

會　員　青木茂

1 一般大衆的指導雜誌に内容を研究願ひ度し

1 現在會費を低額の出來得る限りに願ふこと

1 見學の數多きを希望す　以上

會　員　坂口正雄

「建築と社會」なる月刊雜誌に建築諸材料の時價表記載されなば建築家の設計資料ともなり有益かと存じます。

時價表には調査月日發賣店名營業所々在地等記入の事

尤も近代建築材料の時價變動甚敷もの多々有之其儘採用出來難きもの有之可きも大體の見當知るを得便利と思ひます。

會　員　吉田信武

「建築と社會」とは別に「建築學研究」を發行されるに至つたことは非常に有意義なことと思ひます。大抵の學會とか協會には、會員相互の親睦をはかり知識の交換を容易ならしめるため、ある機關雜誌樣のものが、刊行されて居ますが、その會が大きく力强くなれば、雜誌それ自身も適當に分割し夫々に適する内容を以て充滿せしめなければ、本來の趣旨が徹底せしむることを得なくなります。社會に對する建築學の普及及び會員相互の親睦を增進せしめるため、「建築と社會」には比較的通俗的(決して内容の低きを意味するに非ず)例へば複雜な理論の代りに代表的な圖解、寫眞を多く取入れるとか、建築學に關する基礎的考察或は新知識を多く取入れることゝし、建築家相互の知識の交換を行ふため、「建築學研究」には建築學研究論文それ自身を盛ることゝすれば、現在の「日本建築協會」のもつ一使命が圓滿に雜誌を通じて果されるものと思ひます。

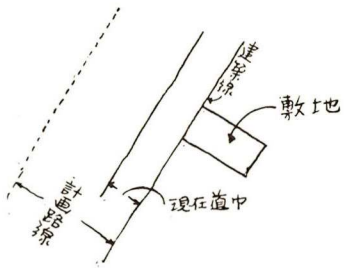
建築法規に關する質疑應答欄

應答　本會法制委員會

問 1

會員　後川隆一

次圖の様な敷地に建築する時には現在道路巾の制限を受けるのみか將來擴張されたる道路巾に面する物として建てらる可きか、右御手數乍ら御教示下さい



答

市街地建築物法第二十六條に

本法ニ於テ道路ト稱スルハ幅員九尺以上ノモノヲ謂フ道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

とあり此の勅令の定むる所と云ふのは同施行令第三十條に

——道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アル場合ニ於テ行政廳其ノ計畫ヲ告示シタルトキハ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

之により御質問の計畫路線が行政廳既に告示濟のものなれば道路と看做され施行令第七條第八條の高さの制限についても又敷地が角地の時は細則（兵庫縣）第十五條に於ても法第二十六條の道路と同樣に看做して建築出來ます　（以上兵庫縣建築課より支障無き旨回答濟）

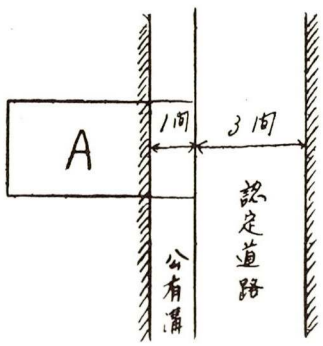
只實際問題としては法的に有効なる道路が二つあつて、この際いきなり令第八條を持つて來ることは條文の解釋として正道でありませんので法の正面解釋としては一應現在道路による高さの制限にも從はねばならないと云ふ說もあります。然し現在道路はなく人家の中にある計畫路線に接する敷地に建築する際計畫路線の幅員によることを正面より許否出來得ない現在の法の構成より見る時は通常の場合現在道路による高さ制限を受けることなく計畫路線の幅員によつて建築可能と解釋するのが精神的或は進んだ解釋であります、只特殊な場合例へば活動寫眞館等を建築する様な時には別に考慮せられる場合があるかも知れません。　（以上委員附記）

問 2

會員　K I 生

圖 A の如き敷地に建築出來ますか又其場合建築線は何處にありますか

答



市街地建築物法第八條によれば

建築物ノ敷地ハ建築線ニ接セシムルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

即ち原則としては敷地が建築線に接してゐなくては建築出來ません、然して御質問の場合所要の建築線は何處にあるか？之については同法第七條に

道路敷地ノ境界線ヲ以テ建築線トス、但シ特別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ別ニ建築線ヲ指定スルコトヲ得

更に大阪府に於ては施行細則第五條によつて圖の三間の認定道路即ち法第二十六條の道路に於ては道路幅の境界線より原則として、1尺5寸後退したる線を以つて建築線と定められてありますので、建築線は圖の公有溝との道路敷地の境界線より1尺5寸のところにある理であります。

依つて圖 A の建築敷地では所要の建築線に接していないのでこのままでは建築出來ません、然し實際には適當なる方法さへ講ずれば A を建築敷地として使用するのに支障のない場合が多いのでありますから現在では適當なる橋を架したる後は A 敷地は建築線に接するものと解釋して居ります。

橋の幅員は特殊の場合を除き6尺が最低限度となつてゐます。　（以上大阪府建築課査閱濟）

會　　報

常　務　會

時　　昭和8年8月21日午後6時—同7時
所　　本協會別室
出席者　理事　池田　竹腰　　監事　德政
　　主記　伴野　　主計　浦　清水
　　編輯　高橋
議　事　1 評議員會提出議題の件
　　1 小笠原銅氏提案の建築工事の施工請負改變案に關する件
　　1 會員新名簿調製に關する件
　　1 會誌 12 月號を以て各委員會報告書發表に關する件
　　1 建築材料聯各調査會解散に關する回答案の件
　　1 會員詮衡
報　告　1 日、滿、鮮、臺四會聯合大會及滿洲見學に關し經過報告
　　1 大美野住宅博賣殘出品住宅處分經過報告
　　1 阪和上野芝住博賣殘出品住宅整理に關し報告
　　1 瑞光住宅博經過報告
　　1 會員委員會經過報告

常　務　會

時　　昭和8年9月4日午後5時30分—同7時
所　　本協會別室
出席者　理事　片岡　池田　竹腰　　監事　德政
　　松室　　主記　阪口　伴野　富士岡
　　主計　浦　清水　八木　　編輯　高橋
　　中村　新名
議　事　1 9月例會に關する件
　　1 建築材料陳列場設置に關する件
　　1 鐵筋コンクリート標準仕様書宣傳講習會計畫の件
　　1 會員名簿調製に關する件
　　1 瑞光住宅博協會出品住宅公表價格決定の件
　　1 定款改正に關する件
　　1 會誌寄贈の件（發行都度）
　　1 會員詮衡
報　告　1 日、滿、鮮、臺四會聯合大會並滿洲見學經過報告

臨時常務會

時　　昭和8年9月11日午後6時—同8時30分
所　　建築協會別室
出席者　理事　池田　　監事　松室　　主記　阪口
　　鳥井　伴野　　主計　浦　清水　八木
　　編輯　今林　中村　新名
議　事　1 綠ヶ丘住宅博協會出品住宅（第1號平家建）賣約に關する件
　　1 瑞光住宅博協會出品住宅工事費支拂に關する件
　　1 日本東部見學擧行に關する件
　　1 秋季大會擧行に關する件
　　1 建築材料陳列場設置に關する件
　　(1) 委員依囑に關する件
　　(2) 名稱に關する件
　　(3) 評議員會並臨時總會開催に關する件

會員動靜

轉動轉居

會　員

谷　義三郎君　住吉區昭和町中1ノ40
中西　六郎君　西宮市越木岩字樋之池27號49
井手　正雄君　府下豐能郡豐中町岡町壽通1
田間齊次郎君　住吉區阿倍野筋2ノ13
大原　忠隆君　府下泉北郡高石町北 611（字高師濱）
丹藤　良雄君　北區澤上江町7ノ6
貞永　直議君　兵庫縣川邊郡川西町南花屋敷
川上　要君　京都市中京區堺町通御池下ル大林組京都營業所內
佐藤　好夫君　東區京橋3大林組本店內
小野　茂雄君　兵庫縣川邊郡園田村森17ノ1

地方會員

岡野　金作君　廣島縣豐田郡忠海町大久野島清水

組作業所

高橋　君三君　京都府下綾部町郡是製糸株式會社建設課

楠　　正巳君　兵庫縣加古郡高砂町鐘ケ淵紡績高砂工場建築場竹中工務店出張所

櫻井誠次郎君　朝鮮咸鏡北道羅津港羅津ホテル内

藤澤安太郎君　金澤市里見町48ノ4

特別賛助員

瀬尾　永治君　天王寺區堂ケ芝町98

村井季四郎君　奉天若松町36奉天機械工作所

普通賛助員

川村　雅彦君　港區西田中町1ノ63

木村正太郎君　北區澤上江町7ノ26

佐野　公夫君　兵庫縣武庫郡濱甲子園寅新開1ノ30中尾別邸建築場村上工務店作業場

戸田　和夫君　呉市東畑町57ノ1

藤島　幸滿君　南區鹽町1ノ1中村建築事務所

吉田光太郎君　東京市小石川區小石川町1講道館建築場大林組水道橋出張所

杉山　愛三君　兵庫縣加古郡高砂町鐘ケ淵紡績高砂工場建築場竹中工務店出張所

越部　俊彦君　朝鮮京城北米倉町17

松本　正香君　此花區春日出町319ノ3

井上　　實君　天王寺區大道5ノ59

增本　榮六君　兵庫縣武庫郡本山村森停留場前

岡本　判平君　西區薩摩堀南ノ丁1岩元商店建材部

「日本都市年鑑」昭和九年用發行要項

1. **體　　裁**　菊判　總クロース製　背金字入　函入　全1册　紙數600頁
2. **内容及目次**　本文24篇　附錄3篇　別記目次大綱下記の如し

1 總　　說	11 瓦斯事業	21 警察・消防
2 市域・人口	12 電氣事業	22 經　　濟
3 都市計畫	13 軌道・地方鐵道事業	23 財　　政
4 國有鐵道	14 乘合自動車事業	24 各市市政事情
5 道路・道路交通	15 市　　場	1 各市重要市政事項 附、市長及市會議長一覽
6 運　　河	16 教　　育	2 市會議員選擧
7 河川港灣	17 慰　　樂	3 都市關係各種會議
8 航　　空	18 社會事業	1 都市計畫法適用候補町村調
9 通　　信	19 傳染病・醫療施設	2 最近に於ける市政關係主要行政實例、裁判例
10 上水道事業	20 汚物處分	3 都市問題關係主要文獻

3. **特　　色**　本年鑑は、(1) 昭和9年用たらしむる爲め、人口統計、財政概要の類皆昭和8年度の事實に據る等前年鑑の數字を悉く改訂したるは勿論、(2) 本年に入り市となれる新興8都市々び裕に市たるの實力を有する全國主要町村の嶄新なる統計を加へ、(3) 本年都市計畫法の改正に依り既にその適用を見たる町村は、いふに及ばず、同法適用候補町村に關する調査を網羅し、(4) 近年市域擴張、選擧及市政問題等に關し、當局の通牒、行政實例裁判例等特に多きを加へつつあるに鑑み之が重要なるものを摘出し、(5) 最近都市問題に關する研究盛なるに鑑み昭和七年一月乃至八年六月に於ける主要文獻を紹介し、(6) 市民生活の實相を種々の觀點より知るの資として、新に各市の國有鐵道驛、旅客、貨物、定期券利用者、郵便、電信、電話、ラヂオ、航空、諸車數、交通事故等に關する統計の類より、運動場其の他慰樂方面の統計を掲げ、(7) 特に各市の重要市政事項を網羅して全國的に市政界の近狀を展望するを得べからしめたり。
4. **定　　價**　金3圓（送料　東京市内6錢、内地22錢　臺灣樺太47錢朝鮮滿洲62錢）
5. **特　　價**　金2圓（送料　同　）
9. **特價期間**　昭和8年11月30日迄
7. **刊行期日**　9月末日製本出來10月早々配本
8. **購賣申込方法**　下記宛（又は書店宛）御通報の事

東京市日比谷公園（市政會館内）　財團法人東京市政調査會　電話銀座　201・202　振替東京　71609

建築倶樂部室

□お知らせ

工場見學及寶塚觀劇會

豫告の通、十月七日(土)東洋リノリウム工場見學と寶塚觀劇會とを兼ね晴雨不論で擧行致します。秋漸く深く郊外の秋色亦格別ならむとする時、精々御出席を。

秋期園碁會

十月下旬の土曜日を選び、秋期圍碁大會を開催の豫定です。ザル碁多數御參加あらむことを希望します。

クラブ室擴張のこと

愈々十月中に現在の協會事務室まで擴張することになりますた。豫而會員各位より御希望の小集會室、バーの完備、ラヂオの設置、煙草の發賣等も計畫されて居ますし室内も餘程ユツクリと御使用出來る樣になる筈です。

又隣室には近く建築材料の陳列場も開設せられ、一層有效にクラブが活用されることと思ひます。皆樣の御後援に依りクラブの愈々發展せんことを祈る次第です。

其他研究中のものに——

未婚の方の手引にもと會員家族の名簿の調製、會員相互間の不幸の場合の弔慰方法就職の斡旋など種々計畫研究中のものが澤山あります。其外御氣附の點御注意と御鞭撻を願ひます。

□倶樂部案内

開館時間　午前九時より午後九時迄、但特別の場合には延長致します

娯樂設備　圍碁、將棋、麻雀、コリント・ゲーム等。

圖　書　各新聞官報類約二十種、雜誌類六十種其他の圖書も多數備へてあります。

撞　球　5階の朝日クブラの玉臺が簡單に使用されます。御希望の方は受付より入場券を持參され度し。

理　髪　5階の阪井理髪店と特約して本クラブのマーク佩用者には特別割引があります。

□諸研究會

圍　碁

本本二段　毎週土曜午後より9時まで。

南　畵

太田先生　毎月第1第3火曜午後6時より。

俳　句

月斗先生　毎月第1第3木曜午後6時より。

骨　相

砂川先生　毎月第2第4木曜午後6時より。

謠　曲

觀世流松下先生　毎週火曜日夜（稽古場は會根崎演舞場横）

長　唄

杵屋和津次師　毎週2回、近く開始の豫定(稽古場選定中)

鳥鷺に戰氣を養ひ、南畵に墨色の妙を味ひ、俳句に詩情を練り、骨相に人性を達觀し、謠曲に臍下丹田を固め、長唄の三絃に恍惚とするなど人様々の趣味により賑かに精進これ努めて居ることで、やがて自稱先生が續出することゝ思はれます。各會共初歩會の御申込を歡迎致します。

尚以上の外の部門に就いても、御希望の向は御遠慮なく御申出下さい。

十月カレンダー

1	火	南畵、謠曲研究日
5	木	俳句研究日
7	土	リノリユーム工場見學及寶塚行
10	火	謠曲研究日
14	土	圍碁研究日(夜東京見學出發)
15	日	協會東京方面見學日
16	月	同　上
17	火	同　上　(神嘗祭)
19	木	俳句研究日
21	土	圍碁研究日
24	火	南畵、謠曲研究日
23	土	圍碁
31	火	謠曲研究日

□俳句吟行會

毎月盛大に行はれて居ます俳句會は9月21日(木)定例日に、六甲十善寺の秋光を探りて句嚢を充し、神戸加納町柴の家に於て披稿、盛會裡に9時閉會しました。來り會する者、月斗師、初子、北柿、麻姑、保月齋、猪山士及秋溪にして當日師の選句次の通りであります。

月斗選

秋風や藤の茂りに暗き庭　　初　子
早稻の道大師詣りの人出哉　　同
山の手の町ひそやかに群蜻蛉　　同
十町と聞く山道の秋暑し　　同
穗を垂る草に小虫の群りぬ　　同
錨下す外國船や秋の風　　同
海そこに神戸の町の秋の空　　同
いらいらす秋の日さけて樹陰行く　　齋
杜越しに秋の海晴れ帆の白き　　同
葉末枯れて殘る絲瓜の垂れにけり　　同
山の塚野菊苅萱盛りなり　　同
海青く颱風それて帆の光る　　同
蜻蛉やトマト畑の垣の荒れ　　猪山士
秋晴れや視界の中に大阪港　　同
水車場に續く流れや野菊咲く　　同
拾ひためて片手に餘る木實哉　　北　柿
はきためて落葉に交る木實哉　　同
雨上る海秋光を極めけり　　鹿　姑

□コリント・ゲーム

一時衆望の的でありましたコリントの君も、桐の一葉ともろ共にうたてや凋落の光景であります。どなたか身受せられる方がありましたら御相談に應じます。茲に得點表(千點以上の分)を揭げてありし日の盛を偲ぶ事とします。

1355	山田君	1115	小松君
1320	三宅君	1090	安井君
1270	河津君	1085	落藤君
1215	菊池君	1035	今林君
1180	三島君	1080	池田君
1165	木村君	1080	佐原君
1130	樋口君	1050	小川陽君
1120	白川君	1050	淺野君

(以下略)

社團法人 日本建築協會役員及委員（昭和八年）

役員

安實造吾光郎信雄三一助二二郎夫治雄治藏三郎實郎助知男則郎吉二郎郎安良郎生夫二次尾造吉治郎信郎雄郎一雄三一二郎
岡田健金重三　良貞重之榮盛太種榮義代寬太之芳孝顯次藤一一太一三出種榮周末健三榮太一誠義太榮毅良貞重厚太賢本
腰政室口芳井藤野岡英水木林名橋村田上川彦田甚英崎原田部本藤口合盛岡西口間名水澤木腰與橋松井澤村山澤藤野岡井
片池竹德松阪鳥丹伴富浦清八今新高中秋井石今池岩涌大岡岡落川河片小阪作新清末鈴竹高高鳥中中永丹伴富藤藤
長長長事事記記記記計計計輯輯輯輯員
會會副副監監主主主主主主主編編編編議
評同同同

建築會館委員會

擔當常務　阪口勇三郎
同　富士岡重一
委員長　安井武雄
幹事長　政金吾
幹事　德谷民治
幹事　飯高達四郎
委員　大林賢米吉
同　阪井末尾
同　鈴木健造
同　竹腰悌夫
同　波江室光
同　松本重吉
同　森山藤三郎
同　脇友芳

住宅博殘務整理委員會

擔當常務　阪口芳三郎
同　富士岡重一
委員長　武井武雄
副委員長　葛野壯一郎
副委員長　安井武雄
委員　今林彦太郎
同　小川安一郎
同　芝坪知誠
同　德古正吾
同　村增藤治
同　武田重一
同　五壯一郎
同　野新平
同　井政吾
同　塚野山
同　田林

住宅博評價委員會

委員長　笠原銀介
委員　小野壯一郎
委員　葛北垣熊之介
委員　篠崎衆太郎
委員　須川廉三
委員　藤木正一

阪和上野芝住宅博殘務整理委員會

委員長　池田實
副委員長　安井武雄
委員　浦英之助
同　北垣熊之介
同　佐藤松太郎
同　增山新平

阪和上野芝住宅博評價委員會

委員長　笠原銀
委員　小野介二郎
同　北垣熊之介
同　篠崎衆太郎
同　須川廉三
同　增山新平
同　安井武雄

郎衛新平
太郎男雄
伴治郎二一
宗喜義太
東尾盛茂
伊岩河村榮山
久田見木中
兒玉廣登
白石村
中中八山
（以上關西商工側）

則雄一一一
顯定景正徹
岡部內中木上
木竹藤村
（以上德島工業側）

瑞光住宅博委員會

一郎良
五壯一次
郎郎治八藏一男重尾夫二三一
藏谷塚本上村寬喜
正正儀福
西內
小佐澁古松井木白芝鈴波
葛野岡
武田木江
清水榮
伴野貞重
富士本
擔當常務
委員長　武田重
副委員長　葛野壯一郎
幹事　小西次
幹事　藤谷正五郎
幹事事務員　塚本儀治
幹事事務員　上村福八
委員　石田喜藏
同　白木知一
同　芝鈴末男
同　波江悌重
同
同
同
同
同
同
擔當常務　清水榮
同　伴野貞重
同　富士岡

見學委員會

光知廉良三吉二雄郎雄
重芳
室原田
保西一來藤誠貞太良
松大久小三森加設樋口
丹藤
擔當常務
委員長　重芳
幹事　室原保
幹事事務員　西木本藤樂辰
委員　松大久小三森加設樋口
同　丹藤
同
同
同
同
同
同
同
擔當常務

出版委員會

二郎吉夫郎弓郎治吾信治
厚一
純藤種太眞六正藤榮
川藤名原澤西塚野橋
藤石落新篠瀧中古村南高
擔當常務
委員長　井厚
委員　川純一
同　藤種
同　名太眞
同　原澤六
同　西塚正
同　野橋藤
同　高
同
同
同
同
同
同
同
擔當常務

藏平修郎郎二郎八信雄
金新一太衆太儀義
野山松安益源村
淺增赤小河篠中松南
幹事事務員
幹幹委同同同同同同同擔當常務中村

會員委員會

實郎郎郎吉二憲郎郎一八治
太三三久一定三五一重儀長
田彥友谷勇誠岡
宇林倉脇田口田井谷澤士本本
古今大山池川籠酒澁中富松宮
長事員
員
委幹同同委同同同同同同同同

分科委員會

世一一茂吉保郎吾
貞新寬惣六藤
柳谷村田路尾
青神木黑鹽中中村
（以上早大側）

助銅研武次吉鑒吾薰三武
之英周三
原與
笠澤
浦小黑國末高津德友中藤
（以上工學院側）

藏三
福寬
上川
井石

百貨店建築委員會

雄吉一世則茂郎治吾郎三
長事員
武藤誠貞顯次正藤圭彥太貞
井藤井柳部田豐
安落坪青岡黑玉古村渡
擔當常務
今伴
委幹幹委同同同同同同同擔同

編輯後記

□芒、尾花……の七草、仲秋の名月、澄める空と水、黄ばめる山、ものの哀れを知る秋、さても感懐深き秋ではある。

□巻頭を飾つた文部省建築課長柴垣氏の最近に於ける學校建築の傾向並特徴は最もその人を得た金文字であらう。

□本號は學校建築である。本號編纂にあたり多大の好意を以て貴重な資料を提供して下つた次の諸氏へ謝意と敬意とを表す。（次第不同）

大阪府營繕課長	川口一二氏
大阪市建築課長	富士岡重一氏
大阪市建築課	本多正道氏
神戸市營繕課長	藤島哲三郎氏
兵庫縣營繕課長	宮本長治氏
京都市營繕課長	三橋國太郎氏
東京市建築課長	小野二郎氏
名古屋市建築課長	疋田武二氏
横濱市建築課長	峰彌太郎氏
文部省建築課長	柴垣鼎太郎氏
東京帝國大學營繕課長	内田祥三氏
京都帝國大學營繕課長	大倉三郎氏
曾根中條建築事務所	高松政雄氏
合名會社竹中工務店	中島智喜氏
同	高橋來三氏
株式會社大林組	今林彦太郎氏
同	岩田巖氏

□本號に蒐めた資料は夫々代表的のもので40校と云ふ多數に上つた。都合でその内の一部を採錄し全部を纏め得なかつたのは遺憾であるが、これは一本に纏めて完璧なものとして近く刊行することにした。この點豫めお斷りして置く。

□建築法規に關する質疑應答欄をいよいよ本月から設けた、諸君からの盛んなる質疑を待つ。

□別項會告の通り本誌の殘本を整理してゐる、缺本のある方は申込んで下さい。申込締切後は絶版の豫定である。

□努力家で編輯の常務であつた堀田氏が任地の都合で去られた、新しく新名氏がその任を繼がれた、同氏の手腕もすぐ誌面に表れるであらう。

□次號は建築を主とした滿洲の事情紹介號の豫定ある　（佳山）

建築と社會

第16輯第10號

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓（郵稅2錢）　12册 6.00圓（同 24 錢）

昭和8年9月25日印刷　昭和8年10月1日發行

發行・編輯　印刷人　鷹取陽
西宮市今津町大字浦風56番地

印刷所　大阪活版所
大阪市東區内淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人　日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル
電話長本局(23)4500番(6)
振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋北
電話土佐堀 2440番
振替口座大阪 2084番

禁轉載

本誌に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告掲載料金

普通	1頁	1回	15.00
普通	1/2頁	1回	8.00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	1/2頁	1回	20.00
表紙2	1頁	1回	60.00
表紙3	1頁	1回	45.00
表紙4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築電係業者案内）	1欄	1回	5.00

御注文

御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます郵券代用は一割増、代金引換はお斷り致します。

日本趣味を基調とせる

新刊

最新建築懸賞圖集

本書は我國で昭和五年から昨年にかけて募集された東京博物館を始め四大建築懸賞當選圖案及募集規定を網羅編纂したものである。これ等の當選圖案はことわるまでもなく我國に於て實に一大エポツクを創り孰れも日本趣味を基調とした所にその特長があらう。學生諸君、建築家及一般同好諸氏の座右に是非一本を薦む。

東京帝室博物館
京都美術館
日本生命館
軍人會館

建築設計懸賞募集規程
建築設計懸賞當選者名
建築設計懸賞當選圖案

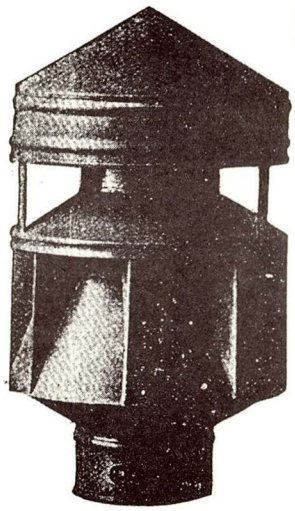
四六倍版　上質全アート　定價 70錢
裝幀美麗　頁數 60頁　送料 10錢

社團法人 日本建築協會

大阪・北區・朝日ビル
振替口座大阪39975

賣捌 丸善本支店
柳々堂書店

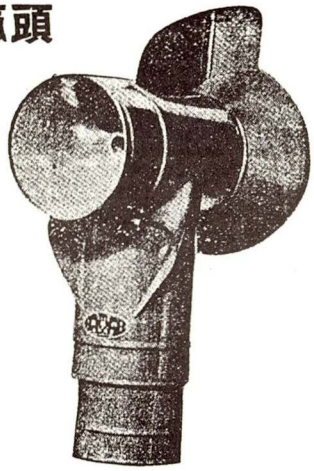
定評アル特許宮島式排氣頭



（固定形）

排氣換氣ハ
健康ノ基
排氣頭ノ
眞價ハ
排氣量ニアリ

（本機ハ吸入器ノ原理同用
ノモノニ付効果確實ナリ）



（風向變換形）

特許 第一二五八二七號
第一二三一九六號
第七三三四六號
第七三三六〇號

特許 第一一一〇〇七號
第一四二七四九番
第一四二七五〇番

排氣頭販賣及取付並ニパイプ衛生工事請負

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山(36)四七二九番振替口座東京五四八七番

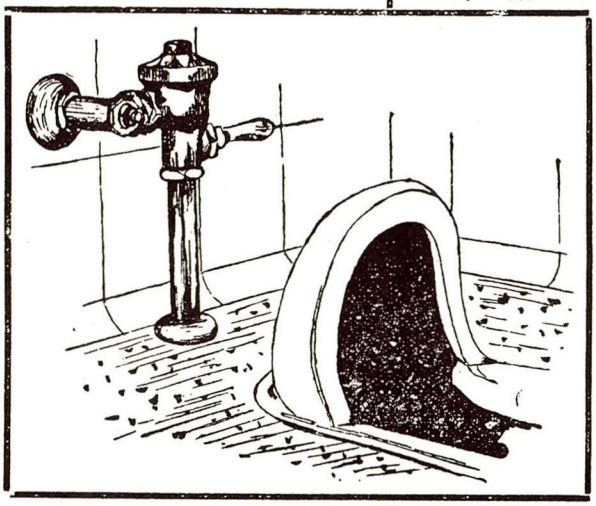
諸官省御用

カタログ進呈

ヨネ フラッシュ バルブ

水洗便所洗滌弁

專賣特許
實用新案
商標登錄



大藏省營繕管財局
東京帝國大學營繕課
大阪府營繕課
兵庫縣營繕課
大阪市建築課
名古屋市營繕課
南滿洲鐵道株式會社
臺灣總督府營繕課
御指定

米本榮商店

大阪市北區梅田新道
太平ビルヂング四階
電話北八一八番
振替大阪四二八七番

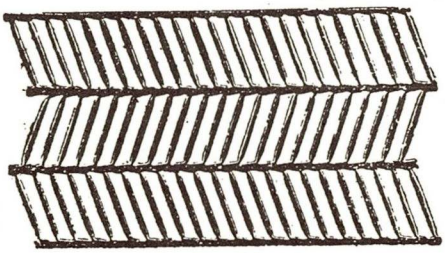
建築と社會第16輯第10號 廣告索引

ア 旭硝子株式會社……29
淺野スレート株式會社……14
淺海商店……20
イ 岩元商會建材部……20
岩城硝子製造所……32
エ 榮進社……13
英進商會建材部……34
オ 大阪窯業セメント株式會社……中挿
大阪伊丹商店……10
大野製作所……表紙 2
奥村重兵衛商店……15
押谷商店……34
カ 金岡養樹園……中挿
勝田製作所……表紙 4
キ 木下謹三商店……10
桐田商會……27
ク 黒川化學工業所……8
ケ 久保商店……32
コ 建盛商會……26
工材社……23
サ 三稜社……25
佐渡島商店……33
佐久間パブコ工業株式會社……6
シ 霜寅材木店……5
ス 須賀商會……23
末廣製作所……26
セ 千歳木材工業所……36
タ 田中タイリング……4
田中商會合資會社……9
ダ ダンロップ護謨株式會社……中挿
テ 寺井洋家具部……38
ト 東洋リノリユーウム株式會社……31
東京電氣株式會社……3
東洋工業株式會社……18
ベ ベニス工房……18
ナ 內外土木建築材料合資會社……30
南滿鑛業株式會社……16
ニ 日本ペイント株式會社……21
日本建築紙工株式會社……25
西原衛生工業所……17
西孫南店建築金物部……19
日本パイプ製造株式會社……35
日本ドアーチエック製作所……37
ヌ 布卯材木店……4
ノ 野澤幸三郎商店……24
フ 藤田商會……12
福島合名會社……40
福原商店……38
マ マルエス工業株式會社……7
ミ ミナト製作所……8
三井物產株式會社……11
宮島康夫商店……39
ヤ 矢橋大理石商店……12
山本窯業商店……16
ヨ 横河橋梁製作所……22
米本榮商店……39
レ 玲光社(木內眞太郎)……23

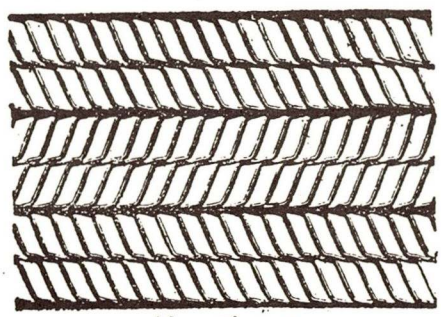
高級壁下地材料

特許 ヤハズラス

(原名 ヘリングボーンラス)



シングル



ダブル

◇特徴

一、網目の刻み方が最も合理的でモルタルとの行渡りに留意されてあるのでモルタルの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

二、リブ面は平にして十五度の起伏にて網目密着完全なる鍵をモルタルに與へ無落下を完全に防止す

三、支持材にしにくい狀態のものに附着する方が獨特の乾燥收縮で同時に縱橫に龜裂し易くモルタルを均一に支持する

四、部分的に必要な箇所に重ねて使用する事が出來ます

五、單位面積當りの重量輕く且つ張力強大にして經濟的に極めて堅牢なる構造を有し施工容易にして通常の建築物に最も適當せり

關西一手販賣 福島合名會社大阪支店

大阪市北區堂島ビルヂング 電話北五八九〇番